

## XIII 教員の研究教育・社会貢献活動

本章は「茨城大学研究者情報総覧」に入力されたデータをもとに作成された。一人の教員を一つのデータシートとしてまとめている。なお、データは平成 27 年 3 月 31 日現在のものである。

## 1 教員の研究教育・社会貢献活動

学校教育教員養成課程(国語教育)	氏名 増子 和男
------------------	----------

## 教員履歴など

現職	教授
生年月	1953 年 10 月
学歴・職歴	早稲田大学文学研究科博士前期課程修了(1978 年 03 月) 早稲田大学 文学学術院(大学院文学研究科)非常勤講師兼任(2011 年 04 月～) 茨城大学 教育学部教授(2008 年 04 月～) 早稲田大学 第一文学部 非常勤講師(1989 年 04 月～1991 年 03 月) 鶴見大学 文学部 非常勤講師(1990 年 04 月～1991 年 03 月) 梅光女学院大学 文学部 専任講師(1991 年 04 月～1995 年 03 月) 九州国際大学 経済学部 非常勤講師兼任(1994 年 04 月～1999 年 03 月) 梅光女学院大学 文学部 助教授(1995 年 04 月～2001 年 03 月) 梅光学院大学 大学院文学研究科 講師兼任(2001 年 04 月～2002 年 03 月) 梅光学院大学 文学部教授(2001 年 04 月～2008 年 03 月) 東亜大学 総合人間・文化学部 非常勤講師兼任(2002 年 04 月～2004 年 03 月) 梅光学院大学 大学院文学研究科 教授併任(2002 年 04 月～2008 年 03 月) 山口大学 非常勤講師兼任(2007 年 04 月～2008 年 03 月) 台湾輔仁大学 大学院講師兼任(集中講義)(2008 年 02 月～2008 年 02 月) 早稲田大学 文学学術院(大学院文学研究科・文化構想学部)非常勤講師兼任(2011 年 04 月～2014 年 03 月) 茨城大学教育学部附属特別支援学校校長併任(2012 年 04 月～2015 年 03 月)
学位	文学修士[早稲田大学]
受賞歴	なし

所属学会	日本中国学会, 全国漢文教育学会, 和漢比較文学学会, 中唐文学学会, 早稲田大学中国文学会, 中国詩文研究会, 中国古典学会, 日本詩経学会, 日本聞一多学会, 早稲田大学国文学会
専門分野	各国文学・文学論
教育研究概要	唐代伝奇研究。六朝志怪小説研究。日中怪異譚の比較研究。 文言で書かれた小説に現れた用語の来源と、用語に対してそれらの小説が執筆された当時の人々が共有した思いを探っている。 また、関わりの深い日中両国の怪異譚を比較することによって、その受容と変容、その背景となった人々の思いを探っている。
	(キーワード)六朝志怪、唐代伝奇、日中怪異譚比較
担当科目	(教養科目)人間と文学・芸術[日中比較妖怪学入門], 主題別ゼミナール[「声」を届ける] (専門科目)漢文学基礎, 漢文学研究法 I, 漢文学研究法 II, 漢文学概論, 漢文学演習 I, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)漢文学特論, 漢文学研究, 特別課題研究

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

増子和男「日本人作家と上海—桃葉・田中貢太郎の場合—」, 茨城の国語教育, , 14, 58-69, 2015.  
 増子 和男「凶鳥伝説の系譜—姑獲鳥伝説の構成要素として—」, 植木久行教授退休記念 中国詩文論叢 第33集, , 33, 2014.

### 研究業績(2)学会発表など

増子和男, “田中貢太郎と上海”(中日文学関係、以上海を中心双边研討会(上海を中心とした中日の文学関係に関するシンポジウム), 2014 年 12 月)  
 増子和男, “姑獲鳥とウブメの間—羽衣伝説との習合を中心として—”(第7回和漢比較文学学会特別例会(於国立台湾大学), 2014 年 08 月)  
 増子和男, 「「姑獲鳥」考—凶鳥伝説を中心として—」(第 49 回早慶中国学会・2014 年 07 月)  
 増子和男, 「「のっぺらぼう」考—日中比較妖怪学の立場から—」(中京大学文学会 平成 26 年度春季大会公開講演会・2014 年 06 月)  
 <招待講演> 台湾の歩き方・楽しみ方～台北を中心に～(講師(2週連続講座)10/24,10/31)  
 (2014 年 10 月)  
 <招待講演> (国外)台湾輔仁大学外国語学院日本語日本文学系主催 教学卓越計画「日本古典文学研究と教学 社群」(標記のプログラムの一環として「小泉八雲「MUJINA-むじな」に見えるお女中の顔貌表現をめぐって」というテーマで、輔仁大学日本語日本文学系の古典を専攻する学部生、大学院生に講演を行った。)(2014 年 10 月)

**社会的活動、地域貢献など**

日本詩経学会 理事(2002 年 04 月～)

[その他]特別講演 題目「姑獲鳥と産女のあいだ」, 台湾輔仁大学 外国語学院 大学院 日本語日本文学系(2014 年度実施)

[非常勤講師]早稲田大学文学学術院(大学院文学研究科)[非常勤講師](2011 年 04 月～)

**海外出張・海外研修・内地研修など**

台湾 台北、基隆・国立台湾大学、基隆市内史跡[学会参加、実地踏査](2014 年 8 月:3 日間)

台湾 台北市・台北市立文山特殊教育学校、輔仁大学[視察、交流](2014 年 10 月:2 日間)

中国 上海・上海外国語大学[「日中文学関係—上海を中心として」国際フォーラム参加](2014 年 12 月:2 日間)

学校教育教員養成課程(国語教育)

氏名 川嶋 秀之

**教員履歴など**

現職	教授
生年月	1955 年 11 月
学歴・職歴	東京都立大学人文科学研究科博士課程(1987 年)
学位	修士(文学)[東京都立大学]
受賞歴	なし
所属学会	古事記学会, 日本方言研究会, 国語学会
専門分野	国語史
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)人間とコミュニケーション[日本語の世界] (専門科目)国語学演習 II, 国語学概論, 初等国語科内容研究, 国語学演習 I, 言語と文化の諸相, 郷土の言葉, 保育内容の研究(言葉), 初等国語科内容研究, 国語表現法, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)古典語特論, 現代語演習, 特別課題研究

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

川嶋秀之 岡部千草「草野心平「春のうた」の解釈と授業実践 中学校編」, 茨城大学教育実践センター紀要, , 33, 17-31, 2014.

川嶋秀之「井上ひさし「握手」の言語表現」, 茨城大学教育学部紀要(教育総合)増刊号, 1, 1, 1-10, 2014.

**社会的活動、地域貢献など**

[非常勤講師]放送大学[講師](2014 年 10 月)

学校教育教員養成課程(国語教育)	氏名 鈴木 一史
------------------	----------

**教員履歴など**

現 職	准教授
生年月	1967 年 7 月
学歴・職歴	筑波大学教育研究科修士課程修了(1996 年 03 月) 東京大学教育学部附属中等教育学校(2000 年 04 月～2012 年 03 月) 聖徳大学・非常勤講師(国語表現)(2002 年 04 月～2004 年 03 月) 東京大学・非常勤講師(教科教育法)(2005 年 04 月～2012 年 03 月) 聖心女子大学・非常勤講師(教科教育法)(2007 年 04 月～2012 年 03 月)
学位	修士(教育学)[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	解釈学会, 日本国語教育学会, 全国大学国語教育学会, 日本読書学会, 人文科教育学会
専門分野	教科教育学
教育研究概要	(キーワード)国語科教育法 授業プログラム 語彙教育 コーパス 作文教育 作文コーパス 教科書分析 作文語彙 授業開発
担当科目	(専門科目)初等国語科教育法研究, 国語科教育法研究, 国語科教育法演習 II, 初等国語科教育法研究, 保育内容の研究(人間関係), 国語科教育法特講 I, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)国語科教育特論 I, 国語科教育演習 I, 国語科教育授業設計, 言語文化総合研究

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

「言語活動アイデア事典」, 明治図書, 2016.2
「授業に引き込む導入の工夫ー授業の質的变化と課題設定の要素ー」, 教育科学国語教育, 57, 12, 4-8, 2015.12
「課題提示と発問の工夫39」, 明治図書, 2015.9
「作文コンクール入賞作品の文体特徴」, 解釈, 61, 5, 6, 2-11, 2015.6
ー小平作文コンクールの語彙素解析をもとにー
「書き言葉・話し言葉」, 教育学国語教育, 57, 5, 58-59, 2015.5

- 「これからの授業づくり」, 国語教育研究, 50, 515, 46-47, 2015. 3
- 「初等教育における物語構造の潜在的理解—創作活動に資する構造モデル—」, 茨城の国語教育, 14, 29-40, 2015. 3
- 「教科書との対照による「中学校学習指導要領解説 国語編」に見られる学習用語」, 教育科学 国語教育, 57, 3, 10-13, 2015. 3
- 「本時の授業づくり」, 国語教育研究, 50, 514, 46-47, 2015. 2
- 「単元の授業づくり」, 国語教育研究, 50, 513, 46-47, 2015. 1
- 「年間指導計画づくり」, 国語教育研究, 49, 512, 46-47, 2014. 12
- 「観点別評価—再検討する視点とは—」, 教育科学 国語教育, 56, 12, 12-13, 2014. 12
- 鈴木一史 開田晃央「協働的学習による説明文章読解の授業開発—『オカミを見る目』の対比表現較読みを中心として—」, 茨城大学教育実践研究, , 33, 33-47, 2014. 11
- 「集団思考を促す板書の言葉」, 教育科学 国語教育, 56, 11, 60-61, 2014. 11
- 「意見文のモデルと上級へのステップアップ指導」, 教育科学 国語教育, 56, 9, 30-31, 2014. 9
- 「言語活動」のオブラート化」, 教育科学 国語教育, 56, 8, 102, 2014. 8
- 「作文の中の接続表現」, 解釈, 60, 5・6, 54-61, 2014. 6

## 研究業績(2)学会発表など

### <学術会議発表>

- 「漢字学習と言語環境の関係性」(日中言語・文化研究国際学術共同シンポジウム, 2014年08月)
- 「作文コンクール入賞作品の文体特徴—小平記念作文を中心に—」(日本国語教育学会 茨城支部大会・2015年02月)
- 「作文コンクール入賞作品の文体特徴」(全国大学国語教育学会・2014年11月)

### <司会・議長・コンピナー・コーディネータ, パネリスト, 企画・運営>

- 第47回 解釈学会全国大会(司会・指導助言)(2015年8月)
- 第78回 国語教育全国大会(指定討論者兼司会者)(2015年08月)
- 第68回 高等学校部会研究会(研究会主催)(2015年5月)
- 第34回 茨城国語教育学会研究会(シンポジスト)(2015年03月)
- 第67回 高等学校部会研究会(研究会主催)(2014年11月)
- 第46回 解釈学会全国大会(司会・指導助言)(2014年8月)
- 第77回 国語教育全国大会(指定討論者兼司会者)(2014年08月)
- 第66回 高等学校部会研究会(研究会主催)(2014年05月)

### <その他>

- 授業づくり研究会(指導助言・講師)(2015年12月)
- 授業づくり研究会(指導助言・講師)(2015年11月)

授業づくり研究会(指導助言・講師)(2015年10月)  
 授業づくり研究会(指導助言・講師)(2015年08月)  
 茨城県ひたちなか市立磯崎小学校 校内研修会 指導講師(2015.8)  
 授業づくり研究会(指導助言・講師)(2015年07月)  
 授業づくり研究会(指導助言・講師)(2015年05月)  
 授業づくり研究会(指導助言・講師)(2015年04月)  
 授業づくり研究会(指導助言・講師)(2015年02月)  
 水戸市国語同人会(2015年02月)  
 授業づくり研究会(指導助言・講師)(2015年01月)  
 授業づくり研究会(指導助言・講師)(2014年12月)  
 (国外)大阪市立歌島小学校第一回校内研究会(指導助言講師)(2014年06月)

<企画・運営,その他>

iPS 細胞と再生医療の現状とその未来(2014年12月)

<その他>

茨城大学教育学部附属中学校公開授業研究会(指導助言・共同研究)(2015年11月)  
 茨城大学教育学部附属小学校公開授業研究会(指導助言・共同研究)(2015年1月)  
 茨城大学教育学部附属中学校公開授業研究会(指導助言・共同研究)(2014年11月)

<招待講演>

(国外)日中言語・文化研究国際学術共同シンポジウム(2014年08月)

## 社会的活動、地域貢献など

日本教育大学協会 全国研究部門 国語研究部 副部長(2015.4～)  
 日本国語教育学会 高等学校部会副部会長(2010年04月～)  
 解釈学会 常任委員・編集委員(2009年01月～)  
 日本国語教育学会 全国大会企画委員(2008年04月～)  
 日本国語教育学会 センター試験問題検討委員(2005年04月～)  
 日本教育大学協会 日本教育大学協会 全国研究部門 国語研究部・副代表(2014年04月～)  
 解釈学会 解釈学会 編集委員会・常任委員(2012年04月～)  
 日本国語教育学会 センター試験問題検討委員会・現代文分野責任者(2012年04月～)

[出前授業]次世代エキスパート育成事業, 水戸市総合研究所(2014年度実施)

[非常勤講師]筑波大学(2013年04月～2015年03月)

[兼業]教員免許状更新講習(2012 年 04 月～2016 年 03 月)

緑岡高等学校 SSH「科学と表現」(2015 年 11 月)

### **海外出張・海外研修・内地研修など**

中国 南京、揚州・南京大学外語学院、個園、瘦西湖[シンポジウム参加、実地踏査](2014 年 8 月 3 日～7 日)

### **科学研究費補助金などの受領**

「教科書コーパスと作文コーパスとのリレーション解析による言語教育の影響と授業開発」[科研費]基盤研究(C)一般(代表)(2013 年 04 月～2016 年 03 月)

学校教育教員養成課程(社会科教育)	氏名 小野寺 淳
-------------------	----------

**教員履歴など**

現職	教授
生年月	1955年8月
学歴・職歴	筑波大学歴史・人類学研究科博士課程(1985年)
学位	文学博士
受賞歴	なし
所属学会	歴史地理学会, 日本国際地図学会, 東京地学協会, 日本地理学会, 人文地理学会, 茨城地理学会, 交通史研究会
専門分野	人文地理学
教育研究概要	主たる研究は、江戸時代の古地図(主に河川絵図・国絵図)、江戸時代の旅(伊勢参り)、茨城県内における近世・近代の都市・農村の景観変化(石岡市史・協和町史・八千代町史・猿島町史・境町史などを分担執筆)の研究を行っている。授業は人文地理学の概論と専門、地理学野外実習, 地域へのアプローチ(フィールドワークの初歩)、茨城の歴史と文化(茨城県通史)などを担当している。 (キーワード)江戸時代の古地図研究, 伊勢参り, 古道, 城下町
担当科目	(教養科目)社会と人間[都市の歴史的景観], 主題別ゼミナール[地域と世界を考える] (専門科目)茨城の歴史と文化(教科又は教職)/茨城の歴史と文化(情報文化), 初等社会科内容研究, 地理学野外実習 III, 歴史地理学 I(免許なし)/歴史地理学 I, 人文地理学 I/人文地理学, 卒業研究(教育:4単位), 歴史学特別演習 (大学院科目)人文地理学特論, 人文地理学演習, 特別課題研究

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

<p>「書評:川村博忠著『江戸幕府撰日本総図の研究』, 日本歴史, , 802, 101-103, 2015.</p> <p>「茨城県歴史の道調査事業報告書近世編」, 茨城県教育委員会, はしがき, 24-26, 2015.</p> <p>「『茨城 地理 地名 地図の謎』, 実業之日本社, 191, 2014.</p>
--

**研究業績(2)学会発表など**

<p>&lt;招待講演&gt; パルテノン多摩「地域文化講座」講演「近世河川絵図と調布玉川惣画図」(2014年04月)</p>
---

### 社会的活動、地域貢献など

日本地理学会 代議員(2013 年～2015 年)  
茨城地理学会 会長(2012 年 08 月～)  
国絵図研究会・代表(2007 年 08 月～)  
歴史地理学会常任委員長(2015 年 04 月～)

[非常勤講師]愛媛大学法文学部[非常勤講師](2014 年 12 月)  
[非常勤講師]東京大学教養学部[非常勤講師](2014 年 10 月～2015 年 03 月)

### 科学研究費補助金などの受領

科学研究費基盤研究(C)2014～2016 年度「長久保赤水の地図作製プロセスに関する研究」(代表)

学校教育教員養成課程(社会科教育)	氏名 村山 朝子
-------------------	----------

**教員履歴など**

現職	教授
生年月	1958 年 7 月
学歴・職歴	奈良女子大学文学研究科修士課程修了(1984 年 03 月) 茨城大学教育学部教授(2009 年 10 月～) 茨城大学教育学部／人文学部非常勤講師(1992 年 12 月～2004 年 03 月) お茶の水女子大学附属中学校 教諭(1984 年 04 月～1990 年 03 月) 常磐大学人間科学部非常勤講師(1993 年 04 月～2004 年 03 月) 流通経済大学経済学部非常勤講師(1998 年 04 月～2005 年 03 月) 茨城大学教育学部助教授(のち准教授)(2004 年 04 月～2009 年 09 月)
学位	文学修士[奈良女子大学]
受賞歴	人文地理学会賞(人文地理学会)(2007 年 11 月 17 日)
所属学会	日本社会科教育学会, 日本地理教育学会, 日本地理学会, 人文地理学会, 茨城地理学会
専門分野	教科教育学 地理学 人文地理学
教育研究概要	地理教育を中心に、社会科教育のあり方、具体的にはカリキュラム、内容、教材をどうするか、ということが現在の研究課題です。具体的には、地理教育の歴史的変遷や諸外国の動向、教材としての教科書研究、世界地誌教材開発などに取り組んでいます。中学校社会科地理的分野の教科書作成にも長年関わっています。授業は中等社会科の指導法の科目を主に担当しています。  (キーワード)社会科教育 地理教育 教科書 教材 カリキュラム スウェーデン
担当科目	(専門科目)中等社会科教育法研究, 社会科教科論, 社会科教育法特講 II, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)社会科教育特論 II, 社会科教育演習 II

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

, "Geography Education as Part of Social Studies Education in Japan, in Y. Ida et al. eds. Geography Education in Japan.", Springer, Tokyo, 197-207, 2014.

## 社会的活動、地域貢献など

日本地理教育学会 編集委員(2013 年 04 月～)

茨城地理学会 常任委員長(2012 年 08 月～)

日本地理教育学会 評議員(2010 年 04 月～)

いばらき児童生徒地図研究会・会長(2011 年 05 月～)

学校教育教員養成課程(社会科教育)	氏名 木村 勝彦
-------------------	----------

**教員履歴など**

現職	教授
生年月	1961年1月
学歴・職歴	筑波大学教育学研究科博士課程(1991年)
学位	教育学修士[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本公民教育学会, 日本教育方法学会, 全国社会科教育学会, 日本社会科教育学会, 日本教育学会
専門分野	教育学(社会科教育)
教育研究概要	社会科教育に関する教育史的研究(明治以降、昭和前期)、初期社会科の研究、社会科授業論に関する研究 社会科教育に関する教育史的研究(明治以降、昭和前期)、特に社会科成立の視点から戦前の公民教育を中心に検討する。初期社会科の研究、特に戦前の社会的教育を踏まえて、初期の社会科教育事情を検討する。社会科授業論に関する研究 (キーワード)公民教育、社会科教育史、社会科授業論
担当科目	(専門科目)初等社会科教育法研究, 初等社会科教育法研究, 公民科教育法研究 I, 社会科教育法演習 I, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)社会科教育特論 I, 社会科教育演習 I, 特別課題研究

**社会的活動、地域貢献など**

<p>日本社会科教育学会 評議員(2005年04月～)</p> <p>日本公民教育学会 常任理事(2002年04月～)</p> <p>[非常勤講師]白鷗大学法学部[講師](2005年04月～)</p> <p>[その他]茨城県教育研修センター[講師](2004年07月～)</p>
---

学校教育教員養成課程(社会科教育)	氏名 中野 雅紀
-------------------	----------

**教員履歴など**

現 職	准教授
生年月	1963 年 5 月
学歴・職歴	中央大学法学研究科博士課程(1997 年) 京都大学法学研究科博士課程単位取得(2014年から)
学位	法学修士
受賞歴	なし
所属学会	日本比較法研究所, 憲法裁判研究会, ドイツ憲法判例研究会, 憲法理論研究会, 日本公法学会, 法文化学会
専門分野	日本国憲法
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目) 日本国憲法[現代人権論], 日本国憲法[現代人権論], 日本国憲法[現代人権論]/日本国憲法 (専門科目) 法と社会, 日本国憲法, 法学概論, 憲法と社会生活, 法学演習

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

<p>「憲法は私たちの「人権」をどのように守ってくれるの?」宍戸常寿編『18歳から学ぶ人権』(法律文化社, 2015 年11月)8-13 頁.</p> <p>コラム「ホッブズとカントから「基本的人権の尊重」と「平和主義」を考える①」前掲 9 頁.</p> <p>コラム「ホッブズとカントから「基本的人権の尊重」と「平和主義」を考える②」前掲 11 頁.</p> <p>コラム「裁判とゲーム」前掲 13 頁.</p>
---

**研究業績(2)学会発表など**

<p>「身分—法における垂直関係と水平関係—」(法文化学会第 18 回研究大会・2014 年 11 月・慶應義塾大学)総合司会</p>
---

**社会的活動、地域貢献など**

<p>茨城新聞からの安保法制についてのコメント(都合、2回新聞紙上に掲載される)</p>
--

学校教育教員養成課程(社会科教育)	氏名 千葉 真由美
-------------------	-----------

**教員履歴など**

現 職	准教授
生年月	1971 年 3 月
学歴・職歴	東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科博士課程単位取得満期退学(2002 年 03 月)
学位	博士(学術)[東京学芸大学]
受賞歴	なし
所属学会	神奈川地域史研究会, 地方史研究協議会, 歴史学研究会, 関東近世史研究会, 茨城地方史研究会
専門分野	日本史
教育研究概要	(キーワード)近世史、村落史、地域史、史料学、印と捺印をめぐる社会
担当科目	(教養科目)人間と歴史[江戸時代の村と人], 主題別ゼミナール[地域と世界を考える] (専門科目)日本史概説 II, 茨城の歴史と文化(教科又は教職)/茨城の歴史と文化(情報文化), 初等社会科内容研究, 日本史特講 I, 日本史演習, 卒業研究(教育: 4 単位), 歴史学特別演習 (大学院科目)日本史特論, 日本史演習

**社会的活動、地域貢献など**

<p>神奈川地域史研究会 常任委員(2002 年 04 月～)</p> <p>[兼業]文京区教育委員会[文京区文化財調査員](2006 年 06 月～)</p> <p>伊豆の国市教育委員会[伊豆の国市史跡等整備調査委員会世界遺産部会 韮山反射炉関連文書調査員](2013 年 08 月～)</p>
--

学校教育教員養成課程(社会科教育)	氏名 大島 規江
-------------------	----------

**教員履歴など**

現 職	准教授
生年月	1973 年 4 月
学歴・職歴	筑波大学地球科学研究科 博士課程博士後期課程修了(2002 年 03 月)
学位	博士(理学)[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本地理学会, 人文地理学会, 東京地学協会, 地理空間学会, 都市地理学会, The Royal Dutch Geographical Society, 茨城地理学会, 秋田地理学会,
専門分野	地誌学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)社会・国際系科目[オランダの環境と社会] (専門科目)地理学研究法, 基礎地理, 地理学野外実習 III, 初等社会科内容研究, 地誌学 B/地誌学 III/地誌学 III, 地誌学演習, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)地誌学特論, 地誌学演習, 社会・文化総合研究

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

「浜松市におけるガーベラ栽培地域の発展—JAとびあ浜松「PCガーベラ」の取り組みを中心に—」, 茨城地理, 15, pp.27-37, 2014.
「根釧酪農地域における酪農家支援システム—釧路市と厚岸郡浜中町の比較を通して—」, 茨城地理, 16, pp.49-63, 2015.

**海外出張・海外研修・内地研修など**

オランダ バーセル・バーセル周辺農家[農家及び労働者への聞き取り調査](2014 年 6 月:7 日間)
オランダ バーセル、アムステルダム・バーセル周辺農家、アムステルダム大学図書館[聞き取り調査、 資料収集](2014 年 9 月:5 日間)
オランダ バーセル・バーセル周辺農家[農家及び労働者への聞き取り調査](2015 年 6 月:10 日間)
オランダ バーセル・バーセル周辺農家[農家及び労働者への聞き取り調査](2015 年 9 月:10 日間)

**科学研究費補助金などの受領**

「オランダの農村地域における外国人労働力に関する研究」(基盤研究 C)2013.4.-2016.3.研究代 表者
---

学校教育教員養成課程(数学教育)	氏名 根本 博
------------------	---------

**教員履歴など**

現 職	教 授
生年月	1950 年 10 月
学歴・職歴	筑波大学大学院教育学研究科博士後期課程修了(1981 年 03 月) 文部科学省(旧文部省)(1991 年 04 月～2006 年 03 月)
学位	教育学修士[東京教育大学大学院]
受賞歴	なし
所属学会	科学教育学会, 日本数学教育学会
専門分野	教科教育学
教育研究概要	<p>確固たる知力の育成に数学教育が果たすべき役割 —数学教育の社会的考察の試み—</p> <p>現今の社会における子どもたちの数学学習の状況と変化を見定め、未来社会に生きる子どもの知力を確かなものとする数学教育の在り方について述べている。</p> <p>(キーワード) 数学教育学¥n 数学科教育課程論¥n 認知科学</p>
担当科目	<p>(教養科目)身近な数学[数学の楽しみ]</p> <p>(専門科目)算数科教育法特講 II, 数学科教育法演習 I, 数学科教育法研究 I, 算数科教育法研究, 数学科教育法研究 II, 卒業研究(教育:4 単位)</p> <p>(大学院科目)数学教育学特論 I, 数学総合研究, 数学科教育授業設計, 数学教育学演習 I, 特別課題研究</p>

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

--

**研究業績(2)学会発表など**

<p>日本数学教育学会(東北ブロック)(全体会 講演)(2014 年 11 月)</p> <p>&lt;招待講演&gt; 日本数学教育学会(全国大会)(中学校部会 講演 ) (2014 年 08 月)</p>
--

学校教育教員養成課程(数学教育)	氏名 小口 祐一
------------------	----------

**教員履歴など**

現 職	教 授
生年月	1962 年 9 月
学歴・職歴	東北大学大学院教育学研究科博士後期課程修了 茨城大学教育学部教授(2013 年 04 月～) 盛岡大学文学部助教授(2005 年 04 月～2007 年 03 月) 盛岡大学文学部准教授(2007 年 04 月～2010 年 03 月) 茨城大学教育学部准教授(2010 年 04 月～2013 年 03 月)
学位	博士(教育学)[東北大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本統計学会, 日本教授学習心理学会, 日本科学教育学会, 日本数学教育学会, National Council of Teachers of Mathematics
専門分野	教科教育学
教育研究概要	統計教育 (キーワード) 統計教育 オープンアプローチ 空間図形カリキュラム
担当科目	(教養科目) 身近な数学[応用統計学] (専門科目) 算数科教育法研究, 数学科教育法演習 II, 算数科教育法研究, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目) 数学教育学特論 II, 数学総合研究, 数学科教育授業設計, 数学教育学演習 II, 特別課題研究

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

小口祐一「標本比率の散らばりに関する学習者の誤判断」, 茨城大学教育学部紀要(教育総合)(増刊号), 29-46, 2014. 「日本統計学会公式認定統計検定3級・4級公式問題集」, 実務教育出版, 2014.
--

**社会的活動、地域貢献など**

日本教授学習心理学会 編集委員長(2014 年 07 月～)
日本数学教育学会 編集部幹事(2011 年 11 月～)
日本教授学習心理学会 編集委員(2011 年 07 月～)
日本統計学会 統計教育委員(2008 年 04 月～)

[非常勤講師]近大姫路大学教育学部[非常勤講師](2011年04月～)

### 科学研究費補助金などの受領

「中学校高校数学における動的データ探索ソフトによるコンテンツの開発と効果」[科研費]基盤研究  
(C)一般(代表)(2014年04月01日～2018年03月31日)

学校教育教員養成課程(数学教育)	氏名 梅津 健一郎
------------------	-----------

**教員履歴など**

現職	教授
生年月	1965年3月
学歴・職歴	筑波大学数学研究科博士課程修了(1993年03月) 茨城大学教育学部教授(2012年04月～) 筑波大学数学系準研究員(文部技官)(1993年06月～1997年02月) 筑波大学数学系助手(1997年03月～1997年03月) 前橋工科大学工学部講師(1997年04月～2001年03月) 前橋工科大学工学部助教授(2001年04月～2007年03月) 前橋工科大学工学部准教授(2007年04月～2008年03月) 茨城大学教育学部准教授(2008年04月～2012年03月)
学位	博士(数学)[筑波大学]
受賞歴	(The International Society for Analysis, its Applications and Computation)(2003年08月)
所属学会	日本数学会, 日本応用数理学会
専門分野	基礎解析学
教育研究概要	(キーワード)非線形楕円型境界値問題, 非線型境界条件, 変分法, 固有値問題, 符号不定係数, 局所及び大域的分岐理論, 写像度, 人口動態論.
担当科目	(教養科目)身近な数学[数学の楽しみ], ことばの力 (専門科目)解析学C, 解析学A, 解析学の基礎 I/微分積分の基礎, 解析学D, 解析学B, 解析学の基礎 II, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)応用数理学特論, 数学総合研究, 応用数理学演習

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

<p>Humberto Ramos Quoirin, Kenichiro Umez, "On a concave-convex elliptic problem with a nonlinear boundary condition", Annali di Matematica Pura ed Applicata, 2015, online published, doi: <a href="http://dx.doi.org/10.1007/s10231-015-0531-x">http://dx.doi.org/10.1007/s10231-015-0531-x</a></p> <p>Humberto Ramos Quoirin, Kenichiro Umez, "Bifurcation for a logistic elliptic equation with nonlinear boundary conditions: A limiting case", Journal of Mathematical Analysis and Applications, 428, 2, 1265-1285, 2015.</p> <p>Humberto Ramos Quoirin, Kenichiro Umez, "The effect of indefinite nonlinear boundary conditions</p>
---

on the structure of the positive solutions set of a logistic equation”, Journal of Differential Equations, 257, 11, 3935–3977, 2014.

## 研究業績(2)学会発表など

Kenichiro Umezu, “An indefinite superlinear elliptic equation with a nonlinear boundary condition of sublinear type”(RIMS Workshop `Shapes and other properties of solutions of PDEs’, RIMS, 京都大学, 2015 年 11 月)

Kenichiro Umezu, “Bifurcation analysis for a logistic elliptic equation having nonlinear boundary conditions with sign-definite weights”(In the Math Department Seminar of Universidad de Santiago de Chile, 2015 年 9 月)

梅津健一郎, 「convex-concave 混合型境界値問題の解構造における不定符号係数の役割について」(日本数学会 2015 年年会, 函数方程式論分科会, 2015 年 03 月)

Kenichiro Umezu, “The effect of a nonlinear boundary condition with an indefinite weight on the positive solution set of the logistic elliptic equation”(The 10th AIMS Conference on Dynamical Systems, Differential Equations and Applications, Universidad Autonoma de Madrid (UAM), Madrid, Spain, 2014 年 07 月)

梅津健一郎, 「On S-shaped and CS-shaped bifurcation diagrams in population dynamics」(日本数学会 2014 年年会, 函数方程式論分科会, 学習院大学理学部, 2014 年 3 月)

## 海外出張・海外研修・内地研修など

チリ サンティアゴ・サンティアゴ大学数学教室[research visit](2015 年 8-9 月:11 日間)

スペイン マドリード・マドリード自治大学[国際会議出席](2014 年 7 月:5 日間)

## 科学研究費補助金などの受領

科研費・基盤研究(C) 研究課題「符号不定係数と混合型非線形性を伴う楕円型境界値問題の正値解の分岐構造に関する研究」, 研究課題番号:15K04945, 平成 27-29 年度.

学校教育教員養成課程(数学教育)	氏名 栗原 博之
------------------	----------

**教員履歴など**

現 職	准教授
生年月	1970 年 5 月
学歴・職歴	千葉大学自然科学研究科博士課程修了(1999 年) 埼玉短期大学 情報メディア学科 講師(2002 年 04 月～2008 年 03 月) 八戸工業高等専門学校 総合科学科 准教授(2009 年 04 月～2013 年 09 月) 茨城大学 教育学部 准教授(2013 年 10 月～)
学位	博士(理学)
受賞歴	なし
所属学会	日本数学会
専門分野	幾何学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)身近な数学[数学の楽しみ] (専門科目)幾何学の基礎 I, 幾何学の基礎 II, 幾何学 A, 幾何学B, 幾何学C, 幾何学D, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)幾何学特論 I, 幾何学演習 I, 数学総合研究

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

工学系テキストシリーズ 応用数学 森北出版 工学系テキストシリーズ 線形代数 森北出版 Hiroyuki Kurihara and Koji Tojo, Involutions on a compact 4-symmetric space of exceptional type, Osaka J. Math., Volume 52, Number 4 (2015), 1101-1125.
---

学校教育教員養成課程(数学教育)	氏名 松村 初
------------------	---------

**教員履歴など**

現 職	准教授
生年月	1978 年 12 月
学歴・職歴	慶應義塾大学理工学研究科博士後期課程修了(2006 年 03 月)
学位	博士(理学)[慶應義塾大学]
受賞歴	なし
所属学会	大学教育学会
専門分野	離散数学、グラフ理論
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)物理学【力学基礎】, 数学【微分積分基礎】, 数学【微分積分入門】, 物理学【力学初歩】, 物理学【物理学実験基礎】, 身近な数学[応用統計学], 数学【微分積分Ⅱ】 (専門科目)コンピュータ概論, 算数科内容研究

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

<p>“On spanning <math>k</math>-tree in which specified vertices have degree less than <math>k</math>”, <i>Discussiones Mathematicae Graph Theory</i>, 35, 1, 191-196, 2015.</p>
---

**研究業績(2)学会発表など**

<p>, “Degree conditions for spanning <math>k</math>-spiders” (Japan Conference on Graph Theory and Combinatorics, 2014 年 05 月)</p> <p>, 「2 部グラフにおける指定した頂点を結ぶパスによる分割について」(2014 年度応用数学合同研究集会・2014 年 12 月)</p> <p>, 「Degree conditions for vertex-disjoint paths joining specified vertices in bipartite graphs」(離散数学とその応用研究集会 2014・2014 年 08 月)</p>
---

学校教育教員養成課程(数学教育)	氏名 吉井 豊
------------------	---------

**教員履歴など**

現職	准教授
生年月	1981年5月
学歴・職歴	千葉大学自然科学研究科博士後期課程単位取得満期退学(2009年03月) 奈良工業高等専門学校 一般教科 講師(2011年04月～2015年03月)
学位	博士(理学)[千葉大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本数学会
専門分野	代数学
教育研究概要	(キーワード)有限群、代数群、群の表現論、モジュラー表現、リー代数
担当科目	代数学の基礎 I, II, 代数学 A,B,D, 算数科内容研究

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

Yutaka Yoshii, "A tensor product of the Steinberg module and a certain simple  $kG(\hat{p}, \hat{r})$ -module",  
Communications in Algebra, , 2015.

**研究業績(2)学会発表など**

吉井 豊, 「A direct sum decomposition of the  $kG(\hat{p}, \hat{r})$ -submodule generated by the highest weight vector of a certain Weyl  $G$ -module」(RIMS 研究集会「有限群のコホモロジー論とその周辺」・2015年02月)

学校教育教員養成課程(理科教育)	氏名 矢島 裕介
------------------	----------

**教員履歴など**

現職	教授
生年月	1953年8月
学歴・職歴	東京大学理学系研究科博士課程修了(1982年) 茨城大学教育学部教授(2003年04月～) 日立製作所(株)(1982年04月～2003年03月) ブラウンホーファー応用固体物理学研究所客員研究員(1988年02月～1989年01月)
学位	理学博士[東京大学]
受賞歴	なし
所属学会	応用物理学会, 日本物理教育学会
専門分野	物性
教育研究概要	物理学 (キーワード)
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール[サイエンス・コミュニケーション・スキル], 認知・数理系科目[暮らしと数理] (専門科目)量子物性概論, 量子力学, 物理学演習 I, 物理学実験指導法/物理学実験 I/物理学実験 I (大学院科目)自然科学総合研究, 物理学特別実験, 特別課題研究

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

Yusuke Yajima, "A Note on Forming the Correct Schrodinger Equation by Correspondence with Classical Mechanics", Bulletin of the College of Education Ibaraki University (Natural Sciences), 64, 21-32, 2015.
--

**社会的活動、地域貢献など**

[非常勤講師]水戸メディカルカレッジ[講師](2014年04月～2015年03月)
[非常勤講師]土浦協同病院附属看護専門学校[講師](2014年04月～2015年03月)

学校教育教員養成課程(理科教育)	氏名 松川 覚
------------------	---------

**教員履歴など**

現職	教授
生年月	1969年11月
学歴・職歴	東京工業大学理工学研究科博士課程(1997年) 茨城大学教育学部 助教授(2001年04月～) 千葉大学 助手(1997年04月～2001年03月)
学位	博士(工学)[東京工業大学]
受賞歴	なし
所属学会	アメリカ化学会, 理科教育学会, 有機合成化学協会, 日本化学会
専門分野	有機化学 科学教育 環境科学 教科教育学
教育研究概要	合成有機化学をはじめとする基礎化学研究・大学化学教育における新しい取り組み・初等・中等化学教育における新規な教材開発等、教育学部ユニークの化学研究を目指している。  (キーワード)有機合成化学 化学教育 科学教育
担当科目	(教養科目)身近な化学[化学と環境と生活] (専門科目)有機化学, 化学実験指導法/化学実験 I/化学実験 II, 環境化学, 初等理科内容研究, 有機化学演習, 化学実験 II, 化学演習, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)化学特論, 自然科学総合研究, 特別課題研究

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

<p>Satoru Matsukawa, Kazuki Fukazawa, Junya Kimura, "Polymer-supported PPh<sub>3</sub> as a reusable organocatalyst for the Mukaiyama aldol and Mannich reaction", RSC Advances, 4, 27780-27786, 2014.</p> <p>Satoru Matsukawa, Yasutaka Mouri, "A Mild and Regioselective Ring-Opening of Aziridines with Acid Anhydride Using TBD or PS-TBD as a Catalyst" Molecules 2015, 20(10), 18482-18495</p>
--

**研究業績(2)学会発表など**

<p>「空気に安定な新規ジホスホニウム塩の合成とその利用」日本化学会第 94 春季年会 (名古屋)</p> <p>「ポリスチレン担持トリフェニルホスフィンを触媒とした向山アルドール反応」日本化学会第 94 春季年会 (名古屋)</p>
---

「TBD を触媒とするカルボニル 化合物へのシアノシリル化およびシアノエステル化」第 4 回 CSJ 化学フェスタ (東京)

**社会的活動、地域貢献など**

[非常勤講師]茨城県立農業大学校[非常勤講師](2012 年 04 月～)

学校教育教員養成課程(理科教育)	氏名 大辻 永
------------------	---------

**教員履歴など**

現 職	准教授
生年月	1966 年 7 月
学歴・職歴	東京工業大学総合理工学研究科博士課程中退(1995 年 03 月) 国立大学法人茨城大学准教授(教育学部)(2007 年 04 月～) 茨城大学助教授(教育学部)(1997 年 10 月～2004 年 03 月) 千葉県立千葉高等学校(非常勤講師)(1991 年 04 月～1994 年 03 月) 茨城大学講師(教育学部 専任)(1995 年 04 月～1997 年 09 月) 国立大学法人茨城大学助教授(教育学部 改組による)(2004 年 04 月～2007 年 03 月)
学位	修士(教育学)[千葉大学]
受賞歴	(East-Asian Association for Science Education)(2011 年 10 月 28 日), 日本教育工学会研究奨励賞(1995 年), 日本科学教育学会 科学教育研究奨励賞(1994 年)
所属学会	日本環境教育学会, 日本科学技術社会論学会, ASERA (Australian Science Education Research Association), 日本高等教育学会, National Association of Geoscience Teachers, 日本教育工学会, 日本理科教育学会, 日本認知科学会, 日本科学教育学会, 日本地学教育学会, 東亜科学教育学会
専門分野	科学教育
教育研究概要	科学教育の周辺。 (キーワード) 科学教育の文化研究
担当科目	(教養科目) 主題別ゼミナール[サイエンス・コミュニケーション・スキル] (専門科目) 初等理科教育法研究, 初等理科教育法研究, 中等理科内容研究, 理科教育演習A, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目) 理科教育学演習, 国内実践教育演習, 理科教育学特論, 理科授業設計, 環境変動適応・防災論, サステイナビリティ教育演習 I

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

大辻永・五島浩一「参加してよかったと思える教員研修:理論と実践を逆転させる試み」, 理科の教育, 63, 5, 46-49, 2014.

## 研究業績(2)学会発表など

- 大辻永. (2016.2.19). パネラー:第5回サイバーフォレストシンポジウム「持続する自然体験にむけて」第1部「自然体験の拡張による持続」、パネルディスカッション「持続する自然体験にむけて」、2016.2.19, 15:50-17:30, 東京大学農学部1号館7番教室. 第5回サイバーフォレストシンポジウム.
- Otsuji, H., Seki, Y., and Park, Y.S. (2015.12.5). A handmade graph to imply the Global Warming: To show the urgent issue based on the local data, 2015 Kanto Regional Conference, Society of Japan Science Teaching (SJST), College of Education, Ibaraki University, p.48. C09.
- 柴俊博・大辻永. (2015.8.1). 07A01 小・中学校における気象災害に関する防災教育の現状, 日本理科教育学会第 65 回全国大会, 京都教育大学.
- 小林宣夫・大辻永ほか. (2015.6.). ラムサール条約登録予定湿地涸沼のワイズユース等に関する事業, 『平成 26 年度茨城大学社会連携センター戦略的地域連携プロジェクト報告書』, 11-18.
- 大辻永・戸田雅彦・飯村紘子・Y-S.Park・阿部洋己・藤岡達也. (2015.5.16). 将来の放射線学習への布石:小学校算数4年「折れ線グラフ」で扱う2つのコンポスト, 日本科学教育学会北関東支部大会群馬大学.
- Young-Shin Park, Jeong-Un Gwan, Jihyun Kim, Dahye Jeong and Hisashi Otsuji. (2015). Exploring Science Communication about Nuclear Radiation and its Implication in Science Education: the Cases of Korea and Japan, KESS Biannual Conference (Chuncheon National University of Education, April 23-24, 2015).
- Otsuji, H., Toda, M., Iimura, H., Park, Y.S., Abe, H. & Fujioka T., "Seeding for Future Radiation Learning: The Two Magical Compost-containers in Elementary Mathematics" (KASE2015, Pusan National University, Korea, 2015 年 02 月)
- Otsuji, H. Toda, M., Nobeoka, A, & Taylor, P.C., "The developed inquiry-based spiral curriculum to promote the radiation literacy as STS and Sustainability Education." (STEM 2014, 2014 年 07 月)
- 戸田雅彦・大辻永, 「3G2-L4 初等中等教育における現代的科学リテラシーの育成を目指した放射線教育カリキュラムの開発ー先行研究と科学館での実践ー」(日本科学教育学会第 38 回年会(埼玉大学教育学部)・2014 年 09 月)
- 大辻永・戸田雅彦, 「放射線リテラシーを含む現代的科学リテラシーを育成するカリキュラム開発」(日本理科教育学会第 64 回全国大会シンポジウム・2014 年 08 月)
- <招待講演> (国外)ECCO-SM(Invited Speech: Focusing on the Classroom Culture of Elementary School Science in Japan) (2015 年 01 月)

## 社会的活動、地域貢献など

- 大辻永. (2016.3.1).水戸市立城東小学校「サケ集会」8:20-40.
- 大辻永. (2016.2.4). 平成 27 年度中学校理科「科学的に探究する活動の充実」に係る授業研究会, 茨城大学教育学部附属中学校. (助言)

日本理科教育学会第 54 回関東支部大会, 2015.12.5, 実行委員長.

大辻永. (2015.10.3, 11.7, 12.19). ラムサール条約登録記念・連続講座「人と自然の潤沼へ」(コーディネート), 茨城大学附属図書館主催平成 27 年度後期土曜アカデミー、サイエンスカフェ/ 大辻永. (2015.10.3). ラムサール条約: 兄弟登録地を訪れ

Otsuji, H. (2015.9.19). "Science Museum in Japan / Workshop for a Radiation WS in Science Museum" Chosun University, Gwangju, Korea.

Otsuji, H. (2015.9.18). "The Interface of the Nature and Human Being: For Integrated Sustainability Education" Chosun University, Gwangju, Korea.

平松不二夫・大辻永. (2015.8.21). 子どもと共に考える実験方法, 教員免許状更新講習. 茨城大学教育学部 A425 室.

大辻永. (2015.8.20). 今あらためて防災とは, 平成 27 年度福島県「生き抜く力」を育む防災教育推進事業第3回運営協議会, 杉妻会館(3階百合の間).

茨城大学教育学部理科教育研究室. (2015.8.12-14). 夏休み特別講座茨城大学夏休み特別講座. 大洗わくわく科学館.

大辻永. (2015.8.7) どっちが重い?, 茨城県教育研究会理科教育研究部・笠間市教育研究会理科教育研究部平成 27 年度地区別理科実践実技研修会, 笠間市立笠間中学校. 75 名

[出前授業]はらぺこあおむし: 同一素材を用いた授業研究 2014.6.9 布川小学校, 利根町立布川小学校(2014 年度実施)

[その他]静岡大学理学部「理科教育法 IV」非常勤講師 2014.8.27-29.(2014 年度実施)

「子どもの科学技術・理科に対する関心を高める家庭環境の実現のための保護者に対する科学教室等の取組のあり方についての調査研究」(共同研究): (2003 年～)

大辻永・五島浩一. (2013). 「模擬授業実践をとおした生徒が主体的に取り組む理科授業の在り方」, 第4回神栖市教育会理科教育研究部研修会(講師), 2013.8.20. 8:50-12:30. 神栖市中央公民館第3会議室(神栖市教育会理科教育研究部員 25 名、小学校理科教科担任及び中学校理科担当教員等 10 名 計 35 名)[神栖市教育会理科教育研究部](2013 年 08 月～), [附属小学校 公開授業研究会 助言](2013 年 02 月～), 美浦村立安中小学校(担当: 山本紀子先生)5年 天気と情報(2)台風と天気の変化[平成 24 年度茨城県「小学校理科教育推進事業における推進地域のモデル小学校」公開授業研究会助言(美浦村立安中小学校)](2012 年 11 月～), [茨城県 教員連 助言者](2012 年 10 月～), 大辻永, 2010, 見えないところにそれはある, 茨城大学教育学部同窓会会報 43, 6-7, H22.12.27[茨城大学教育学部同窓会会報 執筆](2010 年 12 月～), 茨城高等学校・中学校第7回 PTA 研修会 講演「地球温暖化」茨城大学人文学部 10 番教室 約 130 名[茨城高等学校・中学校](2009 年 11 月～), 日食観察会 1-6 年生 142 名[水戸市立見川小学校](2009 年 07 月～), わくわくタイム(総合的な学習)講師 2008 から[水戸市立緑岡小学校](2009 年 05 月～)

**海外出張・海外研修・内地研修など**

朝鮮大学(韓国・光州, 2015.9)

カナダ バンクーバー、ブラッケンデイル・ブリティッシュコロンビア大学、Cheakamus Centre[国際会議参加、打合せ](2014年7月:4日間)

オーストラリア パース・カーティン大学[協議](2014年10月:7日間)

韓国 ソウル・ソウル大学[国際学会への参加。日本の理科教育文化に関する基調講演。](2015年1月:2日間)

韓国 釜山・釜山市内・釜山大学校[平成26年8月豪雨の被災地の状況調査・韓国科学教育学会参加](2015年2月:2日間)

**科学研究費補助金などの受領**

分担金のみ

学校教育教員養成課程(理科教育)	氏名 棗田 孝晴
------------------	----------

**教員履歴など**

現職	准教授
生年月	1967年9月
学歴・職歴	<p>京都大学理学研究科博士後期課程単位取得満期退学(1998年03月)</p> <p>財団法人自然環境研究センター 研究員(1999年04月～1999年08月)</p> <p>地球・人間環境フォーラム 客員研究員(2000年04月～2001年03月)</p> <p>山梨学院大学 非常勤講師(2000年04月～2007年03月)</p> <p>富士常葉大学附属環境防災研究所 研究員(環境防災学部 非常勤講師兼任) (2006年04月～2008年03月)</p> <p>独立行政法人水産総合研究センター 中央水産研究所 内水面研究部 生態系保全研究室 研究補助/研究支援職員(2008年04月～2009年03月)</p> <p>千葉科学大学 危機管理学部 非常勤講師(2008年09月～2009年03月)</p> <p>千葉科学大学 危機管理学部 専任講師(2009年04月～2013年03月)</p> <p>茨城大学 教育学部 准教授(2013年4月～至現在)</p>
学位	博士(理学)[京都大学]
受賞歴	平成22年度 日本水産学会論文賞(公益社団法人 日本水産学会)(2011年03月29日)
所属学会	日本水産学会, 日本生態学会, 応用生態工学会, 日本魚類学会, 日本動物行動学会, 日本陸水学会
専門分野	動物生態学 河川生態学 魚類生態学 保全生物学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	<p>(教養科目)身体・行動系科目[動物の行動と社会]</p> <p>(専門科目)基礎生物学, 生物学実験, 保育内容の研究(環境), 生物学野外実習, 動物生態学, 動物学演習, 初等理科内容研究, 生物学演習, 卒業研究(教育:4単位)</p> <p>(大学院科目)自然科学総合研究, 生物学特別実験, 生物学特論</p>

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

Takaharu Natsumeda, Hiroyuki Sakano, Tetsuya Tsuruta, Kayoko Kameda, Kei'ichiro Iguchi,  
 "Immigration of the common cormorant *Phalacrocorax carbo hanedae* into inland areas of the  
 northern part of Nagano Prefecture, eastern Japan, inferred from stable isotopes of carbon, nitrogen

and sulphur”, Fisheries Science, 81, 1, 131-137, 2015.

Takaharu Natsumeda, Noriko Takamura, Megumi Nakagawa, Yasuro Kadono, Tetsuo Tanaka, Hiromune Mitsuhashi, “Environmental and biotic characteristics to discriminate farm ponds with and without exotic largemouth bass and bluegill in western Japan”, Limnology, 16, 3, 139-148, 2015.

Iguchi K, Tanaka H, Shinagawa T, Tsuruta T, Natsumeda T, Konish K, Abe S, “Differing wariness for approaching humans among cormorant migrants advancing into rural or urban habitats”, Journal of Agricultural Science, 7, 11, 180-188, 2015.

棗田孝晴・吉田孝志「千葉県北東部の谷津田の草地におけるキュウシュウノウサギ (*Lepus brachyurus brachyurus*) の糞場周囲の草高の選択性」茨城大学教育学部紀要(自然科学), 64, 33-39, 2015.

棗田 孝晴「レッドデータブック 2014 ー日本の絶滅のおそれのある野生生物ー 汽水・淡水魚類(環境省 編)」, ぎょうせい, 350, 2015.

## 研究業績(2)学会発表など

棗田孝晴(茨城大教育)・宮本北斗(松岡水産)・鶴田哲也(大阪産大人間環境)・武島弘彦(地球研)・安房田智司(新潟大理臨海)・井口恵一朗(長大院水・環), 「長野県千曲川水系の支流枝沢におけるカジカ大卵型(*Cottus pollux* LE)の食性と餌料選択性の流程変異」(2015年度日本魚類学会年会, 2015年9月)

古屋康則・森 温子(岐阜大教育)・棗田孝晴(茨城大教育)・藤井亮吏(岐阜水産研), 「カジカ(大卵型)の生殖腺発達過程と繁殖期の多様性」(平成27年度公益社団法人日本水産学会春季大会・2015年3月)

## 社会的活動、地域貢献など

日本魚類学会 日本魚類学会 会計幹事(2014年01月～2015年12月)

日本魚類学会 日本魚類学会自然保護委員会 希少淡水魚問題検討部会 委員(2011年01月～)

## 科学研究費補助金などの受領

「カジカ等の生態的移動弱者の生物多様性に配慮した河川管理方策の提案」[科研費]基盤研究(C)一般(代表)(2013年04月～2016年03月)

学校教育教員養成課程(理科教育)	氏名 青島 政之
------------------	----------

### 教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1972 年 11 月
学歴・職歴	千葉大学自然科学研究科博士後期課程中退(1999 年 05 月) 茨城大学教育学部 准教授(2014 年 04 月～) 秋田県立大学 助手(1999 年 06 月～2006 年 03 月) 秋田県立大学 助教(2006 年 04 月～2014 年 03 月)
学位	博士(理学)[千葉大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本化学会
専門分野	物理化学
教育研究概要	酸化鉄コロイド粒子の形態制御と凝集現象 (キーワード) 磁性粒子、ヘマタイト、分子シミュレーション
担当科目	(専門科目) 無機物理化学, 基礎化学(中教科:理科)/基礎化学(環境コース), 化学実験 I, 化学実験 II, 化学演習 (大学院科目) 自然科学総合研究, 化学特別実験

### 社会的活動、地域貢献など

[茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]いばらき理科教育推進事業「科学自由研究の指導(探求基礎)」県西生涯学習センター, 茨城県教育委員会(2014 年度実施)
---

### 科学研究費補助金などの受領

「ヘマタイトコロイド粒子の形態制御と自己組織化」[平成26年度教育学部研究費特別配分](代表) (2014 年 08 月 01 日～2015 年 03 月 31 日)
--

学校教育教員養成課程(理科教育)	氏名 永尾 敬一
------------------	----------

**教員履歴など**

現 職	准教授
生年月	1973 年 9 月
学歴・職歴	<p>東京大学総合文化研究科博士課程修了(2002 年)</p> <p>茨城大学 教育学部 理科教育教室 准教授(2007 年 04 月～)</p> <p>高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所 協力研究員(2002 年 04 月～2003 年 01 月)</p> <p>高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所 研究機関研究員(2003 年 01 月～2005 年 03 月)</p> <p>茨城大学 教育学部 理科教育教室 助教授(2005 年 04 月～2007 年 03 月)</p>
学位	学術博士[東京大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本物理学会
専門分野	素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	<p>(専門科目)基礎物理学, 初等理科内容研究, 電磁気学, 物理学演習 I, 物理学演習 B, 卒業研究(教育:4 単位)</p> <p>(大学院科目)自然科学総合研究, 物理学特論</p>

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

Keiichi Nagao and Holger Bech Nielsen, 「Reality and hermiticity from maximizing overlap in the future-included complex action theory」(Progress of Theoretical and Experimental Physics, 2015/ 5, 051B01, 1-9)
---

**研究業績(2)学会発表など**

永尾 敬一、Holger Bech Nielsen, 「Momentum relation and classical limit in the future-not-included complex action thory」(日本物理学会 2015 年年次大会・2015 年 03 月)
永尾 敬一, 「Momentum relation and classical limit in the future-not-included complex action thory」(茨城大学理学部素粒子論研究室セミナー・2014 年 05 月)

### 海外出張・海外研修・内地研修など

デンマーク コペンハーゲン・Niels Bohr Institute [複素作用理論に関する研究の打合せ] (2014 年 12 月～2015 年 1 月:26 日間)

学校教育教員養成課程(理科教育)	氏名 上栗 伸一
------------------	----------

**教員履歴など**

現 職	准教授
生年月	1977 年 6 月
学歴・職歴	九州大学比較文化研究科博士課程修了(2005 年 03 月) 茨城大学教育学部理科教育講座・准教授(2012 年 04 月～) 北海道大学大学院理学研究科・研究員(2005 年 04 月～2007 年 03 月) 筑波大学大学院生命環境科学研究科・研究員(2007 年 04 月～2008 年 03 月) 日本学術振興会特別研究員(筑波大学)(2008 年 04 月～2011 年 03 月) 高知大学海洋コア総合研究センター・研究員(2011 年 04 月～2012 年 03 月)
学位	博士(理学)[九州大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本地学教育学会, 日本地質学会, 日本古生物学会
専門分野	層位・古生物学
教育研究概要	古生物を使って, 地球の歴史を復元する. (キーワード) 地学, 新生代, 古生物
担当科目	(教養科目) 身近な地球科学[地球のしくみ] (専門科目) 基礎地学, 地学実験指導法, 地学実験指導法/地学実験A/地学実験A, 地学野外実習, 初等理科内容研究, 地質学, 地球科学演習, 気象学/気象学(環境コース), 地学演習, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目) 自然科学総合研究, 地学特論, 地学特別実験

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

荻野京也・上栗伸一・伊藤 孝「伊豆半島を対象とした平成 25 年度「地学野外実習」の授業報告」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), , 63, 11-22, 2014.

**研究業績(2)学会発表など**

上栗伸一, 「中期～後期中新世のカリフォルニア海流の変遷史」(MRC 研究集会・2015 年 03 月)  
、「中期～後期中新世における北東太平洋の放散虫化石群集」(大阪微化石研究集会・2014 年 11 月)  
上栗伸一, 「中?後期中新世の北東太平洋の放散虫群集」(2014 年日本古生物学会・2014 年 07 月)

**社会的活動、地域貢献など**

地学オリンピックの地区コーディネーター, いばらき理科教育推進事業(代表 松川覚)

学校教育教員養成課程(音楽教育)	氏名 田中 健次
------------------	----------

**教員履歴など**

現職	教授
生年月	1954年3月
学歴・職歴	国立音楽大学音楽研究科修士課程修了(1980年) カシオ計算機株式会社営業開発本部電子楽器企画部(1980年04月～1982年03月) 日本ハモンドオルガン株式会社 音楽教育プログラム企画(契約)(1983年04月～1988年03月) 株式会社サウンドスタッフプロデューサー(1985年04月～1995年03月) 佐賀大学教育学部助教授(1995年04月～1996年09月) 佐賀大学文化教育学教授((1996年10月～2003年03月) 茨城大学教育学部教授(2002年10月～)
学位	博士(文学)[大阪大学大学院 文学研究科]
受賞歴	なし
所属学会	国際コンピュータ ミュージック学会(International Society of Computer Music), 国際音楽教育学会(International society of Music Education)(ISME), 東洋音楽学会, 日本音楽教育学会
専門分野	音楽教育学、伝承文化研究
教育研究概要	音楽教育(ミュージック・テクノロジー)、音楽産業、日本の音楽文化
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール[音楽を学ぶ意味] (専門科目)初等音楽科教育法研究(4クラス), 音楽科教育法研究I、音楽科教育法研究II, 音楽教育特別演習I, 音楽教育特別演習II, 保育内容の研究(表現), 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)音楽科教育研究法, 音楽科教育特論I, 音楽教育授業設計, 特別課題研究

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

田中健次「特集伝統や文化に関する教育の更なる充実一提言:伝統文化を尊重する異議と指導上の留意点」, 『中等教育資料1月号』, 1月号, 10-13, 2015. 八木正一、磯田三津子、川村有美、田中健次「民族音楽指導の基本的視点と授業構成—台湾音楽
---

の場合を中心に一」, 埼玉大学紀要(教育学部), 63, 2, 2014.

田中健次「特集音楽と絆-子ども達と音楽の絆-」, 『音楽文化の創造』, 72 号, 11-14, 2015.

田中健次「中国の音楽事情 4 海外の早期教育の現状」, 『音楽文化の創造』, 70 号, 28-29, 2014.

田中健次「2000 年歴史絵巻 日本の音楽(年表, 総論)」『雑誌:新発見! 日本の歴史』, 朝日新聞出版, 33-37, 2014.

八木正一、吉田孝、三村真弓他「『音楽の授業をつくる-音楽科教育法-』」, 大学図書出版, 33-40, 68-76, 2014.

## 研究業績(2)学会発表など

<招待講演, パネリスト> (国外) アジアの伝統音楽に関するシンポジウム(パネリスト) (2014 年 12 月)  
北海道音楽教育連盟主催「第 56 回北海道音楽教育研究会十勝大会」(全体講評・講師) (2014 年 11 月)

<その他> 大津市小学校音楽科部会主催「小学校音楽部会公開講座・子どもが目を輝かせ、自然と  
のってくる音楽科の授業づくり」(公開講座講師) (2014 年 08 月)

<企画・運営> 日本音楽の指導法研究会(主催) (2014 年 07 月)

<招待講演> 公益財団法人わらべ館(鳥取市)主催唱歌・童謡講演会(講演タイトル「うた(音楽)の力」  
講演者) (2014 年 07 月)

神奈川県中郡(大磯町・二宮町)音楽教育部会研修会(研修会講師「音楽教育における言語活動に  
ついて」) (2014 年 06 月)

## 研究業績(3)芸術・体育系の活動

<芸術系の活動・建築作品等> 茨城県茨城町立青葉中学校校歌作曲 (2014 年 04 月)

## 社会的活動、地域貢献など

[非常勤講師] 埼玉大学教育学部[非常勤講師] (2013 年 09 月～2015 年 03 月)

[兼業] 放送大学[非常勤講師] (2007 年 04 月～)

[非常勤講師] 放送大学[大学院特別講師] (2006 年 04 月～)

日本音楽部門審査員[第 38 回全国高等学校総合文化祭「いばらき総文 2014」(牛久市中央生涯学  
習センター)] (2014 年 07 月)

## 海外出張・海外研修・内地研修など

台湾 台南・台南南華大学[シンポジウム参加] (2014 年 8 月:2 日間)

中国 西安・西安理工大学芸術学院[亜州芸術教育協会第四回研究討議会への参加] (2014 年 12  
月:3 日間)

タイ バンコク・チュラロンコン大学[研究交流] (2015 年 2 月～3 月:4 日間)

### 科学研究費補助金などの受領

「次世代型 rFuture schod」システムの実践的研究」[茨城大学 平成 25 年度茨城大学推進研究プロジェクト支援](2014 年 08 月 20 日～2015 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(音楽教育)	氏名 神部 智
------------------	---------

**教員履歴など**

現職	教授
生年月	1963 年 5 月
学歴・職歴	ヘルシンキ大学大学院音楽研究科博士課程修了(2005 年)
学位	博士(音楽学)(Ph.D. in Musicology)[ヘルシンキ大学]
受賞歴	なし
所属学会	International Semiotics Institute, 美学会, 日本音楽学会, 音楽表現学会
専門分野	音楽学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール[音楽を学ぶ意味] (専門科目)ピアノ, 音楽史, ピアノ(必修・伴奏を含む), 初等音楽科内容研究, 音楽学 I, ピアノ, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)音楽学研究, 音楽学演習

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

「ピアノの学習過程に関する研究」, 茨城大学教育学部紀要(教育総合), 増刊, 59-66, 2014. 「シベリウス 組曲《恋人》作品 14 ほか」, 「フィルハーモニー」(NHK 交響楽団機関誌), 86, 5, 15-16, 2014.
--

**社会的活動、地域貢献など**

日本シベリウス協会 理事(2001 年 12 月～2014 年 11 月) 日本教育大学協会全国音楽部門 モデル・コア・カリキュラム検討プロジェクト・委員(2006 年 07 月)  [出前授業]茨城県立水戸第二高等学校[講師](2007 年 07 月～) [非常勤講師]宇都宮大学[非常勤講師](2006 年 10 月～) [出前授業]常陸大田高校[講師](2003 年 07 月～) [その他]日本シベリウス協会[理事](2001 年 12 月～2014 年 11 月)
---

学校教育教員養成課程(音楽教育)	氏名 谷川 佳幸
------------------	----------

**教員履歴など**

現職	教授
生年月	1964年8月
学歴・職歴	東京芸術大学音楽研究科修士課程修了(1995年03月)
学位	修士[東京芸術大学]
受賞歴	第2回藤沢オペラコンクール奨励賞
所属学会	
専門分野	芸術音楽、声楽
教育研究概要	(キーワード)オペラ、声楽
担当科目	(教養科目)音楽を学ぶ意味[主題別ゼミナール], 台本と音楽[人間と文学・芸術], 水戸芸術館で学ぶ、音楽、演劇、美術[人間・文化系科目] (専門科目)初等音楽科内容研究, 独唱, 独唱, 独唱, 合唱, 独唱, 卒業研究 (大学院科目)音楽文化総合研究, 声楽研究, 音楽教育授業設計, 声楽演習

**研究業績(3) 芸術・体育系の活動**

<p>&lt;芸術系の活動・建築作品等&gt;第3回春のコンサート(2014年03月)</p> <p>&lt;芸術系の活動・建築作品等&gt;平井秀明 歌劇《かぐや姫》(2014年02月)</p> <p>&lt;芸術系の活動・建築作品等&gt;ニューイヤーガラコンサート(2014年01月)</p> <p>&lt;芸術系の活動・建築作品等&gt;ベートーヴェン 交響曲第9番(2013年12月)</p> <p>&lt;芸術系の活動・建築作品等&gt;ベートーヴェン 交響曲第9番第4楽章(2013年12月)</p> <p>&lt;芸術系の活動・建築作品等&gt;谷川佳幸テノールコンサート(2013年11月)</p> <p>&lt;芸術系の活動・建築作品等&gt;同声会茨城支部演奏会</p> <p>モーツァルト 歌劇「魔笛」抜粋(2013年10月)</p> <p>&lt;芸術系の活動・建築作品等&gt;独演コンサート(2013年09月)</p> <p>&lt;芸術系の活動・建築作品等&gt;平井秀明 歌劇「小町百年の恋」(2013年08月)</p> <p>&lt;芸術系の活動・建築作品等&gt;ファウスト「ゲーテのファウストと音楽」(2013年07月)</p> <p>&lt;芸術系の活動・建築作品等&gt;谷川佳幸テノールコンサート(2013年06月)</p>
---

**社会的活動、地域貢献など**

[非常勤講師]日本声楽家協会研究所[研究科副主任](2012年04月～2015年03月)
--

学校教育教員養成課程(音楽教育)	氏名 藤田 文子
------------------	----------

**教員履歴など**

現 職	准教授
生年月	1957 年 9 月
学歴・職歴	筑波大学教育研究科博士課程単位取得満期退学(1995 年)
学位	博士[常磐大学]
受賞歴	教養教育の推奨授業の候補(2007 年 07 月, 2004 年), 全日本合唱連盟関東支部合唱コンクール茨城県大会銅賞受賞(1981 年 09 月)
所属学会	日本音楽教育学会, 音楽教育史学会, 教育史学会, 教育実践学会, 教育哲学会, 日本教育方法学会, 日本教育学会
専門分野	音楽科教育, 教育学
教育研究概要	(キーワード)フレーベルの音楽教育思想、小・中学校の音楽科教育、教員養成大学における音楽科教育の授業研究、フレーベルの教育思想
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール[音楽を学ぶ意味] (専門科目)初等音楽科教育法研究, 音楽科教育法研究 III, 独唱 (大学院科目)音楽教育授業設計、音楽科教育演習、音楽科教育特論 II

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

鶴田昭則、内野健太、藤田香織、山口(藤田)文子「音楽科教育における歌唱指導の研究—幼稚園、小・中学校、高等学校に共通する内容を中心に—」、『茨城大学教育学部紀要』(教育総合)(茨城大学教育学部)増刊, 67-84, 2014.
---

**研究業績(2)学会発表など**

--

**研究業績(3)芸術・体育系の活動**

--

**社会的活動、地域貢献など**

教育実践学会 理事(2001 年 6 月～)
音楽教育史学会編集委員(2014 年 5 月～)

学校教育教員養成課程(音楽教育)	氏名 山口 哲人
------------------	----------

### 教員履歴など

現職	准教授
生年月	1968 年 8 月
学歴・職歴	東京芸術大学音楽研究科
学位	
学位	
受賞歴	<p>第 7 回日本管打・吹奏学会作曲賞 佳作入選(一般社団法人 日本管打・吹奏楽協会)(2016 年 02 月 07 日),(2015 年 02 月 11 日),第 13 回弘前桜の園作曲コンクール 第 3 位入賞(ミュージックラボ)(2015 年 04 月 29 日), 第 6 回日本管打・吹奏学会作曲賞 佳作入選(一般社団法人 日本管打・吹奏楽協会),第 4 回東京国際歌曲作曲コンクール 入選(国際芸術連盟)(2014 年 04 月 03 日), 第 19 回日本歌曲コンクール作曲部門最優秀賞 および全音楽譜出版社賞(社団法人 日本歌曲振興会)(2013 年 03 月 15 日), 第 2 回小田原賞作曲コンクール 入選(2012 年 05 月 31 日), 第 10 回記念弘前桜の園作曲コンクール 第 3 位入賞(ミュージックラボ)(2012 年 04 月 29 日), 白蓮の和歌作曲コンクール 入選(飯塚市・財団法人飯塚市教育文化振興事業団)(2012 年 02 月 19 日), 東京国際芸術協会 第 11 回 TIAA 全日本作曲家コンクール 第 1 位(一般社団法人 東京国際芸術協会)(2011 年 11 月 04 日), 第 18 回奏楽堂日本歌曲コンクール 作曲部門 中田喜直賞受賞(財団法人 台東区芸術文化財団)(2011 年 05 月 29 日), 第 10 回 TIAA 全日本作曲家コンクール 審査員賞受賞(一般社団法人 東京国際芸術協会)(2011 年 03 月 31 日), 東京国際芸術協会 第 9 回 TIAA 全日本作曲家コンクール 奨励賞(一般社団法人 東京国際芸術協会)(2010 年 11 月 09 日), 第 3 回全日本吹奏楽連盟作曲コンクール 第 1 位(社団法人 全日本吹奏楽連盟)(2010 年 06 月 30 日), 第 17 回奏楽堂日本歌曲コンクール 作曲部門第 2 位入賞(財団法人 台東区芸術文化財団)(2010 年 05 月 23 日), 第 14 回東京国際室内楽作曲コンクール 第 2 位(国際芸術連盟)(2009 年 12 月 01 日), 第 17 回日本歌曲コンクール 作曲部門 優秀賞(社団法人 日本歌曲振興会)(2009 年 09 月 22 日), 第 16 回奏楽堂日本歌曲コンクール 作曲部門第 2 位入賞(財団法人 台東区芸術文化財団)(2009 年 05 月 24 日), 第 15 回奏楽堂日本歌曲コンクール 作曲部門第 3 位入賞(財団法人 台東区芸術文化財団)(2008 年 05 月 25 日), 平成 8 年度文化庁舞台芸術創作奨励特別賞(最高位)受賞(文化庁)(1997 年 04 月 15 日), 稲門グリークラブ 40 周年記念作曲コンクール 最優秀賞(早大グリークラブ OB 会・稲門グリー)</p>

	ークラブ) (1994 年 05 月 01 日), 94 年度全日本合唱コンクール公募「朝日作曲賞」受賞(社団法人 全日本合唱連盟) (1994 年 02 月 25 日), 93 年度全日本合唱コンクール公募佳作入選(社団法人 全日本合唱連盟) (1993 年 04 月 10 日), 第 14 回神奈川県芸術祭創作コンクール 第 1 位入賞(神奈川県・神奈川県教育委員会・神奈川県合唱連盟) (1990 年 10 月 08 日)
所属学会	21世紀音楽の会, ニュー・サウンド・スケイプ 96'~
専門分野	作曲・編曲・指揮
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目) 主題別ゼミナール[音楽を学ぶ意味], 人間と文学・芸術[新しい音楽を探す] (専門科目) 作曲法 I, 現代音楽へのいざない, 和声学 I, ソルフェージュ I, 初等音楽科内容研究, 指揮法, 音楽通論 II, 対位法 I, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目) 作曲・指揮法研究, 作曲・指揮法演習

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

#### 編曲

- ・ G・グロフェ 『グラント・キャニオン組曲』 吹奏楽編曲(2014 年 03 月)(ティーダ出版)
- ・ G・グロフェ 『ミシシッピ組曲』 吹奏楽編曲(2014 年 11 月)(ティーダ出版)
- ・ M・アーノルド 『第六の幸福をもたらす宿』 吹奏楽編曲(2016 年 01 月)(ティーダ出版)

#### CD

- ・ G・グロフェ 『ミシシッピ組曲』 吹奏楽編曲(2015 年 02 月)(ティーダ出版・ワコーレコード)
- ・ 『響け! ブラバン・ヒーローズ』 (ユニバーサルミュージック)

•

### 研究業績(2)学会発表など

- ・ “3×3+? (さんかけさんたすはてな)” 打楽器三重奏のための  
ニュー・サウンド・スケイプ 96 第 13 回演奏会 (2015 年 03 月)
- ・ 『ヘンリー 8 世』 の音楽 吹奏楽のための  
第 6 回および第 7 回日本管打・吹奏学会作曲賞本選会 (2015 年 02 月および 2016 年 02 月)

### 研究業績(3)芸術・体育系の活動

<芸術系の活動・建築作品等>

- ・独唱とピアノのための『8つの夜の断章』詩：立原道造（2014年08月）
- ・『ヘンリー8世』の音楽 吹奏楽のための（2014年08月）
- ・『八瓶山の2つの伝説』サクソ四重奏と打楽器のための（2014年09月）
- ・“3×3+?（さんかけさんたすはてな）” 打楽器三重奏のための（2015年03月）
- ・7 Images from One-Thousand and One-Second Stories フルート三重奏のための（2015年12月）

学校教育教員養成課程(美術教育)	氏名 金子 一夫
------------------	----------

### 教員履歴など

現職	教授
生年月	1950年12月
学歴・職歴	東京芸術大学美術研究科修士課程修了(1975年) 茨城大学大学院教育学研究科教授(1996年10月～) 東京芸術大学美術学部非常勤講師(1976年04月～1978年03月) 茨城大学教育学部講師(1978年04月～1985年06月) 茨城大学教育学部助教授(1985年07月～1987年07月) 茨城大学大学院教育学研究科助教授(1987年08月～1996年09月) 茨城大学教育学部附属中学校長併任(2008年04月～2011年03月)
学位	博士(美術)[東京芸術大学]
受賞歴	なし
所属学会	明治美術学会, 美術科教育学会, 大学美術教育学会, 美術史学会, 美学会, 日本美術教育連合, 日本美術教育学会
専門分野	美術教育学 近代日本美術史
教育研究概要	日本美術教育史研究。美術教育方法論研究—鑑賞教育方法を中心に 日本絵画の研究 古代から近代までほとんどの日本絵画は画面に構図決定格子を設定し、それに則って画面構成をしたことを実証する 様々な研究を発展させるような、近代日本の美術教育に関する基礎調査をする。 (キーワード)美術教育 美術科教育 美術教育史
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール[美術教育実践演習], 人間と文学・芸術[近代日本美術と西洋 1] (専門科目)美術科教育特別演習AI, 図画工作科内容研究, 図画工作科教育法研究, 美術科教育法研究, 美術科教科論, 図画工作科教育法研究, 美術科教育特別演習AII, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)美術教育研究I, 美術教育演習I, 特別課題研究

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

金子一夫「秋尾園と工部美術学校」, 近代画説, 24, 2015. 「大正・昭和戦前期全国中等学校図画教員の総覧的研究(5)」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), , 64, 2015. 中川知子, 有田洋子, 金子一夫「自己像表現における否定的自己と肯定的他者視線しによる表現主
---

題の弁証法的形成」, 美術教育学, 36, 2015.

「視線経路を利用した鑑賞教育方法の構想—言語記述及び鉤図決定格子との関連—」, 美術教育学, 36, 2015.

甲斐教行, 金子一夫「美術鑑賞教育における美術作品の記述の問題」, 茨城大学教育学部紀要 臨時増刊号, , 2014.

## 研究業績(2)学会発表など

明治美術学会(発表 秋尾園と工部美術学校)(2014年12月)

<パネリスト> 上田市立美術館開館記念展シンポジウム() (2014年10月)

## 社会的活動、地域貢献など

明治美術学会 理事(2006年10月～)

美術科教育学会 理事(1982年03月～)

明治美術学会 論文査読委員(2006年12月～)

日本美術教育学会 理事(2008年04月～)

日本美術教育連合 理事(2008年04月～)

美術科教育学会 美術科教育学会美術教育史研究部会・責任者(2000年04月～)

## 海科学研究費補助金などの受領

科学研究費(学術研究助成基金助成金 基礎研究 C)平成 25～27 年度 「大正・昭和戦前期の中等学校図画教員と出身美術学校の総覧的研究」

学校教育教員養成課程(美術教育)	氏名 向野 康江
------------------	----------

## 教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1959 年 10 月
学歴・職歴	筑波大学芸術学研究科博士課程修了(1994 年) 茨城大学大学院教育学研究科指導教官(2004 年 10 月～) 中華人民共和国 華東師範大学芸術教育研究センター特招聘研究員(2000 年 09 月～) 茨城大学助教授(1996 年 10 月～) 武蔵野美術大学短期大学部通信教育部にて日本・東洋美術史の非常勤講師(1993 年 04 月～1998 年 03 月) 茨城大学教育学部講師・同大学大学院教育学研究科授業担当教官(1995 年 04 月～1996 年 09 月) 茨城高等工業専門学校にて非常勤講師を兼任(1997 年 04 月～1998 年 03 月) 中国 華東師範大学へ海外研修上、外国人講師を兼任(1998 年 09 月～1999 年 08 月) 北九州市立大学博士課程後期(社会システム研究科・社会システム専攻)(2013 年 4 月入学・現在在籍)
学位	博士(芸術学)[筑波大学]
受賞歴	平成25年度ソロプチミスト日本財団活動資金援助クラブ賞(公益財団法人ソロプチミスト日本財団)(2013 年 04 月 05 日), 二零零一年全国中小学優秀美術課例壺等奨(中国)(2001 年), 中国華東地区首届優秀美術課例壺等奨(中国山東省教育学会美術教学研究專業委員会・華東師範大学芸術教育研究中心)(2001 年)
所属学会	中国現代史研究会, 現近代東北アジア地域史研究会, 孫文研究会, 日本教育史研究会, 教育実践学会, 淡窓研究会, 大学美術教育学会, 教育史学会, 日本美術教育連合, 美術科教育学会, アジア教育史学会, 直方郷土研究会, 直方文化連盟特別会員
専門分野	近代日中関係史(経済史) 芸術学 教科教育学
教育研究概要	向野堅一(1868-1931)伝記作成および向野コレクション(向野文庫を含む)に関する調査研究。勤務先である大学教育においては美術教育について教えている。研究については向野堅一(1868-1931)研究に主眼を置いている。  (キーワード)向野堅一研究

担当科目	(教養科目)美術教育実践演習[主題別ゼミナール] (専門科目)図画工作科教育法研究, 美術科教育特別演習BI, 図画工作科内容研究, 図画工作科教育法研究, 美術科内容研究, 美術科教育特別演習BII, 美術教育授業研究 I, 美術教育授業研究 III, 日本美術実地研究 (大学院科目)美術教育研究 II, 美術文化総合研究, 美術教育演習 II, 美術教育授業設計
------	--

#### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

茨城大学教育学部紀要第 63 号(分野: 人社芸)所収 「向野堅一記念館所蔵『向野書簡目録』(二) 13～30 頁, (三) 31～48 頁, (四) 49～67 頁」

#### 社会的活動、地域貢献など

NPO 法人・向野堅一顕彰会研究会事務局・(2009 年 09 月～)  
 NPO 法人・向野堅一顕彰会研究部・(2009 年 09 月～)  
 淡窓研究会 淡窓研究会事務局・編集員(2005 年 01 月～)  
 NPO 法人・向野堅一顕彰会(2013 年度)  
 「中国人の玉認識アンケート調査について」(共同研究)  
 「玉作品を対象にした鑑賞教育教材による授業/千波小学校での実践報告」(共同研究)  
 「玉作品を対象にした鑑賞教育教材研究の開始」(共同研究)  
 「「自分づくり」を支える教育活動の創造(第 1 年次)  
 ー他とのかかわり合いを通してー」(共同研究): 茨城大学教育学部附属小学校(2009 年～)  
 向野堅一顕彰会 理事(非常勤)(2013 年 05 月～2014 年 03 月)  
 [兼業]向野堅一顕彰会[理事(非常勤)](2013 年 05 月～2014 年 03 月)  
 「向野堅一および向野コレクション(向野文庫を含む)研究」プロジェクトの開始[直方市](2007 年 11 月～)

学校教育教員養成課程(美術教育)	氏名 島 剛
------------------	--------

**教員履歴など**

現 職	教 授
生年月	1963 年 7 月
学歴・職歴	東京芸術大学大学院美術研究科修士課程修了(1989 年 03 月) 茨城大学 助教授 教育学部(2000 年 04 月～) 東京芸術大学 美術学部彫刻科講師(非常勤)(1995 年 04 月～1996 年 03 月) 茨城大学 講師 教育学部(1996 年 04 月～2000 年 03 月) 茨城大学 助教授 教育学部(2000 年 04 月～2014 年 03 月) 茨城大学 教授 教育学部(2014 年 04 月～現在)
学位	修士(芸術)[東京芸術大学]
受賞歴	第 9 回日本現代陶彫展'04、陶彫展優秀賞(2004 年), 第 2 回印幡村野外芸術展 in いには野、佳作賞(2000 年), 第 6 回ビエンナーレまくらざき、佳作賞(1999 年), 第 7 回日本現代陶彫展'98、大賞(1998 年), 第 2 回朝来野外現代彫刻展 in 多々良木'95、大賞(1995 年), 五島記念文化賞美術部門新人賞(1990 年), 第 19 回現代日本美術展、大賞(1989 年), オブジェTOKYO展'88、佳作賞(1988 年), 第 18 回現代日本美術展、いわき市立美術館賞(1987 年)
所属学会	大学美術教育学会
専門分野	彫刻
教育研究概要	彫刻 (キーワード)彫刻の制作研究
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール[美術教育実践演習], 人間と文学・芸術[美術の表現] (専門科目)彫刻基礎/立体表現演習 I, 彫刻表現演習 I, 彫刻 I/立体表現演習 II, デッサン I/造形実技 I, 塑造特別演習, 保育内容の研究(表現), 彫刻表現演習 II, 彫刻 II/立体表現演習 III, デッサンの基礎 II/表現の基礎 II, 彫刻特別演習, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)彫刻研究, 彫刻演習

**研究業績(3)芸術・体育系の活動**

- <展示会> Inside voice,1/島剛彫刻展/ギャラリーしえる/茨城(2016 年 3 月)  
 <展示会> 宙の暦一裂/島剛彫刻展/ギャラリーESPACE/茨城(2016 年 1 月)  
 <展示会> 宙の暦/茨城大学美術科教員展/ギャラリーESPACE/茨城(2015 年 12 月)

<展示会>泥雲／6 つの個展 2015／茨城県近代美術館(2015 年 9 月)  
<展示会>元型の海—満,1 啓／島剛彫刻展／ギャラリー志門／銀座(2015 年 4 月)  
<展示会>元型の海—啓／茨城大学美術科教員展／ギャラリーSPACE／茨城(2014 年 12 月)  
<展示会>元型の海／福島ビエンナーレ 2014／喜多方市、湯川村(2014 年 10 月)  
<展示会>元型の海—紺碧／島剛新作展—元型の海—／ギャラリーSPACE／茨城(2014 年 10 月)

### 社会的活動、地域貢献など

[兼業]茨城県教育研修センター〔講師〕(2009 年 08 月～)  
[兼業]茨城県教育研修センター〔講師〕(2007 年 07 月～)  
[兼業]大阪教育大学〔講師〕(2007 年 01 月～)  
[兼業]茨城県教育研修センター〔講師〕(2006 年 07 月～)  
[出前授業]光洋高校〔講師〕(2006 年 05 月～)  
[兼業]桜の牧高校〔講師〕(2005 年 11 月～)

学校教育教員養成課程(美術教育)	氏名 片口 直樹
------------------	----------

**教員履歴など**

現 職	准教授
生年月	1978 年 1 月
学歴・職歴	金沢美術工芸大学美術工芸研究科修士課程(2002 年) 茨城大学教育学部 准教授(現在に至る)(2009 年 04 月～) 学校法人大阪成蹊学園 大阪成蹊女子高等学校 常勤講師(2003 年 04 月～2006 年 03 月) 学校法人大阪成蹊学園 大阪成蹊女子高等学校 教諭(2006 年 04 月～2009 年 03 月) 学校法人大阪成蹊学園 大阪成蹊短期大学 非常勤講師(2006 年 04 月～2009 年 03 月)
学位	修士[金沢美術工芸大学]
受賞歴	第 22 回天展 天理ビエンナーレ 2005 大賞(2005 年), 第 20 回国際瀧富士美術賞(1999 年)
所属学会	大学美術教育学会, 美術科教育学会
専門分野	絵画
教育研究概要	絵画に根ざした表現を研究課題とし、今後生まれてくる新たな表現方法を模索する。おもに映像メディア等、近年生活に馴染みのある媒体と絵画表現との関係に着目し、より時代を豊かなものにするために、豊かな心を養う術を研究する。 また、これからの教育者はより一層豊かな心を持ち、時代に順応できる人材が必要となる。表現者も教育者も伝えるという意味においては共通するものがあり、元をたどれば学ぶ喜び、作る喜びをいかに伝えることができるかが課題である。 以上のような研究概要をもとに絵画の可能性を探る。  (キーワード) 絵画・油画・映像インスタレーション・ワークショップ
担当科目	(教養科目) 主題別ゼミナール[美術教育実践演習], 人間と文学・芸術[美術の表現] (専門科目) 絵画 I/平面表現演習 II, 絵画基礎/平面表現演習 I, 絵画表現演習 I, デッサンの基礎 I/表現の基礎 I, 美術教育授業研究 II/美術館ワークショップ実習, 絵画特別演習, 絵画 II/平面表現演習 III, 絵画表現演習 II, 卒業研究(教育: 4 単位) (大学院科目) 絵画研究, 絵画演習

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

「美術科と特別支援学校による連携の試み—絵画を軸とした芸術体験「レインボーミラクル for チャレンジド」の実践を通して—」／茨城大学教育学部附属教育実践センター研究紀要／(2015 年)

「富士山をフィールドとした多面的学習プログラムの実践—1 -地学と美術編—」／茨城大学教育学部附属教育実践センター研究紀要／(2015 年)

**研究業績(2)学会発表など**

「沈黙交易・贈与交換の概念による, 美術教育実践の解釈と構想—特別支援学校と大学生との交流事例の分析を踏まえて—」／美術科教育学会大阪大会／(2016 年)

**研究業績(3)芸術・体育系の活動**

グループ展「茨城大学美術科教員展+M」／ギャラリーESPACE／ひたちなか(2014・2015 年)

公開制作展「Station—High—Light—」／東海ステーションギャラリー／東海(2015 年)

個展「光彩」／INFORM gallery／金沢(2015 年)

ワークショップ「空想すいぞくかん～お魚ってすばらしい～」／茨城県大洗水族館／(2014・2015 年)

ワークショップ「にじのたね in 大生小学校」／常総市立大生小学校／常総(2014 年)

**社会的活動、地域貢献など**

連携プロジェクト「レインボーミラクル for チャレンジド」／茨城県立北茨城特別支援学校／(2014 年)

**科学研究費補助金などの受領**

基盤研究 C 課題番号 26381251 「富士山をフィールドとした多面的実践学習プログラムの開発とそれによる教科間相互作用」(研究代表者:伊藤孝)

学校教育教員養成課程(保健体育)	氏名 日下 裕弘
------------------	----------

### 教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1953 年 2 月
学歴・職歴	筑波大学体育科学研究科博士課程(1984 年) 仙台大学体育学部助教授(1985～1991) 茨城大学教養部助教授・教授(1991～1996 茨城大学教育学部教授(現在まで)(1996 年 04 月～)
学位	教育学博士
受賞歴	なし
所属学会	人体科学会, 日本社会学会, International Committee for Sociology of Sport, 日本スポーツ社会学会, 日本体育学会, 日本民族学会, 日本スポーツ史学会, 日本温泉協会
専門分野	体育学 人体科学・哲学 文化人類学 社会学
教育研究概要	教育学博士論文:「成立期におけるわが国のスポーツ精度に関する研究」(筑波大学)1984 「日本スポーツ文化の源流」、不昧堂出版)1996 <著書> 分担執筆「スポーツ規範の社会学」(不昧堂出版)1980 分担執筆「スポーツ技術の社会学」(不昧堂出版)1984 分担執筆「現代スポーツ指導者論:その社会的な見方・考え方」(ぎょうせい出版)1988 分担執筆「スポーツ社会学への招待」(不昧堂出版)1990 分担執筆「スポーツ社会学ノート」(中央法規出版)1994 「日本の自然遊:湯浴の聖と俗」(近代文藝社)1995 編・分担執筆「身体活動の科学」(大修館書店)1995 分担執筆「生涯学習講座:今を生きる人間学」(分眞堂)1997 編・分担執筆「健康スポーツの科学」(大修館書店)1999 編・分担執筆「生涯スポーツの理論と実際」(大修館書店)2001 分担執筆「総合的な学習での野外校外体験事例:野外遊びと子どもの”からだ・こころ”」 (日本教育科学研究所)2002 分担執筆「温泉医学:湯治再発見」(日本温泉協会ほか)2002

<p>分担執筆「フロー理論の展開: 自然体験活動におけるフローと身体アイデンティティ」 (世界思想社) 2003</p> <p>分担執筆“The emergence and development of Japanese school sport”, in “JAPAN SPORT AND SOCIETY: Tradition and Change in a Globalizing World” (Routledge) 2006</p> <p>&lt; 翻訳書 &gt;</p> <p>分担翻訳「国際スポーツ社会学評論」(日本体育学会 体育社会学専門分科会) 1977</p> <p>分担翻訳「スポーツ文化・社会」(ベースボールマガジン社) 1988</p> <p>分担翻訳「スポーツと社会理論」(不昧堂出版) 1991</p> <p>&lt; 主要論文 &gt;</p> <p>「明治期における武士的・武士道の野球信条に関する文化社会学的研究」 (体育・スポーツ社会学研究) 1985</p> <p>“The Development of Baseball Organizations in Japan” (International Review for the Sociology of Sport) 1987</p> <p>「一般成人のスポーツ観に 関する研究」(体育・スポーツ社会学研究) 1988</p> <p>「スポーツ制度論に関する成果と課題」(体育・スポーツ社会学研究) 1991</p> <p>「体育教育における生涯体育論の再検討: E. H. エリクソンのアイデンティティ論の パースペクティブから」(教育学論説資料) 1991</p> <p>「日本の自然遊: 湯浴文化の隠れた形」(スポーツ社会学研究) 1995</p> <p>「湯治の身体論的意義」(人体科学) 1998</p> <p>「高齢者の生きがいと自然遊に関する研究: ハイキング・登山実践者の事例から」 (スポーツ社会学研究) 1999</p> <p>「高齢者の温泉浴に関する研究: 湯浅の身体論に準拠して」(体育学研究) 1999</p> <p>「糖尿病の克服に関する事例研究」(人体科学) 2000</p> <p>「中国におけるレジャー研究の分析枠組み」(中国関係論説資料) 2000</p> <p>「自然遊びにおける子どもの笑顔とその&lt;身体&gt;」(体育学研究) 2003</p> <p>「スポーツ身体論序説: ひとつの社会学的分析枠組みの提示」(スポーツ社会学研 究) 2004</p> <p>「遊戯世界における子どもの身体: 光るどろだんごづくりを事例に」(人体科学会) 2004</p> <p>「スポーツ身体論序説」(日本スポーツ社会学会) 20</p>
<p>(キーワード) 子どもの遊び、スポーツの歴史社会学、生涯スポーツ、高齢者の健康、温泉、体育学、教育学、社会学、哲学、身体論、民俗学</p>

担当科目	(教養科目)身体活動[テニス(C)], 身体活動[卓球(C)], 身体活動[卓球(C)] (専門科目)体育史, 卓球・テニス指導法/卓球・テニス/卓球・テニス/卓球・テニス指導法/卓球・テニス, 生涯スポーツの実現, 体育経営管理学, 体育スポーツ社会学, 体育科教育法研究[後期], ボールゲーム方法論 II, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)体育社会学特論, 保健体育授業設計, 体育科学総合研究, 特別課題研究
------	---

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

「遊ぶ子どものこころと環境づくりに関する研究」, 茨城大学教育学部紀要(教育総合), , 増刊号, 2015.

「ゲレンデスキーの技能とフロー感覚」, 茨城大学教育学部紀要(教育総合), , 増刊号, 2015.

飯塚明彦・日下裕弘ほか「体育授業における「学び合い」の諸相」, 茨城大学教育学部紀要(教育総合), , 増刊号, 2014.

佐藤沙衣子・日下裕弘「「体ほぐし運動」概念の探求」, 茨城大学教育学部(教育総合), , 増刊号, 2014.

小松瑞紀・日下裕弘「剣道「応じ技」のコツとカン～動感形態学の視点から～」, 茨城大学教育学部紀要(教育総合), , 増刊号, 2014.

日下裕弘「現象学的身体運動論考～「リズム」「身体の社会性」そして「指導の方法」～」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), , 第 63 号, 2014.

日下裕弘「現象学的身体運動論考(その2)～「コツ」と「カン」のモルフォロジー～」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), , 第 63 号, 2014.

「現象学的身体運動論考(その1)～「生きる力」と「身体運動」～」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), , 第 63 号, 2014.

### 社会的活動、地域貢献など

生涯スポーツ、温泉と健康[茨城県生涯学習センターなど](年度不詳)

学校教育教員養成課程(保健体育)	氏名 吉野 聡
------------------	---------

**教員履歴など**

現 職	准教授
生年月	1967 年 6 月
学歴・職歴	筑波大学体育研究科修士課程(1993 年)
学位	体育学修士[筑波大学]
受賞歴	推奨授業(茨城大学)(2006 年 03 月 10 日)
所属学会	日本体育学会, 日本体育授業研究会, 日本体育科教育学会, 日本スポーツ教育学会
専門分野	身体教育学
教育研究概要	<p>体育カリキュラム研究(技能特性に関する研究)          体育で教えるべき内容について研究しています。またそれらを効果的に指導するための教材づくりや助言内容・方法などの指導法についても研究しています。</p> <p>&lt; 体育教師教育 &gt;          将来体育・保健体育科を指導したいと考えている大学生及び初任・中堅教員の指導力向上に役立つ研修等のあり方を研究しています。</p> <p>(キーワード) 体育教師教育 授業研究 体育カリキュラム 指導法</p>
担当科目	<p>(教養科目) 主題別ゼミナール[保健体育入門], 身体活動[屋内ボールゲーム(C)], 身体活動[ソフトボール(C)]</p> <p>(専門科目) 体育科内容研究, 保育内容の研究(健康), ボールゲーム方法論 I, 体育科教育法研究[後期], 卒業研究(教育:4 単位)</p> <p>(大学院科目) 体育授業設計, 保健体育科教育学特論, 保健体育科学総合研究, 保健体育科教育学演習</p>

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

<p>菊地耕・吉野聡・柴田一浩・佐藤豊・宇井俊介・斎藤拓真(2014)一撃の攻防を強調する剣道の授業づくりとその有効性. 体育学研究, 59:789-803.</p> <p>吉野聡・加藤敏弘・篠田明音・斎藤拓真・宇井俊介・飯塚明彦・佐藤竜也(2015)学習者の自己評価による球技の種類と各型に位置づく類似の行為. 体育学研究, 60:511-525.</p>
---

## 社会的活動、地域貢献など

日本体育科教育学会 国際交流委員長(2011年04月～2013年03月)  
 日本スポーツ教育学会 国際交流委員長(2009年04月～)  
 日本体育学会 International Journal of Sport and Health Science 編集委員(2013年04月～)  
 日本体育授業研究会 日本体育授業研究会編集委員会・理事・編集委員(2007年08月～2016年03月)

## 海外出張・海外研修・内地研修など

韓国 ソウル・梨花女子大学[EAASP 学会参加](2014年8月:1日間)  
 イギリス ロンドン・Institute of Education、日本スポーツ振興センターロンドン事務所[情報収集](2014年9月:4日間)  
 カナダ バンクーバー[ICPL 学会参加](2015年6月:2日間)  
 スペイン マドリッド・マドリッド大学[AIESEP 学会参加](2015年7月:3日間)  
 台湾 台北・台湾教育省・台湾師範大学他[情報収集・学校視察](2016年3月:3日間)

## 科学研究費補助金などの受領

[科学研究費]

基盤研究(C)学校体育における球技カリキュラムの構築に向けた基礎的・実践的研究. 2014年度～2016年度. 研究代表:吉野聡.

基盤研究(B)教師養成、現職教員の協働によるアクション・ラーニング研修プログラムの開発. 2015年度～2019年度. 研究代表:佐藤豊.

基盤研究(B)体育授業に対する効果的なコンサルテーションの在り方とその条件に関する総合的研究. 2015年度～2017年度. 研究代表:細越淳二.

学校教育教員養成課程(保健体育)	氏名 渡邊 将司
------------------	----------

**教員履歴など**

現職	准教授
生年月	1978年5月
学歴・職歴	筑波大学人間総合科学研究科博士課程修了(2006年03月) 浅井学園大学 短期大学部 人間総合学科スポーツ科学系 (2006年04月～2007年03月) 北翔大学 短期大学部 こども学科(2007年04月～2009年03月) 茨城大学 教育学部 保健体育教室(2009年04月～)
学位	博士(体育科学)[筑波大学]
受賞歴	日本成長学会 若手優秀演題賞(2008年11月), Roy Acuff ACSM Abstract Award(2005年05月)
所属学会	National Strength and Conditioning Association, American College of Sports Medicine, 日本トレーニング科学会, 日本発育発達学会, 日本成長学会, 日本体力医学会, 日本陸上競技学会
専門分野	スポーツ科学 身体教育学
教育研究概要	からだの成長・成熟や体力・運動能力の発達に関して研究しています。最近では早生まれの子どもの運動能力、子どもの運動習慣化、子ども期の運動習慣と成人期の体力・健康などに関心があります。 (キーワード) 発育発達学、形態学、トレーニング科学
担当科目	(教養科目)身体活動[屋外ボールゲーム(C)], 身体活動[屋内ボールゲーム(C) ?], 身体活動[屋内ボールゲーム(C)] (専門科目)体育科教育法研究, 保育内容の研究(健康), 保健体育科総合演習/保健体育特別演習 II, 形態学, 陸上競技方法論, 陸上競技指導法/陸上競技/陸上競技/陸上競技指導法/陸上競技, 測定評価, 保健体育特別演習 I, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)保健体育授業設計, 形態学特論, 体育科学総合研究, 形態学演習

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

渡邊将司、森丘保典、伊藤静夫、三宅聡、森泰夫、山崎一彦、榎本靖士、遠藤俊典、木越清信、繁田進、尾縣貢「日本代表選手におけるスポーツ・種目転向(トランスファー)の特徴 - 日本代表選手に対する軌跡調査 -」, 陸上競技研究紀要, 10, 13-21, 2015.

渡邊將司「日本代表選手はいかに育ってきたかー日本陸連による代表選手の軌跡調査よりー」, 陸上競技研究紀要, 10, 47-50, 2015.

## 研究業績(2)学会発表など

渡邊將司、楠元みず紀、田村真理子、「早生まれで体力が高い子どもの特徴」(日本発育発達学会・2015年03月)

行方市スポーツ少年団強化支援事業兼指導者講習会(ジュニア期のトレーニング)(2015年01月)

〈その他〉 銚田市スポーツ推進委員連絡協議会(ウォーキング講習会)(2015年01月)

〈その他〉 立川市保育課研修会(子どもが楽しくなる運動遊びのヒント)(2014年11月)

〈その他〉 公益財団法人日本体育協会公認体力テスト判定員養成講習() (2014年10月)

〈その他〉 茨城県教育研修センター スポーツ医科学研修講座(テーピングの理論と実際)(2014年08月)

## 社会的活動、地域貢献など

日本陸上競技学会 企画委員(2014年11月～)

[兼業]日本陸上競技連盟[普及育成委員](2013年06月～2015年06月)

## 海外出張・海外研修・内地研修など

オランダ アムステルダム・メルキユールホテル、アムステルダム RAI コンベンションセンター[研究打合せ、学会参加](2014年6月～7月:5日間)

## 科学研究費補助金などの受領

「幼少期の運動スキルや体力は、思春期の身体活動状況の予測因子となるか?」[科研費]若手研究(B)(代表)(2013年04月～2016年03月)

学校教育教員養成課程(保健体育)	氏名 篠田 明音
------------------	----------

**教員履歴など**

現 職	講 師
生年月	1976 年 12 月
学歴・職歴	上越教育大学大学院学校教育研究科修士課程修了(2003 年 03 月) 東京都渋谷区 青山サンクラブ(体操クラブ)(1999 年 04 月～2000 年 03 月) 栃木県黒磯市 東那須野中学校(保健体育)非常勤講師(2003 年 04 月～2004 年 03 月) 創志学園 愛媛女子短期大学(2004 年 04 月～2007 年 03 月) 仙台白百合女子大学(2007 年 04 月～2009 年 03 月) 朴沢学園 仙台大学(2009 年 04 月～2011 年 03 月)
学位	体育学修士
受賞歴	平成 8 年 8 月 全日本高校・大学ダンスフェスティバル in 神戸 大学の部:コンクール部門、NHK 賞 (主題のすぐれた展開・構成) 作品名「阿吽(あうん)」 表彰機関:(社)日本女子体育連盟 平成 10 年 8 月 全日本高校・大学ダンスフェスティバル in 神戸 大学の部:コンクール部門、特別賞(主題にふさわしい動きの発見) 表彰機関:(社)日本女子体育連盟
所属学会	日本スポーツ運動学会, 日本教育大学協会全国保健体育・保健研究部舞踊研究会, 日本体育・スポーツ哲学会, 運動伝承研究会
専門分野	身体教育学
教育研究概要	(キーワード)表現運動, 表現する身体, ダンス, 運動学(方法学を含む)
担当科目	ダンス・身体表現、体育科教育法研究、保育内容の研究(表現)

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

[論文] 平成 18 年 6 月 (日本教育大学協会全国保健体育・保健研究部門 舞踊研究会 第 8 号 pp. 10～27) 「ダンスの授業における学習者の動きの発生に関する事例研究～牛山による実践場面を中心に～」
---

篠田 明音、大橋 奈希左

[著書]

平成 20 年 4 月 単著(分担)

『子どものこころとからだを育てる保育内容「健康」』保育出版社 pp.11-12

[第 8 章] 子どもの運動指導の実際：子どものマット遊びを指導する

## 研究業績(2)学会発表など

平成 14 年 8 月 (日本体育・スポーツ哲学会)

「ダンス指導に関する構造論的考察—牛山の実践における学習者の動きに着目して—」

篠田 明音、大橋 奈希左

平成 18 年 9 月 (日本体育・スポーツ哲学会)

「表現運動・ダンスにおける課題学習についての一考察」

大橋 奈希左、篠田 明音

## 社会的活動、地域貢献など

平成 24 年 6 月 笠間市立笠間小学校、「体育アドバイザー(種目:ダンス・表現)」於:水戸市笠原町 978 番 6

平成 24 年 7 月 一般財団法人 日本幼少年体育協会「手軽に楽しめる運動遊び」於:仙台市海洋泉センター

平成 25 年 8 月 茨城県学校体育実技指導者講習会、種目名「表現リズム遊び・表現運動」於:茨城県武道館

学校教育教員養成課程(保健体育)	氏名 大津 展子
------------------	----------

**教員履歴など**

現 職	講 師
生年月	1978 年 10 月 8 日
学歴・職歴	筑波大学人間総合科学研究科博士課程中退(2009 年 3 月) 筑波大学附属坂戸高等学校(2006 年 04 月～2011 年 3 月) 尚美学園大学 総合政策学部 ライフマネジメント学科(2011 年 4 月～2014 年 3 月) 茨城大学 教育学部(2014 年 04 月～至現在) 尚美学園大学 総合政策学部 ライフマネジメント学科 非常勤講師(2014 年 4 月～2015 年 3 月) 白鷗大学 教育学部 非常勤講師(2015 年 4 月～至現在)
学位	修士(体育学)[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本体育学会, 日本体育科教育学会, 日本スポーツ教育学会, 体育授業研究会, 筑波大学教育学会
専門分野	身体教育学
教育研究概要	研究テーマ: 体育科における社会的意識と行動の変容 (キーワード) 体育科教育学, 体育授業, 教材研究, 社会的意識・行動の変容
担当科目	(教養科目) 身体活動[ソフトボール(C)], 身体活動[屋外ボールゲーム(C)] (専門科目) 体育科内容研究, 保健体育科教育法研究 II, 体育科教育法研究×2, ソフトボール (大学院科目) 保健体育授業特論, 保健体育授業論演習, 国際実践教育演習

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

著書	2013 年 6 月 (分・共)村田芳子・高橋和子・細川江利子・ <u>大津展子</u> 他『学校体育実技指導資料 第 9 集「表現運動系及びダンス指導の手引」』(文部科学省)140-162 頁. 2015 年 4 月 (分・共)高野牧子・高橋うらら・ <u>大津展子</u> 他『うきうきわくわく身体表現あそび—豊かに広げよう! 子どもの表現世界—』(同文書院)25-27 頁.130 頁.142 頁.
論文	

2008 年 4 月 (共) 大津展子・三木ひろみ・宮崎明世「教育実習生における実習日誌記録の変容に関する検討ーマネジメント・インストラクション・フィードバック及び授業の総合評価ー」『筑波大学附属坂戸高等学校研究紀要』第 45 集, 135-139 頁.

2009 年 4 月 (共) 大津展子・福原行也・丹羽美由紀他「平成 20 年度 産業社会と人間 実践報告」『筑波大学附属坂戸高等学校研究紀要』第 46 集, 1-14 頁.

2009 年 4 月 (共) 大津展子・福原行也・丹羽美由紀他「コミュニケーションキャンプ 2008 実践報告」『筑波大学附属坂戸高等学校研究紀要』第 46 集, 15-27 頁.

2010 年 4 月 (共) 大津展子・福原行也・奥村準子他「平成 21 年度 起業基礎 実践報告」『筑波大学附属坂戸高等学校研究紀要』第 47 集, 1-17 頁.

2011 年 4 月 (共) 大津展子・深澤孝之・松井一夫他「平成 22 年度 産業社会と人間・産業理解 実践報告」『筑波大学附属坂戸高等学校研究紀要』第 48 集, 1-7 頁.

2011 年 4 月 (単)「新学習指導要領「ダンス領域」の具体化に関する実践研究ー筑波大学附属坂戸高等学校を対象としてー」『筑波大学附属坂戸高等学校研究紀要』第 48 集, 81-87 頁.

#### その他

2004 年 2 月 (共) 高橋健夫・大津展子「燃えまくれ！ 逆井ファウストボール 5 年生大会ーこれがスポーツ教育の典型的実践ー」『体育科教育』(大修館書店)第 52 巻 3 号, 口絵・連載.

2004 年 3 月 (共) 高橋健夫・大津展子「踊るってこんなに楽しい！ーなんでも表現しちゃおうー」『体育科教育』(大修館書店)第 52 巻 8 号, 口絵・連載.

2004 年 6 月 (共) 高橋健夫・大津展子「魅力がいっぱいダンス学習ー課題学習でダンス文化にインシエート」『体育科教育』(大修館書店)第 52 巻 8 号, 口絵・連載, 76-77 頁.

2006 年 2 月 (共) 高橋健夫・大津展子「走り幅跳びの授業ーめざせ！世界新記録 8m96cmー」『体育科教育』(大修館書店)第 54 巻 2 号, 口絵・連載, 72 頁.

2010 年 6 月 (単)「高校生が夢中で取り組むベースボール型の授業」『女子体育』(日本女子体育連盟)第 52 巻 6 号, 38-42 頁.

2010 年 10 月 (単)「筑波大学附属坂戸高等学校における新学習指導要領「ダンス領域」の実践研究」『全国女子体育研究大会研究紀要』(日本女子体育連盟)第 43 巻, 68-73 頁.

2011 年 8 月 (単)「ザ・デフォルメマスター！！」『女子体育』(日本女子体育連盟)第 53 巻 8・9 号, 64-69 頁.

2011 年 8 月 (単)「指導に役立つ情報 5 自己評価・相互評価」『女子体育』(日本女子体育連盟)第 53 巻 8・9 号, 76 頁.

2012 年 2 月 (単)「情報・メッセージ 閲覧室 Sport Education 新しい体育授業の創造ースポーツ教育モデルー」『女子体育』(日本女子体育連盟)第 54 巻 2・3 号, 72 頁.

2013 年 6 月 (共) 笠井里津子・田中葵・大津展子「第 17 回国際女子体育連盟会議 キューバ大会参加報告」『女子体育』(日本女子体育連盟)第 55 巻 6・7 号, 64-69 頁.

- 2014 年 2 月 (単)「ウォークラリーゴルフ!」『女子体育』(日本女子体育連盟)第 56 巻 2・3 号, 46-51 頁.
- 2014 年 4 月 (単)「私のおすすめ THE BROADWAY MUSICAL 劇団四季 -誰も知らない、もう一つのオズの物語-」『女子体育』(日本女子体育連盟)第 56 巻 4・5 号, 77 頁.
- 2015 年 4 月 (共)石田啓太・大津展子「タッチフットの世界」『女子体育』(日本女子体育連盟)第 57 巻 4・5 号 50-55 頁.

## 研究業績(2)学会発表など

### 口頭発表

- 2003 年 9 月 (単) スポーツ教育モデルの有効性の検証ー小学校 3 年生のフラッグフットボールの授業を通してー, 日本体育学会, 第 54 回大会, 熊本大学.
- 2003 年 10 月 (単) スポーツ教育モデルの有効性の検証ー小学校 5 年生のファウストボール・小学校 6 年生のユニホッケーの授業を通してフェアプレイと役割行動からみる児童の倫理観と社会性の発達ー, スポーツ教育学会, 第 23 回大会, 京都女子大学.
- 2005 年 9 月 (単) 体育科における社会的態度育成の可能性に関する実証的研究ースポーツ教育モデルの実践を通してー, 日本体育学会, 第 56 回大会, 筑波大学.
- 2007 年 9 月 (共) 大津展子・三木ひろみ他 教育実習生における実習日誌記録の変容に関する検討ーマネジメント・インストラクション・フィードバック・評価の観点からー, 第 27 回大会, 信州大学教育学部.
- 2008 年 10 月 (共) 大津展子・三木ひろみ他 教育実習の効果についての事例研究ー事前指導との比較と実習後のテストからー, スポーツ教育学会, 第 28 回大会, 奈良教育大学.
- 2011 年 10 月 (共) 大津展子・本弓康之他 地球環境の総合的な学習を可能にする高大連携授業の実証研究ー高等学校全学年を対象とした黒姫での宿泊実習を通してー, 日本野外教育学会, 第 14 回大会, 筑波大学.
- 2011 年 11 月 (単) 新学習指導要領「ダンス」の具体化に関する実践研究ー高等学校「創作ダンス」を対象にしてー, スポーツ教育学会, 第 31 回大会, 兵庫教育大学神戸サテライト.

### ポスター発表

- 2012.12.9 Practical Study on the reification of "dance" New National Curriculum -Intended for "Creative Dance in High School"-, 2012 East Asia Sport Pedagogy Conference (EASPC).
- 2013.10.19 Examination of methods and techniques for instructing in rhythm dance class to improve skill "To dance by the whole body getting into the rhythm" - Unit of rhythm dance class in physical education class in junior high school -, Japanese society of Sport Education conference 2013.
- 2014.8.22 Research on communication ability improvement in physical education stay study of high school, 2014 East Asian Alliance of Sport Pedagogy Conference.

### 研究業績(3)芸術・体育系の活動

1998 年 8 月 文部科学大臣杯 第 33 回全日本大学女子ソフトボール選手権大会(三重県伊勢市)出場  
 1999 年 8 月 文部科学大臣杯 第 34 回全日本大学女子ソフトボール選手権大会(宮城県女川市)出場  
 2000 年 8 月 文部科学大臣杯 第 35 回全日本大学女子ソフトボール選手権大会(香川県丸亀市)出場  
 2001 年 8 月 文部科学大臣杯 第 36 回全日本大学女子ソフトボール選手権大会(茨城県古河市)出場  
 2015 年 4 月 茨城大学 硬式野球部部長, 茨城大学女子ソフトボール部部長

### 社会的活動、地域貢献など

2009 年 10 月 30 日 第 43 回全国女子体育研究大会 授業公開 筑波大学附属坂戸高等学校  
 2010 年 4 月 (公)日本女子体育連盟「女子体育」編集委員 副委員長(至現在)  
 2012 年 5 月 18 日～2013 年 3 月 29 日 文部科学省 学校体育実技指導資料第 9 集「表現運動系及びダンス」作成協力者  
 2013 年 4 月～3 月 文部科学省委託事業「平成 25 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」二極化対策委員会 委員  
 2014 年 7 月 30 日 茨城県ひたちなか市実技講習会 講師  
 2014 年 8 月 21 日 教員免許更新講習 講師  
 2014 年 9 月 11 日 平成 26 年度福島県いわき市「小中高等学校体育担当者連絡協議会」講演  
 2014 年 10 月 18 日 教研連研究集会 指導助言者  
 2014 年 11 月 4 日 茨城県ひたちなか市田彦中学校 保健体育科授業公開 指導助言者  
 2015 年 1 月 30 日 茨城大学教育学部附属小学校 指導者  
 2015 年 8 月 20 日 教員免許更新講習 講師

### 海外出張・海外研修・内地研修など

韓国 ソウル・梨花女子大学[学会参加](2014 年 8 月:1 日間)  
 タイ プーケット、マイ・カオ・チャハット大学、マイ・カオ村[「国際実践教育演習」引率](2014 年 9 月:6 日間)  
 アメリカ ラスベガス・University of Nevada, Nate Mack Elementary School, Paradise Elementary School[アメリカでの体育授業における「スポーツ教育モデル」の実践に関する情報収集](2015 年 3 月:4 日間)  
 台湾 文部科学省・小学校中学校高等学校訪問[情報収集](2016 年 3 月:2 日間)

### 科学研究費補助金などの受領

「体育授業における社会的な意識と行動の変容に関する検討」[科研費]若手研究(B)(代表)(2014 年 04 月 01 日～2017 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(技術教育)	氏名 工藤 雄司
------------------	----------

### 教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1959 年 6 月
学歴・職歴	<p>東京学芸大学教育学研究科修士課程修了(1987 年 03 月)</p> <p>学校法人科学技術学園高等学校・教諭(1987 年 04 月～1991 年 03 月)</p> <p>筑波大学附属坂戸高等学校・文部教官教諭(1991 年 04 月～2012 年 03 月)</p> <p>埼玉大学・非常勤講師(教育学部)「情報コミュニケーション技術」(2000 年 04 月～2004 年 09 月)</p> <p>筑波大学・非常勤講師(人間学群)「教育内容・方法論」(2004 年 04 月～)</p> <p>埼玉大学・非常勤講師(教育学部)「情報システム技術」(2005 年 04 月～2005 年 09 月)</p> <p>愛知教育大学・非常勤講師(教育学部)「工業科教育 C」(2007 年 12 月～2008 年 03 月)</p> <p>茨城大学・非常勤講師(教育学部)「情報教育研究法」(2009 年 04 月～2012 年 03 月)</p> <p>埼玉大学・非常勤講師(教育学部)「家庭電気・機械・情報処理」(2009 年 10 月～)</p> <p>茨城大学・非常勤講師(教育学部)「情報と職業」「職業指導原論」(2010 年 04 月～2012 年 03 月)</p> <p>茨城大学・教授(教育学部 技術教育教室)(2012 年 04 月～)</p>
学位	教育学修士[東京学芸大学]
受賞歴	日本教育情報学会論文賞(日本教育情報学会)(2013 年 11 月 09 日)
所属学会	日本産業技術教育学会, 日本工業技術教育学会, 日本教科教育学会, 日本教育情報学会, 筑波大学教育学会, 日本情報科教育学会
専門分野	教科教育学 情報教育 教育工学
教育研究概要	<p>中学校技術・家庭科(技術分野), 高等学校情報科, 工業科, 情報教育に関する研究と教材開発に関する研究</p> <p>(キーワード)各教科の教育(技術, 情報), 専門教科の教育(工業), 情報教育, 教材開発</p>
担当科目	<p>(教養科目)主題別ゼミナール[技術教育概論], 情報処理概論[情報リテラシー]</p> <p>(専門科目)技術科教科論, 技術科教育演習 A, 技術科教育法研究 II, 情報通信ネットワーク演習/基礎情報処理, 情報通信ネットワーク, 情報教育研究法, 卒業研</p>

<p>究(教育:4 単位)</p> <p>(大学院科目)技術と生活総合研究, 技術科教育特論 I, 技術科授業設計, 技術科教育演習 I, 特別課題研究</p>
--

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

Takenori MOTOMURA, Jun MORIYAMA, Kazuhiro SUMI, Toshikazu YAMAMOTO, Yuji KUDO,  
 "Comparison of Students' Consciousness Toward Information Education among Junior and Senior High School in Japan, Korea and China", Proceedings of the 11th International Conference on Technology Education(ICTE)in the Asia Pacific Region, , 57-59, 2015.

### 研究業績(2)学会発表など

Takenori MOTOMURA, Jun MORIYAMA, Kazuhiro SUMI, Toshikazu YAMAMOTO, Yuji KUDO,  
 "Comparison of Students' Consciousness Toward Information Education among Junior and Senior High School in Japan, Korea and China", Proceedings of the 11th International Conference on Technology Education(ICTE)in the Asia Pacific Region, , 57-59, 2015.

工藤雄司, 本村猛能, 「中学・高校情報教育の体系化に関する研究—論理回路学習における情報の科学的理解の実践を通して—」(日本産業技術教育学会第 57 回全国大会(熊本)・2014 年 08 月)

工藤雄司, 平田晴路, 「エネルギー変換を通して制御技術を扱う教材の開発」(日本産業技術教育学会第 57 回全国大会(熊本)・2014 年 08 月)

### 研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

### 社会的活動、地域貢献など

日本工業技術教育学会 事務局(1998 年 07 月～)

日本工業技術教育学会 編集委員(1998 年 07 月～)

[茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]茨城大学教育学部附属中学校公開授業研究会共同研究者, 茨城大学教育学部附属中学校(2014 年度実施)

[非常勤講師]埼玉大学教育学部[非常勤講師](2012 年 04 月～)

[非常勤講師]筑波大学人間学群[非常勤講師](2012 年 04 月～)

[非常勤講師]筑波技術大学[非常勤講師](2012 年 04 月～)

### 海外出張・海外研修・内地研修など

中国 香港・香港理工大学[ICTE2015 における研究成果の発表および情報収集](2015 年 1 月:3 日間)

### 科学研究費補助金などの受領

「触覚・力覚インタフェースによる制御学習支援システムの研究」[科研費]萌芽研究(代表)(2013年04月01日～2016年03月31日)

学校教育教員養成課程(技術教育)	氏名 榊 守
------------------	--------

### 教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1961 年 4 月
学歴・職歴	豊橋技術科学大学工学研究科修士課程修了(1987 年) 茨城大学教育学部 技術教育 助教授(2000 年 04 月～) 鉦路工業高等専門学校 電気工学科 助手(1987 年 04 月～1989 年 03 月) 鉦路工業高等専門学校 電気工学科 講師(1989 年 04 月～1993 年 03 月) 豊橋技術科学大学 電気・電子工学系 講師(1994 年 04 月～1996 年 03 月) 鉦路工業高等専門学校 電気工学科 助教授(1996 年 04 月～2000 年 03 月)
学位	博士(工学)[豊橋技術科学大学]
受賞歴	平成 7 年度 優秀論文発表賞(電気学会)(1995 年)
所属学会	表面技術協会, 日本視覚障害理科教育研究会, 日本生活支援工学会
専門分野	放電応用 福祉機器
教育研究概要	教育学部で基礎電気などの電気・電子関連科目の講義・実習を担当。 研究分野:アークやグロー放電の基礎研究および視覚障害者用学習支援装置の研究 (キーワード)
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール[技術教育概論] (専門科目)電気工学, 電気の基礎技術, 電気工学演習, 基礎電気, 電気の応用技術, 家庭電気・機械, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)技術と生活総合研究, 電気工学特論 I, 技術科授業設計, 電気工学演習 I, 特別課題研究

学校教育教員養成課程(技術教育)	氏名 大西 有
------------------	---------

**教員履歴など**

現職	准教授
生年月	1966年2月
学歴・職歴	北海道公立中学校教諭, 北海道教育大学附属旭川中学校教諭, 北海道教育委員会指導主事
学位	学士
受賞歴	なし
所属学会	日本産業技術教育学会
専門分野	技術教育・栽培
教育研究概要	技術科教育における創造性の伸長 技術に関わる倫理観の育成
	(キーワード)技術科教育 創造性 指導計画
担当科目	技術科教育法, 栽培

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

<p>中学校学習指導要領解説技術・家庭編(文部科学省)平成20年9月</p> <p>評価規準の作成, 評価方法等の工夫改善のための参考資料(国立教育政策研究所)平成23年11月</p> <p>他</p>
---

学校教育教員養成課程(技術教育)	氏名 白坂 高司
------------------	----------

**教員履歴など**

現職	講師
生年月	1981年4月
学歴・職歴	広島大学大学院教育学研究科博士後期課程修了(2011年03月)
学位	博士(学術)[広島大学]
受賞歴	茨城大学 学長表彰(推奨授業)(2014年09月)
所属学会	日本産業技術教育学会, 日本教科教育学会, 日本科学教育学会, 日本教育工学会, 教育システム情報学会, 電気学会
専門分野	木材加工教育, 教科教育学
教育研究概要	(キーワード) 中学校技術科, 木材加工, ものづくり教育, 技術教育, 教育システム
担当科目	(教養科目) 主題別ゼミナール[技術教育概論], 情報処理概論[情報リテラシー] (専門科目) 技術科指導法(木材加工実習)/木材加工の基礎技術, 木材加工演習, 基礎木材加工, 木材加工の応用技術, 木材加工学, 技術科指導論, 教職実践演習, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目) 技術と生活総合研究, 木材加工学特論, 木材加工学演習, 技術科授業設計

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

<p>高橋将太郎, 白坂高司「木材加工学習の目違い払い場面における工程と思考要因の解析」, 茨城大学教育学部紀要(教育総合), , 増刊, pp.201-217, 2014.</p> <p>長松正康, 白坂高司, 川田和男, 山本透, 山根八洲男「制御工学的アプローチに基づく教師—学習者間モデルに関する考察」, 電気学会論文誌 C, 134, 10, 1537-1542, 2014.</p> <p>北島太一, 白坂高司「木材加工学習への意識と自己効力感との関連—大学生の調査による考察」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), , 63, 123-130, 2014.</p> <p>白坂高司, 山本透「制御理論的アプローチを導入した個別学習支援システムの設計」, 電気学会 電子・情報・システム部門大会講演論文集, , pp.382-387, 2014.</p>
---

**研究業績(2)学会発表など**

<p>保坂和樹, 白坂高司, 「自己組織化マップを利用した技術・家庭技術分野教科書の内容比較」(日本産業技術教育学会第26回関東支部大会・2014年12月)</p>
--

高橋将太郎, 臼坂高司, 勝二博亮, 「下穴条件の異なる釘打ち作業と脳活動の関連」(日本産業技術教育学会第 26 回関東支部大会(横浜国立大学)・2014 年 12 月)

臼坂高司, 山本透, 「データ駆動型 IMC アプローチに基づく個別学習における学習支援システムの構築に向けて」(電気学会研究会 制御工学・制御技術教育の方法・評価, および制御一般(鹿児島高専)・2014 年 11 月)

臼坂高司, 山本透, 「制御理論的アプローチを導入した個別学習支援システムの設計」(電気学会電子・情報・システム部門大会・2014 年 09 月)

### 社会的活動、地域貢献など

日本産業技術教育学会 評議員

電気学会 制御工学・制御技術教育の方法および評価に関する協同研究委員会 委員

学校教育教員養成課程(家政教育)	氏名 木村 美智子
------------------	-----------

### 教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1958 年 3 月
学歴・職歴	お茶の水女子大学人間文化研究科博士課程修了(1989 年 03 月) お茶の水女子大学生生活科学部・非常勤講師(2010 年 10 月～) お茶の水女子大学生生活科学部・非常勤講師(1995 年 10 月～1999 年 03 月) 太田看護専門学校・非常勤講師(1990 年 04 月～) お茶の水女子大学家政学部被服学科・文部技官(1983 年 04 月～1984 年 03 月) 放送大学・非常勤講師(1987 年 08 月～1988 年 03 月) 桜の聖母短期大学・非常勤講師(1988 年 04 月～1989 年 03 月) 桜の聖母短期大学・講師(1989 年 04 月～1993 年 03 月) 桜の聖母短期大学・助教授(1993 年 04 月～1999 年 03 月) 東北文化学園大学科学技術学部・講師(1999 年 04 月～2004 年 03 月) 東北文化学園大学・助教授(2004 年 04 月～2009 年 03 月) 茨城大学教育学部・准教授(2009 年 04 月～2012 年 03 月)
学位	学術博士[お茶の水女子大学]
受賞歴	日本環境共生学会発表論文賞(Japan Association for Human and Environmental Symbiosis)(2006 年 09 月), お茶の水女子大学大学院人間文化研究科奨学金(Ochanomizu University)(1995 年 11 月), お茶の水女子大学家政学部被服学奨学金(Ochanomizu University)(1989 年 11 月)
所属学会	日本繊維製品消費科学会, 日本家庭科教育学会, 日本環境共生学会, 日本環境教育学会, 日本生活学会, 日本油化学会, 繊維学会, 日本家政学会
専門分野	生活科学一般 科学教育 環境影響評価・環境政策
教育研究概要	環境に配慮したライフスタイルを構築するための研究を展開しています。その1つは環境負荷を低減する洗濯方式に関する研究、2つ目は天然資源を有効に活用する染色方法に関する研究、3つ目に環境教育の視点に立った家庭科教育の研究を進めています。  (キーワード)洗浄科学, 生活環境学, 環境教育
担当科目	(専門科目)初等家庭科内容研究, アパレル科学, 被服構成学基礎, 衣生活論, 初等家庭科内容研究, 被服科学, 被服学演習, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)被服学特論, 生活科学総合研究, 被服学演習, 特別課題研究

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

木村美智子「大学生の洗濯行動の実態と課題」, 茨城大学教育実践研究,34, 51-57, 2015.

**研究業績(2)学会発表など**

木村美智子, 「大学生の洗濯行動の実態と課題」(日本繊維製品消費科学会 2015 年年次大会・2015 年 06 月 27・28 日)

木村美智子, 「大学生の洗濯行動を通して考える家庭洗濯の課題」(第 47 回洗淨に関するシンポジウム・2015 年 10 月 20・21 日)

**社会的活動、地域貢献など**

日本環境共生学会 理事(2007 年 05 月～)

日本油化学会 洗剤・洗淨部会幹事(2007 年 04 月～)

日本環境共生学会 日本環境共生学会・理事(2007 年 03 月～)

日本油化学会 洗淨・洗剤部会・幹事(2005 年 04 月～)

[非常勤講師]お茶の水女子大学(2010 年 10 月～)

[非常勤講師]太田西ノ内病院附属看護学校(1990 年 04 月～)

**科学研究費補助金などの受領**

「新型洗剤を軸にした持続可能な生活のための洗淨システムの開発と洗淨力評価」[科研費]基盤研究(A)一般(分担)(2014 年 07 月～2017 年 03 月)

学校教育教員養成課程(家政教育)	氏名 数井 みゆき
------------------	-----------

### 教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1961 年 4 月
学歴・職歴	<p>メリーランド大学院博士課程修了(1991 年)</p> <p>茨城大学教育学部家政教育教室 教授(2006 年 04 月～)</p> <p>茨城大学 教育学部 家政教育講座 助教授(1996 年 04 月～2005 年)</p> <p>成蹊大学、東京女子大学等 非常勤講師(1992 年 04 月～1994 年 03 月)</p> <p>日本学術振興会 特別研究員(お茶の水女子大学)(1994 年 04 月～1996 年 03 月)</p>
学位	心理学博士 (Ph.D. in Psychology)[メリーランド大学(アメリカ合衆国)]
受賞歴	日本発達心理学会論文賞(1998 年)
所属学会	日本発達心理学会, 児童発達研究学会(society of Research in child Development), 日本教育心理学会, アメリカ心理学会(American Psychological Association), 日本心理臨床学会, 日本保育学会, 日本心理学会
専門分野	教育心理学
教育研究概要	<p>本学では、家政教育教室で保育学を担当している。子どもの発達や子どもの現状、家族関係などについて、保育園などでの実習も含めて、教えている。</p> <p>専門は領域としては発達心理学で、研究として乳幼児のアタッチメントの発達、さらに、アタッチメントの生涯発達として、養育者側についても分析している。現在は、アタッチメントの世代間関連について、男性(父親)の実態の調査を始めている。</p> <p>(キーワード)アタッチメント(の世代間連鎖)、男性の養育、アタッチメントと喪失</p>
担当科目	<p>(教養科目)主題別ゼミナール[生活科学の視点], 生活・福祉系科目[生活環境とライフスタイル]</p> <p>(専門科目)親子関係学, 保育学, 中等家庭科内容研究, 保育学演習, 卒業研究(教育:4 単位)</p> <p>(大学院科目)児童学特論, 児童学演習, 家庭科授業設計</p>

### 研究業績(2)学会発表など

第7回 国際アタッチメント学会 **What element of the Circle of Security program is effective for caregivers with different attachment state of mind?** Megumi Kitagawa\*1, Sayaka Iwamoto\*1, Miyuki Kazui \*2, Shimpei Kudo\*3, Hiromi Matsuura \*4, Tomo Umemura\*5 (\*1 Konan

University,\*2 Ibaraki University, \*3 Kyoto University, \*4 Kyoto Women's University, \*5 Masaryk University)

### 科学研究費補助金などの受領

「父方祖父－父親－子の3世代におけるアタッチメント(Attachment relationships among father-side grandfather, father, and preschooler)」[科研費](基盤研究 B) (2012 年 04 月 01 日～2017 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(家政教育)	氏名 野中 美津枝
------------------	-----------

**教員履歴など**

現職	准教授
生年月	1961年3月
学歴・職歴	千葉大学教育学研究科修士課程修了(2001年03月) 茨城大学教育学部・准教授(2013年～) 愛媛大学教育学部・准教授(2010年12月～2013年03月) 愛媛大学教育学部・講師(2009年04月～2010年11月) 東筑紫短期大学食物栄養科・助手(1983年04月～1983年08月) 山口県立美祢高等学校・家庭科講師(1984年01月～1984年03月) 山口県立徳佐高等学校・家庭科教諭(1984年04月～1987年03月) 山口県立久賀高等学校・家庭科教諭(1987年04月～1987年08月) 三基商事株式会社お客様相談室・消費生活アドバイザー相談員(1992年04月～1993年03月) 千葉商科大学附属高等学校・家庭科教諭(1994年04月～2008年03月) 九州女子大学家政学部人間生活学科・准教授(2008年04月～2009年03月)
学位	教育学修士[千葉大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本家庭科教育学会, 日本教育工学会, 日本家庭科教育学会関東地区会, 日本消費者教育学会, 日本家政学会, 大学家庭科教育研究会
専門分野	生活科学一般 教科教育学
教育研究概要	(キーワード) 家庭科、消費者教育、食教育、参加型アクション志向学習
担当科目	(専門科目) 初等家庭科教育法研究, 家庭科教育実践研究, 家庭科教科論, 中等家庭科内容研究, 家庭科教育学演習 II, 中等家庭科教育法研究, 生活科内容研究, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目) 家庭科教育特論 II, 家庭科授業設計, 家庭科教育演習 II

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

野中美津枝・田中菜帆・中山香里, 「小学校家庭科ミシン縫いにおけるデジタル教材の効果」, 茨城大学教育実践研究第34号, 59-68, 2015.
---

野中美津枝・亀井佑子・新山みつ枝・荒井きよみ・荒井智子・石島恵美子・真田智恵子・高橋礼子・吉野淳子,「高等学校男女必修 20 年の履修環境の検証—関東地区 4 都県の教育課程調査を通して—」,日本家庭科教育学会誌第 58 巻第 2 号,79-89,2015.

野中美津枝,「高校生の体型認識と生活習慣」,日本家政学会誌第 66 巻第 7 号,342-350,2015.  
 一社)日本家政学会家政教育部会「家族生活の支援—理論と実践—」,建帛社,136-142,2014.

## 研究業績(2)学会発表など

野中美津枝,「小学生の消費生活課題解決能力を育成する授業デザイン」(日本消費者教育学会第 35 回全国大会・2015 年 10 月)

野中美津枝,「高校家庭科における授業デザインと授業評価に関する実態調査」(第 58 回日本家庭科教育学会・2015 年 06 月)

野中美津枝,「高校家庭科男女必修 20 年の検証—関東地区 4 都県の教育課程調査を通して—」(第 57 回日本家庭科教育学会・2014 年 06 月)

野中美津枝,「高校生の体型認識と生活習慣」(日本家政学会第 66 回大会・2014 年 05 月)

<その他> 茨城大学教育学部第4回附属学校フォーラム「21世紀型スキルを身につけるICT教育の現在形と未来形」(実践研究発表として、デジタル教材を開発して附属小学校で実践研究した授業を模擬授業形式で行い、デジタル教材の効果について報告した。)(2015 年 02 月)

## 社会的活動、地域貢献など

日本家庭科教育学会 理事(2015 年 06 月～)

日本家庭科教育学会関東地区会 庶務(2014 年 08 月～)

日本家庭科教育学会 日本家庭科教育学会誌編集委員(2014 年 07 月～)

大学家庭科教育研究会 編集委員(2014 年～)

日本家庭科教育学会関東地区会 日本家庭科教育学会関東地区会「関東地区高校家庭科研究会」・代表(2013 年 04 月～2015 年 03 月)

[自治体での社会教育]「埼玉県小・中学校食育指導力向上授業研究協議会」の指導助言,埼玉県教育委員会(2014 年度実施)

## 科学研究費補助金などの受領

「生活課題解決能力を育成する授業デザインと授業評価」[科研費]基盤研究(C)一般(代表)(2014 年 04 月～2017 年 03 月)

学校教育教員養成課程(家政教育)	氏名 石島 恵美子
------------------	-----------

**教員履歴など**

現 職	准教授
生年月	1966 年 12 月
学歴・職歴	千葉大学教育学研究科修士課程修了(2012 年 03 月) 千葉県立千葉女子高等学校常勤講師(1989 年 04 月～1991 年 03 月) 千葉県立野田北高等学校教諭(1991 年 04 月～1995 年 03 月) 千葉県立松戸国際高等学校教諭(1995 年 04 月～2005 年 03 月) 千葉県立鎌ヶ谷高等学校教諭(2005 年 04 月～2014 年 03 月)
学位	教育修士[千葉大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本家庭科教育学会, 日本調理科学会, 日本教授学習心理学会 JAPTLL, 日本シ ティズンシップ教育フォーラム(J-CEF), 日本消費者教育学会
専門分野	生活科学一般
教育研究概要	高校生の社会参画意識を高める活動を主軸に研究しています。家庭科の授業内 での教材や指導法の研究のほか、課外活動の中での可能性を提案しています。 現在、茨城町の郷土料理の伝承活動を学生と行っています。 (キーワード)家庭科 調理学 社会参画 授業研究 家庭クラブ 部活動 ホーム プロジェクト 郷土料理
担当科目	(教養科目)生活・福祉系科目[生活環境とライフスタイル] (専門科目)初等家庭科内容研究, 調理学基礎[1 単位], 初等家庭科内容研究, 中等家庭科内容研究, 調理学応用 (大学院科目)生活科学総合研究, 家庭科教育特論 I, 家庭科教育演習 I, サステ イナビリティ学国内演習

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

「家庭科教育におけるホームプロジェクト学習の課題－教育学部家庭科選修における調査結果より－」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 64, 117-134, 2015. 唐木清志「シティズンシップ教育で創る学校の未来」, 東洋館出版社, 94-99, 2015. 「高校家庭科男女必修 20 年の履修環境の検証-関東地区4都県の教育課程調査を通して-」野中美津枝 石島恵美子 他 7 名, 日本家庭科教育学会, 58 巻 2 号,2015.8.1.
--

**研究業績(2)学会発表など**

＜学会発表＞

石島恵美子 橋長真紀子, 「社会参画意識を高める消費者市民教育」(日本消費者教育学会研究大会・2014 年 10 月)

石島恵美子 橋長真紀子, 「Fostering Ethical and Responsible Consumer Behavior Among Japanese High School and College Students Using Cooperative Learning」(IASCE Conference 2015) (2015 年 10 月)

石島恵美子 若井田萌 荒田玲子 渡辺敦子 「昭和 30～40 年代茨城県水戸地域の食生活研究」(調理科学会) (2015 年 8 月)

＜招待講演＞

長岡大学 COC 事業講演(講師「エシカルビジネスを考える」)(2014 年 06 月)

茨城県高校家庭クラブ研修会「ホームプロジェクトと家庭クラブでつなげる社会貢献」(2015 年 8 月)

茨城大学土曜アカデミー くるまご講演 「郷土料理とサステイナビリティ学」(2016 年 1 月)

**社会的活動、地域貢献など**

日本家庭科教育学会関東地区研究会常任理事(2014 年 04 月～2016 年 03 月)

茨城町有識者会議委員(2015 年 7 月～)

千葉県高校家庭クラブホームプロジェクトコンクール県大会審査員

茨城県若者チャレンジ社会参画企画審査委員

文部科学省学習指導要領分析委員

**海外出張・海外研修・内地研修など**

デンマーク小中学校教育視察(IASCE) (2015 年 9 月～10 月)

学校教育教員養成課程(家政教育)	氏名 佐藤 裕紀子
------------------	-----------

**教員履歴など**

現 職	准教授
生年月	1968 年 2 月
学歴・職歴	お茶の水女子大学人間文化研究科博士後期課程単位取得満期退学(2004 年 03 月)
学位	博士(学術)[お茶の水女子大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本家政学会, 日本家政学会家族関係学部会, 日本家政学会生活経営学部会, 日本家族社会学会, 日本家庭科教育学会, 日本家政学会家政学原論部会
専門分野	生活科学一般
教育研究概要	(キーワード) 家族関係、家政教育、家庭科教育、ライフスタイル、生活時間
担当科目	(教養科目) 生活・福祉系科目[生活環境とライフスタイル] (専門科目) 初等家庭科内容研究, 現代家族論, 家族とジェンダー, 家事労働論, 家庭経営学, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目) 生活科学総合研究, 家族関係学特論, 家族関係学演習, 特別課題研究

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

<p>佐藤裕紀子「生活時間と時間葛藤からみる中学校教員の多忙と今後の課題」, 日本家政学会誌, 66, 2, pp.16-26, 2015.</p> <p>佐藤裕紀子「高等学校家庭科におけるキャリア教育の課題—男女共同参画の視点から—」, 日本家庭科教育学会誌, 57, 4, pp.261-272, 2015.</p> <p>塩谷敬子 佐藤裕紀子「家庭科教員の他校種理解に及ぼす異校種間交流の影響と小中連携の課題」, 茨城大学教育実践研究, 33, pp.71-79, 2014.</p> <p>佐藤裕紀子「家庭分野の『家族・家庭と子どもの成長』における子どもたちの内面の育ちとその見取り」, 東書Eネット, 5月号, 2014.</p>
--

**社会的活動、地域貢献など**

<p>一社) 日本家政学会家政学原論部会 「家政学原論部会行動計画 2009-2018」授業研究グループ・(2010 年 08 月～2018 年 08 月)</p> <p>水戸市子ども・子育て会議(2014 年度)</p>
---

**科学研究費補助金などの受領**

「家庭科における生活資源とライフスタイル選択に関する実践的ライフキャリア教育の研究」[科研費] 基盤研究(C)一般(代表)(2012年04月01日～2015年03月31日)

「家庭科の基礎・基本の定着を目指す施設分離型小中一貫教育の提案」[茨城大学教育学部実践センター・学部附属学校連携研究費補助金](代表)(2014年06月30日～2015年03月31日)

学校教育教員養成課程(家政教育)	氏名 西川 陽子
------------------	----------

**教員履歴など**

現 職	准教授
生年月	1969 年 4 月
学歴・職歴	お茶の水女子大学人間文化研究科博士課程修了(1998 年) 茨城大学 教育学部 家政教育 助教授(2002 年 04 月～) お茶の水女子大学大学院人間環境学 助手(1998 年 04 月～2001 年 03 月) ケースウェスタンリザーブ大学, Dr.Monnier 研究室(アメリカ合衆国,オハイオ州, クリーブランド)博士研究員(2001 年 04 月～2002 年 03 月)
学位	学術博士[お茶の水女子大学]
受賞歴	Award for Excellence to Authors Publishing in Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry in 2000 (2001 年)
所属学会	社)日本農芸化学会, 日本ビタミン学会, (社)日本家政学会, 日本調理科学会, 日本食品化学学会
専門分野	食品科学 科学教育 食生活学
教育研究概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アスコルビン酸の in vitro における分解反応機構の解明</li> <li>・食習慣が及ぼす健康への影響と食教育のあり方</li> <li>・家庭科における食教育の課題追究(サステナビリティ教育の導入)</li> </ul> (キーワード)アスコルビン酸, 食品化学, 食教育
担当科目	(教養科目)生活・福祉系科目[生活環境とライフスタイル] (専門科目)食物科学, 食品衛生管理学, 食生活論, 栄養学, 食生活と健康【全教科】, 農産物総合リスク論 II, 初等家庭科内容研究, 食物学演習, 卒業研究(教育: 4 単位) (大学院科目)食物学特論, 食物学演習, 家庭科授業設計, 特別課題研究

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

<p>西川陽子, 安瀬智悠「バナナ追熟時におけるアスコルビン酸の動態」, 茨城大学教育学部紀要(自然科学), , 64, 41-49, 2015.</p> <p>五十嵐 脩, 藤原 葉子, ほか「栄養」, 実教出版, 87-112, 2015.</p>
--

**社会的活動、地域貢献など**

[非常勤講師]茨城北西看護学校(2010.09～)
---------------------------

### 科学研究費補助金などの受領

[科学研究費], 「食文化教育を切り口とした家庭科教育へのサステナビリティ教育導入の試み」( (基盤研究(C) H26~H28)

学校教育教員養成課程(英語教育)	氏名 猪井 新一
------------------	----------

**教員履歴など**

現職	教授
生年月	1955年9月
学歴・職歴	千葉県及び福島県公立高等学校教諭(1979年04月～1993年03月) 奥羽大学文学部英語英文学科・専任講師(1993年04月～2001年09月) 北海道教育大学教育学部旭川校・助教授(2001年10月～2004年03月) 北海道教育大学教育学部旭川校・教授(2004年04月～2005年03月) 会津大学短期大学部・教授(2005年04月～2007年03月) 茨城大学教育学部・教授(2007年04月～) 東北大学大学院情報科学研究科博士後期課程修了(2008年09月)
学位	博士(学術)[東北大学大学院情報科学研究科](2008年09月)
受賞歴	なし
所属学会	東北英語教育学会, 全国英語教育学会, 全国語学教育学会(JALT), 大学英語教育学会(JACET), 小学校英語教育学会, 関東甲信越英語教育学会
専門分野	外国語教育, 教員養成
教育研究概要	(キーワード) 談話分析, 学習方略, コミュニケーション方略, 小学校英語教育
担当科目	(教養科目) 総合英語(プレレベル3) (専門科目) 英語科教育法研究 I, 小学校英語 I, 英語コミュニケーション III, 英語科内容研究 (大学院科目) 英語教育学特論 I, 英語科授業設計, 英語教育学演習

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

猪井, 新一「小学校英語に対する学習者の態度は中学校で変化するのか」, 『茨城大学教育学部紀要(教育科学)』, 64, 135-149, 2015.
MAHONEY, Sean & INOI, Shin'ichi, "Homeroom Teachers' Perspectives on Goal Achievement in Japan's Foreign Language Activity Class", <i>JES Journal</i> (The Japan Association of English Teaching in Elementary schools), 5, 2015.
猪井 新一「小学校外国語活動において、教師はどのような時に成功感と失敗感を感じているか。」, 『茨城大学教育実践研究』, 33, 81-95, 2014.

## 研究業績(2)学会発表など

Shin'ichi Inoi, "Do teacher attitudes toward English lessons have an impact on those of students?"

(The Sixth CLS International Conference, National University of Singapore, 2014 年 12 月)

猪井 新一, 「小学校外国語活動において学級担任と児童の英語学習態度には関連性はあるのか」

(言語エキスポ 2015・早稲田大学, 2015 年 03 月)

猪井 新一, 「小学校外国語活動における教師の成功感と失敗感をもたらす要因」(全国英語教育学

会第40回徳島研究大会・徳島大学, 2014 年 08 月)

猪井 新一, 「児童の外国語活動や英語学習意欲はどのような要因によって影響を受けているのか。」

(第14回小学校英語教育学会神奈川大会, 関東学院大学・2014 年 07 月)

## 社会的活動、地域貢献など

全国英語教育学会 ARELE 査読委員 (2012 年 04 月～2014 年 03 月)

小学校英語教育学会 JES 査読員 (2012 年 04 月～)

茨城県教育研究連盟 第 59 回茨城県教育研究連盟研究集会・(2014 年 04 月～2015 年 03 月)

[出前授業]英語音声学, 茨城県立水海道第一高等学校 (2014 年度実施)

第8回茨城県高等学校英語スピーチコンテスト審査委員長[茨城県高等学校教育研究会英語部]

(2014 年 10 月)

平成 26 年度茨城大学教員免許状更新講習会 (6 月, 8 月)

## 海外出張・海外研修・内地研修など

シンガポール シンガポール・シンガポール国立大学[CLasic2014 参加] (2014 年 12 月:3 日間)

## 科学研究費補助金などの受領

「外国語活動に関する児童の好き嫌いの度合いと学級担任の満足度」[科研費]基盤研究(C)一般(代表) (2012 年 04 月 01 日～2015 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(英語教育)	氏名 君塚 淳一
------------------	----------

### 教員履歴など

現職	教授
生年月	1959年6月
学歴・職歴	茨城大学教育学部教授(2006年04月～) 茨城大学教育学部助教授(1999年10月～2006年03月) 中国短期大学英語英文科専任講師(1993年04月～1997年03月) 中国短期大学英語英文科助教授(1997年04月～1999年09月)
学位	文学修士
受賞歴	推奨授業(茨城大学)(茨城大学)(2004年04月21日), 第1回日本マラマッド協会賞 学術部門(1998年)
所属学会	英文学会, 黒人研究の会, 英米文化学会, 日本マラマッド協会, アメリカ学会, アメリカ文学会, ポップカルチャー学会, 多民族研究学会
専門分野	アメリカ文学
教育研究概要	<p>アメリカ文学(ユダヤ系、アフリカ系作家)、アメリカ文化(1920年代文化、1960年代文化、アメリカ映画、大衆文化)、人種問題など。</p> <p>ユダヤ系作家では、現代ユダヤ系小説家 Bernard Malamud や Paul Auster などを中心に、19世紀末から20世紀初頭の移民文学としての Abraham Cahan, Michael Goldなどを同化の問題やユダヤ人としてのアイデンティティの問題、また二次大戦後はホロコーストの問題などを作家がどう扱い描いているのかをテーマに研究している。一方、アフリカ系作家では WASP が中心とされる白人アメリカでいかに人種問題と向き合うかを Richard Wright の作品を通して、また黒人で女性という立場、アフリカをどうアメリカ黒人が自身の中で認識するかを Alice Walker の作品を通して研究している。1920年代ではハリウッド映画産業の勃興とユダヤ系社会の関係、ハーレムルネッサンスのアフリカ系アメリカ人に対し、黒人民族主義と分離主義を標榜したマーカス・ガーヴェイを比較し研究している。1960年代論は、対抗文化の中で起きた様々な若者文化を比較研究、人種問題からニューシネマ、ロック、など幅広く文化論を展開している。また映画では文学と同様な研究方法を用いての映画分析を研究し、論文、著書のほか映画評なども執筆している。</p> <p>(キーワード)</p>
担当科目	(教養科目)総合英語(学術), 人間・文化系科目[ビートルズと1960年代アメリカ: 政治・文化・音楽]

	(専門科目)英米文学演習 IV, 英米文学演習 III, 言語と文化の諸相, 英米文学特講 IV, 英米文学・文化から教える英語テキスト, 英米文学概論 II/アメリカ文学史, 英米文学特講 III, 映像作品と時代そして文化的背景, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)英米文学特論 I, 英米文学演習 I, 言語と文化総合研究, 特別課題研究
--	---

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

君塚淳一「ミュージカルパンフ『もっと泣いてよ、フラッパー』「1920 年代アメリカとシカゴの街」(2014.2)

君塚淳一「書評 国家が直面してきた人種とジェンダーをアメリカ文学はどう書いてきたか:『ハイブリッド・フィクション:人種と性のアメリカ文学』,『多民族研究』第8号, 107-109, 2015.

君塚淳一「The Monkees — British Invasion が生んだ 1960 年代アメリカン・ポップ・バンドの光と影」, 茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学・芸術), , 第 64, 1-9, 2015.

君塚淳一他共編著『ジョン・ブラウンの屍を超えて』(金星堂、2016 年 3 月)

君塚淳一「ブッカー・T・ワシントンの再評価」『多民族研究』(2016 年 3 月)

### 研究業績(2)学会発表など

多民族研究会大会シンポジウム「伝記」:君塚淳一「ブッカー・T・ワシントンの再評価」(2015 年 7 月)

### 社会的活動、地域貢献など

多民族研究会 副会長(2012 年 04 月～)

英米文化学会 副会長(2015 年 4 月～)、学会誌編集長(2011 年 10 月～)

[非常勤講師]青山学院女子短期大学[非常勤講師](1995 年 04 月～)

大学模擬授業を「ハリウッド映画から見るアメリカ」と題して行った。[茨城県立取手第一高校](2009 年 06 月～), 大学模擬授業として「ハリウッド映画から見えるアメリカーその歴史と映画の観かた」と題して講義を行う。[茨城県立水戸桜の牧高校](2007 年 11 月～) 大学模擬授業として「アメリカ文化」[大成女子高校](2014 年 3 月)、大学模擬授業として「ビートルズとアメリカ 1960 年代」[大成女子高校](2015 年 3 月),大学模擬授業として「アメリカの大衆文化」[県立水戸第一高校](2016 年 2 月)。

### 海外出張・海外研修・内地研修など

イギリス ロンドン・Marcus Garvey Library[マーカス・ガーヴェイに関する資料収集](2015 年 3 月:3 日間)

アメリカ ニューヨーク・ハーレム [マーカス・ガーヴェイに関する資料収集](2015 年 9 月:7 日間)

学校教育教員養成課程(英語教育)	氏名 小林 英美
------------------	----------

### 教員履歴など

現職	教授
生年月	1967年10月
学歴・職歴	<p>早稲田大学教育学研究科博士課程修了(2001年)</p> <p>早稲田大学エクステンションセンター・中野校・非常勤講師(2015年04月～)</p> <p>茨城大学教育学部教授(2015年04月～)</p> <p>早稲田大学教育学部・非常勤講師(2000年04月～)</p> <p>法政大学附属第一高等学校・非常勤講師(1990年04月～1991年03月)</p> <p>国土舘大学・非常勤講師(1993年04月～1995年03月)</p> <p>早稲田大学教育学部助手(1994年04月～1996年03月)</p> <p>茨城県立医療大学・非常勤講師(1995年04月～2003年03月)</p> <p>東邦大学・非常勤講師(1996年04月～1997年03月)</p> <p>日本学術振興会特別研究員(1997年04月～1999年03月)</p> <p>学習院大学・非常勤講師(1999年04月～2003年03月)</p> <p>東京国際大学・非常勤講師(2000年04月～2003年03月)</p> <p>茨城大学教育学部・准教授(2003年04月～2015年03月)</p> <p>放送大学・非常勤講師(面接授業)(2014年04月～2015年03月)</p>
学位	学術博士[早稲田大学]
受賞歴	なし
所属学会	イギリス・ロマン派学会, 欧米言語文化学会, 日本ジョンソン協会, 早稲田大学英語英文学会, 日本英文学会, 美学会, 日本カレドニア学会, 日本イギリス児童文学会
専門分野	ヨーロッパ語系文学
教育研究概要	<p>18－19世紀イギリス文学における読者と作家・詩人の相互影響関係、英詩への関心を音読実践と童謡から引き出す。</p> <p>研究においては、18－19世紀イギリス文学における読者と作家・詩人の相互影響関係を、現存するデータを発掘・分析して、実証的に明らかにする歴史的文学研究を行なっている。教育においては、英詩の魅力を、音読を実践することで導く。音読は語学教育の重要な基礎の一つであり、音読して初めて英詩の本当の魅力が明らかになるからである。伝承童謡や有名児童文学を入門に用いることで関心を持たせ、最終的には文学史的に重要な英詩へと導く工夫をしいている。また作品に関連する映像・音声教材も利用することによって、学生の理解が深まるようにしている。</p>

	(キーワード)イギリス文学、18 世紀、19 世紀、ロマン主義文学、ワーズワス、コウルリッジ、キーツ、オースティン、女性詩人、読者層研究、文学作品の 18-19 世紀英国作曲家による音楽受容、18-19 世紀出版事情、予約購読出版、貸本店
担当科目	(教養科目)総合英語(プレレベル3), 人間と文学・芸術[英国文化入門 — 再発見と再利用の文化史] (専門科目)英米文学概論 I, 英米文学演習 I, 言語と文化の諸相, 英米文学演習 II, 英米文学・文化から教える英語テキスト, 英米文学特講 I, 英米文学特講 II, 卒業研究(教育:4 単位)(大学院科目)英米文学特論 II, 言語と文化総合研究, 英米文学演習 II

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

小林英美『ワーズワスとその時代—リリカル・バラッズの読者たち』(勉誠出版), 2015 年 09 年.  
小林英美「「予約購読者一覧にみる読者・支援者網—ヘレン・マライア・ウィリアムズとシャーロット・スミスの詩集の事例研究—」茨城大学教育学部」64 号, 茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学・芸術), , 64, 11-20, 2015.

### 研究業績(2)学会発表など

小林英美, 「定期刊行物での予約購読形式詩集の書評 —読者拡大の意図—」(欧米言語文化学会第 129 回例会・2014 年 12 月)  
イギリス・ロマン派講座・名詩の解釈と鑑賞(講師・講義名: Wordsworth: "There was a Boy"—自らの自然観の原点を求めて)(2014 年 07 月)

### 社会的活動、地域貢献など

イギリス・ロマン派学会 理事(2014 年 04 月～)  
欧米言語文化学会 監査役(2001 年 04 月～)  
イギリス・ロマン派学会 イギリス・ロマン派学会第 40 回全国大会・理事(2014 年 10 月～2014 年)  
[非常勤講師]ひたちなか市市民大学「英国文化入門」(2015 年 06 月～12 月)  
[非常勤講師]早稲田大学エクステンションセンター・中野校・非常勤講師(面接授業))(2015 年 04 月～)

### 海外出張・海外研修・内地研修など

イギリス チェルトナム、オックスフォード、コッツウォルズ、ロンドン、ウォルトシャー、バース・グロスターシャー大学、オックスフォード市内等各訪問先市内[語学研修引率、実地文化研修引率](2015 年 2 月～3 月:18 日間)

### 科学研究費補助金などの受領

科学研究費・基盤研究(C)

学校教育教員養成課程(英語教育)	氏名 齋藤 英敏
------------------	----------

**教員履歴など**

現職	准教授
生年月	1966年7月
学歴・職歴	博士課程修了(2000年) 茨城大学教育学部英語教育教室 准教授(2006年04月～) 茨城県立土浦湖北高等学校英語科教諭(1989年04月～1991年07月) (1992年08月～1994年05月) 千葉大学外国語センター 非常勤講師(英語)(1998年04月～1999年03月) フェリス学院大学 非常勤講師(英語)(1998年04月～1999年03月) 立教大学ランゲージセンター 嘱託講師(英語)(1999年04月～2000年03月) 北星学園大学経済学部 専任講師(2000年04月～2003年03月) 北星学園大学経済学部 助教授(2003年04月～2004年03月) 茨城大学教育学部英語教育講座 助教授(2004年04月～2006年03月)
学位	PhD
受賞歴	なし
所属学会	National Council on Measurement in Education, 日本言語テスト学会, 大学英語教育学会, 日英・英語教育学会, 全国語学教育学会
専門分野	外国語テスト、評価 外国語学習、習得 外国語指導 外国語教育
教育研究概要	外国語教育での評価、テスト、外国語学習 (キーワード)外国語学習の評価、テスト、外国語学習、指導
担当科目	(教養科目)総合英語(レベル3) (専門科目)英語科教育法研究Ⅱ, 英語科教科論Ⅱ, 英語コミュニケーションⅨ, 英語コミュニケーションⅫ, 英語コミュニケーションⅦ, 英語科教育法特講, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)英語教育学特論Ⅱ, 言語と文化総合研究, 英語教育学演習

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

<p>齋藤英敏「中学校英語科でディスカッション力とロジカル表現力向上にどう取り組むか」茨城県教育委員会(編)『ロジカル・トーキングの手引きー論理的に思考し表現する力の育成を目指してー』(茨城県教育委員会)82-87頁.</p> <p>Saito, H., Kasakura, Y., Sato, M., &amp; Yagioka, M. 「The Role of Pictures in Children's Comprehension of Repeated Read-Alouds of Picture Books in an EFL setting.」 『茨城大</p>
---

学教育学部教育実践研究』 33巻, 107-121頁.

## 研究業績(2)学会発表など

Saito, H. The use of formative assessment in Japanese middle school classrooms	2014/04/06	National Council on Measurement in Education 76 <sup>th</sup> Annual Meeting (Philadelphia)
齋藤英敏.英語インタラクティブフォーラムからみえる中学校に期待する英語能力と今後の英語教育のありかた	2014/08/12	小・中・特別支援学校英語科教育研究部夏季実技研修会(日立市消防拠点施設)
佐野富士子・齋藤英敏・吉田晴世「教員免許5年制のための到達目標とその評価ーグローバルな人材育成の教育を目指して」	2014/08/30	大学英語教育学会第53回(2014年度)国際大会(広島市立大学)
齋藤英敏.Can-Doリストを生かした授業づくり	2014/2/3	平成26年度中学校外国語(英語)科「CAN-DOリスト」に係る授業研究会(水戸教育事務所)(茨城大学附属中)
齋藤英敏.英語で論理的に表現する力を育成するために	2014/2/24	平成26年度英語コミュニケーション能力育成事業に係る「ロジカルトーキング研修会」(茨城県教育研修センター)
Saito, H. Junior and senior high school EFL teachers' practice of formative assessment: A mixed method study	2015/3/19	2015 Language Testing Research Colloquium (Toronto, Canada)

## 社会的活動、地域貢献など

National Council of Teachers of English ・(2012年10月～)  
 日本教育大学協会 日本教育大学協会研究年報査読委員・(2012年05月～)  
 日本教育大学協会 外国語部門副部門長・(2012年04月～)  
 日本言語テスト学会 JLTA Journal 査読員・(2012年04月～)  
 Lawrence Earlbaum Language Assessment Quarterly 査読員・(2012年01月～)  
 大学英語教育学会 JACET 賞選考委員・(2011年09月～)  
 全国語学教育学会 JALT Journal 査読委員・(2009年04月～)  
 日本言語テスト学会 広報委員・(2007年09月～)

**海外出張・海外研修・内地研修など**

アメリカ フィラデルフィア・Loews Philadelphia Hotel[学会参加、研究発表](2014 年 4 月:4 日間)

フィンランド ヴァーサ・Abo Academy University[インタビュー調査、資料収集、授業参観](2014 年 9 月:3 日間)

カナダ トロント・Eaton Chelsea Hotel[LTRC2015 Pre-Conference Workshops への参加](2015 年 3 月:4 日間)

学校教育教員養成課程(障害児教育)	氏名 東條 吉邦
-------------------	----------

### 教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1951 年 5 月
学歴・職歴	東京教育大学大学院教育学研究科修士課程修了(1978 年 03 月) 国立特殊教育総合研究所分室研究員(1979 年 10 月～1992 年 09 月) 国立特殊教育総合研究所分室主任研究官(1992 年 10 月～1999 年 03 月) 国立特殊教育総合研究所分室長(1999 年 04 月～2004 年 03 月) 茨城大学教育学部教授(2004 年 04 月～) 放送大学客員教授(2006 年 04 月～2011 年 03 月)
学位	博士(心理学)[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本心理学会, 日本発達心理学会, 日本自閉症スペクトラム学会, 日本特殊教育学会, 日本臨床発達心理士会, 日本教育心理学会
専門分野	特別支援教育 実験心理学 臨床心理学 教育心理学
教育研究概要	<p>教育活動としては、教育学部学校教員養成課程の特別支援教育コース、特別支援教育特別専攻科、大学院教育学研究科障害児教育専攻にかかわる心理学の分野の教員として、「障害児発達臨床学」、「発達障害児教育概論」、「特別支援教育研究法」、「障害児心理演習」、「障害児心理学特論」、「障害児心理学演習」等を担当し、これらのコース・専攻の学生・院生の論文指導にあっている。研究活動としては、発達心理学・臨床心理学・認知神経科学を中心に、生物－心理－社会の統合的アプローチから、自閉症スペクトラムの探究に取り組むとともに、特別支援教育の在り方・内容・方法について研究している。具体的には、1) 自閉症スペクトラムにおける感覚・感情・表情認知などに関する研究、2) 心の理論に関する研究、3) コミュニケーション支援とアセスメント、4) 社会性の発達(特に対人関係と自己統制力の発達)、5) 実際の対人関係の発達に及ぼす仮想的環境の影響、6) 大脳の左右半球機能差の研究などを展開している。</p> <p>(キーワード) 自閉症スペクトラム、発達障害、臨床発達心理学、認知神経科学、生物－心理－社会アプローチ、大脳の左右半球機能差、社会性の発達、心の理論</p>
担当科目	<p>(教養科目) 主題別ゼミナール[特別支援教育入門], 人間と心[行動の心理学的基礎]</p> <p>(専門科目) 特別支援教育研究法, 発達障害児教育概論(専攻科)/発達障害児教</p>

育概論, 障害児心理学演習 II(専攻科)/障害児心理学演習 II, 障害児心理演習 II (専攻科), 修了研究(専攻科), 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)障害児心理学演習 II, 障害児心理学特論 II, 障害学総合研究
---

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

Akechi, H., Stein, T., Senju, A., Kikuchi, Y., Tojo, Y., Osanai, H. & Hasegawa, T., "Absence of preferential unconscious processing of eye contact in adolescents with autism spectrum disorder.", *Autism Research*, 7, 5, 590-597, 2014.

藤野博・松井智子・東條吉邦・長内博雄「学齢期の高機能自閉症スペクトラム障害児における心の理論と語彙理解力」, 東京学芸大学紀要(総合教育科学系), 66, 2, 311-318, 2015.

渡邊喜久枝・東條吉邦「発達障害児をもつ母親の不安感の検討」, 茨城大学教育学部紀要(教育総合), 増刊号, 245-263, 2014.

### 研究業績(2)学会発表など

Miura, Y., Matsui, T., Fujino, H., Tojo, Y., & Osanai, H., "Autistic children's understanding of affective prosody." (13th International Congress for the Study of Child Language, 2014 年 07 月)

菊池由葵子, 東條吉邦, 長内博雄, 齋藤慈子, 長谷川寿一, 「ASD 者におけるアイコンタクトによる心拍数の減少」(日本発達心理学会第 26 回大会・2015 年 03 月)

三浦優生, 松井智子, 藤野博, 東條吉邦, 長内博雄, 「自閉症スペクトラム児における感情プロソデューの理解(3)」(日本発達心理学会第 26 回大会・2015 年 03 月)

浅田晃佑, 東條吉邦, 長内博雄, 齋藤慈子, 長谷川寿一, 熊谷晋一郎, 「自閉スペクトラム症者のボディイメージについて」(日本発達心理学会第 26 回大会・2015 年 03 月)

渡邊喜久枝・東條吉邦, 「発達障害児を育てる母親の不安感について—質問紙調査による検討—」(日本自閉症スペクトラム学会第 13 回研究大会・2014 年 08 月)

### 社会的活動、地域貢献など

日本自閉症スペクトラム学会 常任理事(2006 年 04 月～2014 年 08 月)

日本自閉症スペクトラム学会 評議員(2014 年 09 月～2016 年 08 月)

水戸市障害児就学指導委員会(2014 年度)

[兼業]文部科学省[大学設置・学校法人審議会専門委員](2013 年 04 月～2015 年 03 月)

[兼業]独立行政法人日本学術振興会[科学研究費委員会専門委員](2013 年 12 月～2014 年 11 月)

[兼業]独立行政法人大学入試センター[全国大学入学者選抜研究連絡協議会企画委員会委員](2012 年 04 月～2016 年 03 月)

[兼業]水戸市教育委員会[水戸市障害児就学指導委員](2006 年 04 月～2015 年 03 月)

**科学研究費補助金などの受領**

「自閉症者の社会的困難の認知神経学的基盤を实际場面で捉える:基礎研究から臨床応用へ」[科研費]挑戦的萌芽研究(代表)(2014年04月01日～2016年03月31日)

「自閉症児に不安を与えない支援のあり方の検討」[科研費]基盤研究(B)一般(代表)(2011年04月01日～2015年03月31日)

学校教育教員養成課程(障害児教育)	氏名 荒川 智
-------------------	---------

**教員履歴など**

現職	教授
生年月	1957年8月
学歴・職歴	筑波大学教育学研究科博士課程修了(1988年) 茨城大学教育学部教授(2002年04月～) 日本学術振興会特別研究員(1988年04月～1989年03月) 神奈川県立衛生短期大学講師(1989年04月～1994年03月) 茨城大学教育学部助教授(1994年04月～2002年03月)
学位	教育学博士[筑波大学]
受賞歴	日本特殊教育学会研究奨励賞(1996年)
所属学会	日本特殊教育学会, 日本教育学会, 日本特別ニーズ教育学会(SNE学会)
専門分野	障害児教育、特別支援教育
教育研究概要	特別支援教育 障害児教育、特別支援教育の歴史、制度、行政、理念、方法 特別ニーズ教育、インクルーシブ教育の国際動向
	(キーワード)
担当科目	(教養科目)生活・福祉系科目[障害者と社会] (専門科目)特別支援教育研究法, 特別支援教育原論(専攻科)/特別支援教育原論, 障害児教育総論(専攻科)/障害児教育総論, 障害学総合研究(専攻科)/障害学総合研究, 障害児教育演習 I(専攻科), 特別なニーズをもつ子どもの教育, 障害児教育学演習 I, 修了研究(専攻科), 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)障害児教育学特論 I, 障害児教育学演習 I

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

荒川 智「ケイパビリティ・アプローチとインクルーシブ教育－M.ヌスバウムの提起をめぐって」, 茨城大学教育学部紀要(教育総合), , 増刊, 265-281, 2014.
---

**社会的活動、地域貢献など**

日本特殊教育学会 代議員(2012年6月～)
全国障害者問題研究会・全国委員長(2009年08月～)
[非常勤講師]茨城県教育委員会(1994年08月～)

学校教育教員養成課程(障害児教育)	氏名 勝二 博亮
-------------------	----------

**教員履歴など**

現職	教授
生年月	1970年9月
学歴・職歴	東京学芸大学連合学校教育学研究科博士課程(1999年) 茨城大学助教授教育学部(2005年10月～2007年03月) 日本学術振興会 特別研究員(1998年04月～1998年06月) 茨城大学助手教育学部(1998年07月～2000年03月) 茨城大学講師教育学部(2000年04月～2005年09月) ドイツ連邦共和国ユスタス・リービツヒ(ギーゼン)大学 客員研究員(2004年02月～2005年02月)
学位	教育学博士[東京学芸大学]
受賞歴	日本臨床神経生理学会 第14回奨励論文賞(日本臨床神経生理学会)(2012年11月09日)
所属学会	日本LD学会, International Society for Brain Electromagnetic Topography, 認知神経科学会, 日本脳電磁図トポグラフィー研究会, 日本生理心理学会, 日本臨床神経生理学会, 日本特殊教育学会
専門分野	認知神経科学 障害児教育 実験系心理学
教育研究概要	(キーワード)脳科学 特別支援教育
担当科目	(教養科目)人間と心[行動の心理学的基礎] (専門科目)特別支援教育研究法, 病弱児の生理(専攻科)/病弱児の生理, 障害児生理演習II(専攻科), 知的障害児の生理(専攻科)/知的障害児の生理, 障害児生理機能評価法(専攻科), 障害児生理機能評価法/障害児生理心理学, 修了研究(専攻科), 卒業研究(教育:4単位), 障害児生理学特別研究II(専攻科) (大学院科目)障害児生理学特論I, 障害児生理学演習I

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

竹蓋春奈・平山太市・勝二博亮「対人不安傾向が会話時の注視パターンに及ぼす影響」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), , 64, 163-174, 2015.
倉持光・平山太市・勝二博亮「文脈情報が表情の注視パターンに及ぼす影響」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), , 64, 175-184, 2015.

勝二博亮「小児気管支喘息経験者からみた学齢期の心理社会的課題」, 茨城大学教育学部紀要 (教育総合), , 283-292, 2014.

「新版 基礎から学ぶ学校保健,第 10 章 特別な支援を要する子どもと学校保健」, 建帛社, 116-128, 2014.

## 研究業績(2)学会発表など

高橋将太郎・臼坂高司・勝二博亮, 「下穴条件の異なる釘打ち作業と脳活動の関連」(第 26 回日本産業技術教育学会関東支部大会・2014 年 12 月)

笹沼なつき・勝二博亮, 「通常の学級に在籍する弱視児への支援」(日本特殊教育学会第 52 回大会・2014 年 9 月)

長島朋子・小室美歌子・勝二博亮, 「ダウン症児における音韻意識の形成と発音明瞭度の変化」(日本特殊教育学会第 52 回大会・2014 年 9 月)

斉藤春香・勝二博亮, 「知的障害児の投動作に関する分析的研究」(日本特殊教育学会第 52 回大会・2014 年 9 月)

Hiroaki Shoji, Ayano Mizokoshi, Taichi Hirayama, and Hisaki Ozaki, Decision-making in individuals with intellectual disabilities revealed by near infrared spectroscopy. The 17th World Congress of Psychophysiology (IOP2014), 2014 年 09 月 23 日～2014 年 09 月 27 日, 広島国際会議場 (広島県・広島市).

Sachi Onoue, Yui Kangori, Yusuke Seya, Hiroaki Shoji, and Hisaki Ozaki, Writing letter fluency with dominant and non-dominant hand by NIRS. The 17th World Congress of Psychophysiology (IOP2014), 2014 年 09 月 23 日～2014 年 09 月 27 日, 広島国際会議場 (広島県・広島市).

Yui Kangori, Sachi Onoue, Yusuke Seya, Hiroaki Shoji, and Hisaki Ozaki, Cerebral examination of letter fluencies due to vocalization and handwriting. The 17th World Congress of Psychophysiology (IOP2014), 2014 年 09 月 23 日～2014 年 09 月 27 日, 広島国際会議場(広島県・広島市).

Hikaru Kuramochi, Taichi Hirayama, Hiroaki Shoji, Hisaki Ozaki, Facial emotion recognition under different situational context revealed by eye tracking. The 17th World Congress of Psychophysiology (IOP2014), 2014 年 09 月 23 日～2014 年 09 月 27 日, 広島国際会議場 (広島県・広島市).

倉持 光・平山太市・勝二博亮・尾崎久記, 「文脈情報が表情の注視パターンに及ぼす影響」(第 32 回日本生理心理学会大会・2014 年 05 月)

神郡裕衣・瀬谷裕輔・尾上娑智・勝二博亮・尾崎久記, 「脳血流からみた語想起発語と語想起書字」(第 32 回日本生理心理学会大会・2014 年 05 月)

尾上娑智・瀬谷裕輔・神郡裕衣・勝二博亮・尾崎久記, 「脳血流からみた想起単語の書字表出と利き手」(第 32 回日本生理心理学会大会・2014 年 05 月)

瀬谷裕輔・平山太市・尾上娑智・神郡裕衣・勝二博亮・尾崎久記, 「脳血流からみた漢字書字における空書」(第 32 回日本生理心理学会大会・2014 年 05 月)

溝越彩乃・勝二博亮・尾崎久記, 「脳血流からみた知的障害児の意思決定過程」(第 32 回日本生理心理学会大会・2014 年 05 月)

## 、地域貢献など

日本臨床神経生理学会 評議員(2009 年 10 月～2013 年 9 月)  
 日本臨床神経生理学会 代議員(2013 年 10 月～)  
 日本特殊教育学会 編集委員(2013 年 1 月～)  
 日本生理心理学会 評議員(2013 年 5 月～)  
 日本生理心理学会 幹事(2013 年 5 月～)  
 日本発達障害学会 編集委員(2015 年 4 月～)

聖学院大学 非常勤講師(2014 年 09 月～2015 年 03 月)  
 茨城県教育委員会 茨城県教育職員免許法認定講習講師(2014 年 07 月～2014 年 08 月)  
 茨城県立鉾田第一高等学校 講師(2014 年 07 月)  
 茨城県立盲学校 教科用図書選定協議会委員(2014 年 06 月～2014 年 07 月)  
 石岡地区教育相談の会会長 講師(2014 年 06 月)  
 茨城大学教員免許状更新講習専門委員会 教員免許状更新講習講師(2014 年 05 月～2014 年 12 月)  
 茨城県立盲学校 学校評議員(2014 年 04 月～2015 年 03 月)  
 茨城キリスト教大学 非常勤講師(2014 年 04 月～2014 年 09 月)  
 [非常勤講師]聖学院大学[非常勤講師](2014 年 09 月～2015 年 03 月)  
 [兼業]茨城県教育委員会[茨城県教育職員免許法認定講習講師](2014 年 07 月～2014 年 08 月)  
 [出前授業]茨城県立鉾田第一高等学校[講師](2014 年 07 月～)  
 [兼業]茨城県立盲学校[教科用図書選定協議会委員](2014 年 06 月～2014 年 07 月)  
 [兼業]石岡地区教育相談の会会長[講師](2014 年 06 月～)  
 [兼業]茨城大学教員免許状更新講習専門委員会[教員免許状更新講習講師](2014 年 05 月～2014 年 12 月)  
 [兼業]茨城県立盲学校[学校評議員](2014 年 04 月～2015 年 03 月)  
 [非常勤講師]茨城キリスト教大学[非常勤講師](2014 年 04 月～2014 年 09 月)  
 [非常勤講師]聖学院大学[非常勤講師](2013 年 09 月～)  
 [兼業]那珂市立第二中学校[講師](2013 年 08 月～)  
 [兼業]茨城県鹿行生涯学習センター[講師](2012 年 07 月～)  
 [兼業]茨城県県北生涯学習センター[講師](2012 年 06 月～)  
 [兼業]茨城県立盲学校[教科用図書選定委員](2012 年 04 月～)  
 [兼業]茨城県教育委員会[講師(教育教員免許法認定講習)肢体不自由児の心理・生理・病理](2011 年 08 月～)

[兼業]茨城大学[講師(教員免許更新制)](2010年08月～)

[兼業]NPO 全国ことばを育む会・茨城県ことばを育む親の会[教育相談](2010年08月～)

### 科学研究費補助金などの受領

「生体機能データに基づく重症心身障害児の能動的動作解発」[科研費]基盤研究(C)一般(分担)  
(2014年04月01日～2017年03月31日)

「自閉症児に不安を与えない支援のあり方の検討」[科研費]基盤研究(B)一般(分担)(2011年04月  
01日～2015年03月31日)

「書字困難児の早期支援プログラムの開発」[科研費]基盤研究(C)一般(代表)(2011年04月01日  
～2015年03月31日)

「知的障害者の運動行為遂行における最適化条件の解析」[科研費]基盤研究(B)一般(分担)(2013  
年04月01日～2017年03月31日)

学校教育教員養成課程(障害児教育)	氏名 新井 英靖
-------------------	----------

### 教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1972 年 5 月
学歴・職歴	東京学芸大学大学院教育学研究科修士課程修了(1998 年) 茨城大学教育学部(准教授)(2007 年 10 月～) 茨城大学教育学部(講師)(2000 年 10 月～) 東京都立久留米養護学校(教諭)(1998 年 04 月～2000 年 09 月)
学位	博士[東京学芸大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本学校ソーシャルワーク学会, 日本発達障害学会, 日本教育方法学会, 日本特殊教育学会, 日本特別ニーズ教育学会
専門分野	障害児教育学 特別支援教育 障害児教育方法学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)生活・福祉系科目[障害者と社会] (専門科目)病弱児の教育方法(専攻科)/病弱児の教育方法, 知的障害児の教育方法(専攻科)/知的障害児の教育方法, 障害児教育演習 II(専攻科), 肢体不自由児の教育方法(専攻科)/肢体不自由児の教育方法, 知的障害児指導法演習(専攻科)/知的障害児指導法演習, 障害児教育学演習 II, 修了研究(専攻科), 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)障害児教育学特論 II, 障害児教育学演習 II, 特別課題研究

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>「2000 年代の英国インクルーシブ教育に関する実践原理と教育方法」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 64, 185-193, 2015.</p> <p>「「障害をもつ子どもの保護者と教師の連携構築プロセスに関する研究」, 『茨城大学教育学部紀要(教育総合)』増刊号, , 307-318, 2014.</p> <p>「「英国インクルーシブ教育におけるカリキュラム開発の方法 : 2000 年代のインクルーシブ学校の実践から」, 『茨城大学教育学部紀要(教育総合)』増刊号, , 293-306, 2014.</p> <p>新井英靖「質の高い看護教育に向けた教員の継続教育モデル」, 看護展望, 39, 10, 2014.</p> <p>新井英靖「学校・地域・保護者が連携するために必要なこと」, 茨城教育, , 845, 4-10, 2014.</p> <p>新井英靖「「特別支援教育の実際」. 梅谷忠勇・生川善男・堅田明義編著『特別支援児の心理</p>
--

学』, 北大路書房, 160-167, 2015.

「「障害児教育・特別支援教育研究 障害児の教科学習」. 日本教育方法学会編『教育方法研究ハンドブック』, 学文社, 212-215, 2014.

新井英靖「「子どもの実態把握と授業の構想」「子どもが主体的に学べる指導方法」「子どもが主体的に学べる授業展開」. 『特別支援教育の授業づくりキーワード』, 明治図書, 20-35, 80-115, 2014.

新井英靖「「想像世界で自由に表現する力を育てる国語の授業」. 『ことばの授業づくりハンドブック』, 溪水社, 55-74, 2014.

### 社会的活動、地域貢献など

日本特殊教育学会 理事長補佐(2013年01月～2016年05月)

日本特殊教育学会 編集委員(2013年01月～2016年05月)

日本特殊教育学会 広報委員会幹事(2013年01月～2016年05月)

日本発達障害学会 編集委員(2012年04月～2018年03月)

学校教育教員養成課程(障害児教育)	氏名 細川 美由紀
-------------------	-----------

**教員履歴など**

現 職	准教授
生年月	1973 年 4 月
学歴・職歴	筑波大学大学院心身障害学研究科博士課程修了(2004 年 03 月) 富士常葉大学 保育学部 講師(2006 年 04 月～2008 年 03 月) 茨城キリスト教大学 文学部 講師(2008 年 04 月～2011 年 03 月) 茨城キリスト教大学 文学部 准教授(2011 年 04 月～2015 年 03 月)
学位	心身障害学[筑波大学]
受賞歴	日本脳波・筋電図学会(現;日本臨床神経生理学会)第 1 回奨励論文賞(日本脳波・筋電図学会(現;日本臨床神経生理学会))(1999 年 11 月)
所属学会	日本 LD 学会, 日本特殊教育学会, 日本脳波・筋電図学会(現;日本臨床神経生理学会), 日本生理心理学会
専門分野	特別支援教育 実験心理学 教育心理学
教育研究概要	(キーワード) 発達障害/学習障害/読み書き障害/認知心理学/学習支援
担当科目	

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

<p>細川美由紀・勝二博亮「幼児のひらがな読み習得と認知機能の関連性における縦断的検討」, おおみか教育研究, 18, 1-8, 2015.</p> <p>細川美由紀「『実践的指導力を育む大学の教職課程』渡邊洋子・池内耕作・大内善一(編著)第 4 章「理論を教育実践に活かすには? 心理学的視点からのアプローチ」, 溪水社, 90-99, 2015.</p> <p>細川美由紀「『教師を支える研修読本 就学前教育から教員養成まで』山本睦・前田晶子・古屋恵太(編)第 2 章「発達障害児支援の現状と未来」, ナカニシヤ出版, 19-35, 2014.</p>
--

**社会的活動、地域貢献など**

[自治体での社会教育]学習につまずきのある子どものサポーター養成講座「学習障害(LD)の理解と支援」, 茨城県県西生涯学習センター(2014 年度実施)
--

養護教諭養成課程	氏名 齊藤 ふくみ
----------	-----------

### 教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1958 年 10 月
学歴・職歴	広島大学大学院保健学研究科博士後期課程修了(2006 年 03 月) 茨城大学教育学部教授(2014 年 04 月～) 熊本大学教育学部講師(2000 年 09 月～2006 年 03 月) 熊本大学教育学部助教授(2006 年 04 月～2007 年 03 月) 熊本大学教育学部准教授(2007 年 04 月～2008 年 03 月) 茨城大学教育学部准教授(2008 年 04 月～2014 年 03 月)
学位	博士(保健学)[広島大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本学校健康相談学会, 日本健康相談活動学会, 日本養護教諭教育学会, 日本学校保健学会, 日本教師教育学会
専門分野	養護学、養護実践学、健康教育、質的研究
教育研究概要	大学の養護実習記録の内容分析による学生の学びの比較ーテキスト・マイニング手法を用いてー 本研究は、平成17年度A大学学生29名、B大学学生29名、C大学学生10名の養護実習記録をテキスト・マイニング手法を用いて内容分析を行った結果、学生の学びの言語構成が明らかになり、各々の大学の養護実習での学生の学びの特徴を捉えることが出来た。それと同時に3大学に共通の語句が抽出され、養成機関が異なっても養護実習での学生の学びは保証されていると考えられた。また3大学を総合してクラスター解析を行った結果、養護実習で学習する事項が語句として抽出され、学生の学びを客観的に捉えられたと思われる。このことから、本研究で得られた所見は養護実習評価項目を作成する際の参考資料になりうると思われる。また、各大学の学生の意識と特徴を集約することができたことにより、養護教諭養成機関の背景の違いによるカリキュラムの改善の指標として活用できると思われる。  (キーワード) 養護教諭、学校保健学、養護学、健康教育、養護実践、養護活動、養護実習、質的研究
担当科目	(教養科目) 主題別ゼミナール[養護教諭論] (専門科目) 養護活動演習 II, 健康相談活動 I(養教)/健康相談活動 I(健康コース), 養護学概論 I, 養護実践論, 養護活動演習 I, 教職実践演習(養護教諭), 卒

	業研究(教育:4 単位) (大学院科目)養護教諭論特論, 養護学総合研究, 養護教諭論演習
--	--

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

新養護学概論(分担執筆), 養護教諭ハンドブック(分担執筆)

**研究業績(2)学会発表など**

--

**研究業績(3)芸術・体育系の活動**

--

**社会的活動、地域貢献など**

日本養護教諭教育学会 編集委員長(2015 年 4 月～)

日本養護教諭教育学会 編集委員会事務局(2012 年 04 月～2015 年 3 月)

日本養護教諭教育学会 理事(2012 年 04 月～)

日本学校健康相談学会 理事(2010 年 04 月～2016 年 3 月)

日本養護教諭教育学会編集委員会・編集委員会事務局(2012 年 04 月～2015 年 3 月)

日本養護教諭教育学会編集委員会・編集委員(2006 年 04 月～)

「事例提供者の期待に応える事例検討のありかたについて」(共同研究): (2012 年 10 月～2013 年 09 月)

出前授業[茨城県立中央高等学校](2013 年 11 月～), 出前授業[茨城県立水戸第三高等学校](2012 年 12 月～), 出前授業[福島県立いわき光洋高等学校](2012 年 10 月～), 出前授業[茨城県立水戸第二高等学校](2012 年 10 月～), 出前授業[茨城県立日立北高等学校](2012 年 07 月～), 出前授業[茨城県立水戸第三高等学校](2011 年 12 月～), 出前授業[福島県立いわき光洋高等学校](2011 年 11 月～), 出前授業[大成女子高等学校](2011 年 06 月～)

養護教諭養成課程	氏名 瀧澤 利行
----------	----------

**教員履歴など**

現職	教授
生年月	1962年9月
学歴・職歴	東京大学教育学研究科博士課程修了(1992年) 茨城大学教育学部教授(2002年04月～) 日本学術振興会特別研究委員(1990年04月～1992年03月) 茨城大学教育学部助手(1995年04月～1996年03月) 茨城大学教育学部助教授(1996年04月～2002年03月)
学位	博士(医学)[大阪大学]
受賞歴	第12回日本医史学会学術奨励賞(2006年), 日本公衆衛生学会奨励賞(1999年), 明治生命厚生事業団「健康文化」懸賞論文優秀賞(1994年)
所属学会	日本医史学会, 日本衛生学会, 日本教育学会, 日本公衆衛生学会, 日本生活指導学会, 日本学校保健学会, 日本健康教育学会, 日本在宅ケア学会, 日本教育保健学会, 日本高齢者虐待防止学会
専門分野	健康教育学 健康思想史 健康文化論
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(専門科目)保健福祉論, 精神保健/メンタルヘルス, 公衆衛生学, 衛生学, 学校保健概論(養護教諭), 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)教育保健経営特論, 養護学総合研究, 教育保健経営演習, 特別課題研究

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

<p>瀧澤利行「ストレス社会を生き延びるケアの文化が示す知恵」, 人間会議, , 30, 2014.</p> <p>瀧澤利行、七木田文彦、竹下智美「雑誌「養護」の時代と世界 ―学校の中で学校看護婦はどう生きたか」, 大空社, 1-3,5-41,43-66,67-102,225-231, 2015.</p> <p>島菌進・高埜利彦・林淳・若尾政希編『「シリーズ日本人と宗教 3 生と死」』, 春秋社, 169-199, 2015.</p>
---

**社会的活動、地域貢献など**

<p>日本高齢者虐待防止学会 理事(2011年07月～)</p> <p>日本医史学会 代議員(2011年06月～)</p>
---

日本教育保健学会 副理事長(2011 年 04 月～2014 年 3 月)  
 日本生活指導学会 会計監査(2010 年 09 月～2013 年 8 月)  
 日本衛生学会 倫理委員会委員(2008 年 04 月～2011 年 3 月)  
 日本在宅ケア学会 倫理委員長(2007 年 03 月～)  
 日本教育保健学会 理事(2002 年 03 月～)  
 日本在宅ケア学会 理事(2001 年 03 月～)  
 日本衛生学会 評議員(2000 年 03 月～)  
 日本医史学会 評議員(1999 年 05 月～)  
 日本学校保健学会 理事(1998 年 11 月～)  
 日本健康教育学会 評議員(1996 年 06 月～)

[兼業]放送大学[客員教授](2004 年 04 月～2015 年 9 月)  
 [兼業]国立大学法人お茶の水女子大学非常勤講師(2006 年 04 月～)  
 [兼業]東洋大学大学院非常勤講師(2009 年 04 月～)  
 [兼業]慶応義塾大学非常勤講師(1999 年 04 月～)  
 [兼業]國學院大學非常勤講師(1993 年 04 月～)  
 [兼業]東京都中央区協働推進会議会長(2005 年 06 月～)  
 [兼業]茨城県高齢者権利擁護推進委員会委員長(2005 年 04 月～)  
 [兼業]東京都練馬区協働推進会議副座長(2010 年 04 月～)

### 科学研究費補助金などの受領

2014 年～ 挑戦的萌芽的研究「iPS 細胞を用いた次世代再生医療の実現と国民の意識基盤作りに向けた保健教育の考案」(研究課題番号:26560377)

養護教諭養成課程	氏名 古池 雄治
----------	----------

### 教員履歴など

現職	教授
生年月	1963 年 12 月
学歴・職歴	防衛庁 防衛医科大学校医学研究科博士課程修了(2001 年 10 月)
学位	医学博士[学位授与機構]
受賞歴	なし
所属学会	日本糖尿病学会, 日本小児内分泌学会, 日本小児科学会
専門分野	小児科学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(専門科目)母性・小児系臨床医学・看護学, 感覚器系臨床医学・看護学, 臨床医学概論, 精神医学, 内科系臨床医学・看護学, 外科系臨床医学・看護学, 卒業研究(教育:4 単位), 臨床医学・看護学臨床実習 (大学院科目)教育保健医学特論, 教育保健医学演習

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>Matsui S, Kanemura T, Yokouchi Y, Kamiichi H, Kiriu N, Koike Y., "Successful treatment of ileocolic intussusception with air enema reduction in an adult patient", Am J Emerg Med, 32, 490. e1-3, 2014.</p> <p>Koike Y, Yokouchi Y, Chiba Y., "Butterfly rash mimicking sunburn erythema", Dermatology Aspects, 2, 1-2, 2014.</p> <p>Yokouchi Y, Katsumori H, Shirakawa S, Fujiwara M, Kashima K, Kozawa R, Koike Y., "Protective effects of influenza A (H1N1) pandemic 2009 vaccination against the onset of influenza-like illness and asthma exacerbation in Japanese children", J Asthma, 51, 8, 825-831, 2014.</p> <p>青木奈穂・横内裕佳子・古池雄治・千葉由幸「重症化した Kaposi 水痘様発疹症の 12 歳男児例」, 小児科臨床, 67, 2, 243-247, 2014.</p> <p>古池雄治「特集 小児科外来で診る頭部症状 頭部外傷」, 東京小児科医会報, 33, 1, 4-8, 2014.</p>
--

### 社会的活動、地域貢献など

日本小児内分泌学会 評議員(2012 年～)

International Journal of Pediatrics and Neonatal Care Review Board (2014～)

養護教諭養成課程	氏名 廣原 紀恵
----------	----------

**教員履歴など**

現 職	准教授
生年月	1957 年 6 月
学歴・職歴	茨城大学大学院教育学研究科修士課程修了(2000 年 03 月) 茨城大学教育学部(2011 年 04 月～) 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部保健科学部門看護学講座(2008 年 04 月～2011 年 03 月)
学位	教育学修士[茨城大学]
受賞歴	発育発達学会 優秀研究論文賞(発育発達学会)(2010 年 03 月 27 日), 日本公衆衛生学会 優秀演題賞((日本公衆衛生学会))(2009 年 10 月 20 日)
所属学会	学校健康相談研究学会, 日本発育発達学会, 日本人類学会, 日本小児保健学会, 中国・四国小児保健学会, 中国・四国学校保健学会, 日本公衆衛生学会, 日本養護教諭教育学会, 日本看護研究学会, 日本教育カウンセリング学会, 日本思春期学会, 日本学校保健学会
専門分野	学校看護学 学校保健 健康教育
教育研究概要	(キーワード)身長 体重 発育発達 学校看護
担当科目	(教養科目)身体・行動系科目[学校保健と健康教育] (専門科目)学校看護学実習, 学校看護学概論, 学校救急看護, 学校救急看護実習, 学校救急看護演習 I, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)学校救急看護学特論, 養護学総合研究, 学校救急看護学演習

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

<p>新谷敦子 廣原紀恵「学校管理下における教職員の救急処置に関する研究 ―養護教諭不在時の学校救急体制と教職員の救急処置の知識に焦点をあてて―」, 茨城大学教育学部紀要, 64, 205-220, 2015.</p> <p>大久保香梨 窪田美也子 廣原紀恵「にのいの嗜好に関する実態調査」, 茨城大学教育学部紀要, 64, 221-236, 2015.</p> <p>金山時恵 郷木義子 森宏樹 廣原紀恵 棟方百熊「学校保健と地域との連携に関する研究(2) ―医師会員が養護教諭に期待する内容―」, 就実教育実践研究, , 8, 51-58, 2015.</p> <p>松坂晃 廣原紀恵 上地勝「日本人小児の肥満および痩身傾向出現率の年次推移」, 茨城大学教育学部紀要(教育総合)増刊号, , 481-486, 2014.</p>
--

郷木義子 廣原紀恵 森宏樹「大学生の予防接種行動と生活習慣との関連」, 茨城大学教育実践研究, 33, 123-133, 2014.

廣原紀恵 齊藤ふくみ「ロールプレイから見た養護教諭養成課程の大学生の救急処置の問題点」, 茨城大学教育学部紀要(教育総合)増刊号, , 373-378, 2014.

廣原紀恵 棟方百熊 奥田紀久子 郷木義子「小学生における家族の喫煙習慣に対する考えと将来の喫煙行動の予測との関連」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), , 63, 195-204, 2014.

廣原紀恵 笠原夕莉「女子大学生の子宮頸がん・ヒトパピローマウイルス(HPV)に関する理解度と検診・ワクチン接種の実態について」, インターナショナル Nursing Care Research 13, 4, 13-23, 2014.

石舟博子 郷木義子 廣原紀恵「通常学級に在籍する発達障害児への学校健康診断における配慮—養護教諭を対象とした調査より—」, 小児保健研究, 73, 5, 712-720, 2014.

廣原紀恵 笠原友莉 郷木義子 「女子大学生の生活習慣と予防接種等の予防行動の実態」, インターナショナル Nursing Care Research , 13, 2, 73-82, 2014.

## 研究業績(2)学会発表など

湯原裕子 齊藤ふくみ 松坂晃 廣原紀恵,「保健室頻回来室児童への養護活動(第2報)」(第11回学校健康相談学会・2015年03月)

石原研治 石津美阿里 一宮飛鳥 稲見真美 橋本朋美 湯原理恵 廣原紀恵 八代嘉美 瀧澤利行,「中・高・大学生のiPS細胞と再生医療に対する関心」(第14回日本再生医療学会(横浜)・2015年03月)

石津美阿里 廣原紀恵 石原研治 瀧澤利行,「医療従事者のiPS細胞と再生医療に対する関心・理解に関する質問紙調査」(第14回日本再生医療学会(横浜)・2015年03月)

湯原裕子 齊藤ふくみ 松坂晃 廣原紀恵,「保健室頻回来室児童への養護活動(第一報)「頻回」の用語の定義に関する文献検索を通して」(第61回日本学校保健学会学術集会・2014年11月)

後藤加奈 廣原紀恵,「相談場面において望まれる言葉かけと態度」(第61回日本学校保健学会学術集会・2014年11月)

石津美阿里 石原研治 瀧澤利行 廣原紀恵,「中・高・大学生のiPS細胞・再生医療に関する知識・関心及び理解」(第61回日本学校保健学会学術集会・2014年11月)

奥田紀久子 郷木義子 廣原紀恵 棟方百熊,「高校生における喫煙防止教育内容への関心の実態と背景」(第61回日本学校保健学会学術集会・2014年11月)

湯原裕子 廣原紀恵,「保健室における効果的な保健指導の在り方 日常の救急処理場面における対応の振り返り方から」(第61回日本学校保健学会学術集会・2014年11月)

窪田美也子 瀧澤利行 松坂晃 廣原紀恵,「地域で取り組む学校保健活動の推進要因」(第61回日本学校保健学会学術集会・2014年11月)

郷木義子 廣原紀恵 金山時恵 棟方百熊 森宏樹,「学校保健と地域との連携に関する研究(1)医師会会員を対象とした調査より」(第61回日本学校保健学会学術集会・2014年11月)

石津美阿里 石原研治 瀧澤利行 廣原紀恵, 「中学生・高校生・大学生の iPS 細胞・再生医療に関する知識・関心及び理解」(第 61 回日本学校保健学会学術集会・2014 年 11 月)  
〈企画・運営〉 iPS 細胞と再生医療の現状とその未来公開シンポジウム(2014 年 12 月)

### 社会的活動、地域貢献など

日本養護教諭教育学会 編集委員(2012 年 05 月～)  
日本小児保健学会 代議員(2012 年 05 月～)  
[非常勤講師]常磐短期大学(2012 年 04 月～)  
[茨城小児保健協会 事務局](2012 年 04 月～), 茨城教育研究連盟研究集会において、指導助言を行う[茨城県教育研究連盟](2011 年 10 月～), [日本教育大学協会全国養護教諭部門研究委員会 研究委員](2011 年 04 月～)

### 科学研究費補助金などの受領

「iPS 細胞を用いた次世代再生医療の実現と国民の意識基盤作りに向けた保健教育の考察」[科研費](分担)(2014 年 04 月～2016 年)  
「徳島県における小中学生を対象とした防煙教育プログラムの有効性に関する縦断的検証」[科研費]基盤研究(C)一般(分担)(2011 年 04 月～2015 年 03 月)

養護教諭養成課程	氏名 青柳 直子
----------	----------

**教員履歴など**

現 職	准教授
生年月	
学歴・職歴	東京学芸大学 教育学部 東京大学大学院 教育学研究科 公益財団法人 労働科学研究所 浜松学院大学短期大学部幼児教育科 専任講師 浜松学院大学短期大学部幼児教育科 准教授 茨城大学教育学部養護教諭養成課程 准教授
学位	博士(教育学)[東京大学]
受賞歴	
所属学会	日本時間生物学会, 日本学校保健学会, 日本小児保健学会, 日本健康教育学会, 日本衛生学会, 日本公衆衛生学会, 日本産業衛生学会, 日本発育発達学会, 日本思春期学会, 日本ストレス学会, 日本幼児体育学会, 産業疲労研究会, 日本疲労学会
専門分野	時間生物学 応用健康科学
教育研究概要	(キーワード) 生体リズム、心身機能評価
担当科目	(教養科目) 身体・行動系科目 [ライフスタイルと健康] [ことばの力実践演習] (専門科目) 小児・思春期保健学, 保健学演習, 保健科内容研究 I/保健科教育内容研究 I, 保健科教育法研究/保健体育科教育法研究 III, 保健科教育法演習, 体育科内容研究, 卒業研究 (大学院科目) ヘルスプロモーション論特論, ヘルスプロモーション論演習, 養護学総合研究

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

高等学校における保健学習の現状と課題. 茨城大学教育実践研究, 34, 123-130, 2015
---

**研究業績(2)学会発表など**

「中学生の朝の部活動と学校生活・生活習慣との関連」(日本学校保健学会第 62 回学術大会・2015 年 11 月)
---

「児童を対象とした集団への保健指導によるセルフエフィカシーの向上」(日本学校保健学会第 62 回学術大会・2015 年 11 月)

「大学生における性別違和及び性的指向に関する調査研究」(日本学校保健学会第 62 回学術大会・2015 年 11 月)

「日常的相談場面における「言葉」-親密度の違いによる-」(日本学校保健学会第 62 回学術大会・2015 年 11 月)

### 社会的活動、地域貢献など

日本時間生物学会 評議員(2010 年～)

茨城県小児保健協会 理事(2013 年 04 月～)

日本小児保健学会 代議員(2014 年～)

2015 年度(公財)日本学校保健会「学校保健委員会に関する調査委員会」 委員

2015 年度千葉県学校保健研修会 講師

2015 年度茨城県新規採用養護教諭研修講座 講師

2015 年度茨城県 10 年経験者研修講座(養護教諭・新栄養教諭) 講師

2015 年度茨城大学教員免許状更新講習(幼稚園教諭) 講師

### 科学研究費補助金などの受領

平成 27 年度 教育学部研究費特別配分

平成 27 年度 教育学部実践センター・学部附属連携研究補助金

養護教諭養成課程	氏名 石原 研治
----------	----------

**教員履歴など**

現 職	准教授
生年月	1971 年 5 月
学歴・職歴	東北大学薬学研究科博士後期課程修了(2000 年 03 月) 茨城大学 教育学部 養護教諭養成課程 准教授(2009 年 04 月～) 東北大学 大学院薬学研究科 助手(1999 年 04 月～2007 年 03 月) 東北大学 大学院薬学研究科 助教(2007 年 04 月～2008 年 03 月) 東北大学 大学院工学研究科 助教(2008 年 04 月～2009 年 03 月)
学位	博士(薬学)[東北大学]
受賞歴	財団法人 東北開発記念財団 海外(国際学会)派遣(2005 年), 財団法人 薬学研究奨励財団 海外(国際学会)派遣(2005 年), (2004 年)
所属学会	日本学校保健学会, International Eosinophil Society, アレルギー・好酸球研究会, 日本薬学会, 日本アレルギー学会
専門分野	膠原病・アレルギー・感染症内科学 耳鼻咽喉科学
教育研究概要	(キーワード)アレルギー 好酸球 気管支喘息 ニッケルアレルギー 聴覚 難聴
担当科目	(教養科目)身体・行動系科目[アレルギーを知ろう] (専門科目)解剖生理学, 免疫学 I, 薬理学, 解剖生理学演習, 免疫学 II, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)学校安全特論, 養護学総合研究, 学校安全演習

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

Ishihara K. "Chapter 5 Eosinophil Cell Lines" Garry M. Walsh (ed.) <i>Eosinophils Methods and Protocols</i> (Humana Press) pp.45-51. 2014. 7
--

**研究業績(2)学会発表など**

石原研治, 石津美阿里, 一宮飛鳥, 稲見真美, 橋本朋美, 湯澤理恵, 廣原紀恵, 八代嘉美, 瀧澤利行, 「中・高・大学生の iPS 細胞と再生医療に対する関心」(第 14 回日本再生医療学会総会・2015 年 03 月)
石津美阿里, 廣原紀恵, 石原研治, 瀧澤利行, 「医療従事者の iPS 細胞と再生医療に対する関心・理解に関する質問紙調査」(第 14 回日本再生医療学会総会・2015 年 03 月)

石津美阿里, 石原研治, 瀧澤利行, 廣原紀恵, 「中学生・高校生・大学生の iPS 細胞・再生医療に関する知識・関心・理解」(第 61 回日本学校保健学会・2014 年 11 月)

### **社会的活動、地域貢献など**

[非常勤講師]東京学芸大学[非常勤講師](2011 年 10 月～)

### **科学研究費補助金などの受領**

挑戦的萌芽研究「iPS 細胞を用いた次世代再生医療の実現と国民の意識基盤作りに向けた保健教育の考案」(分担)

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 村野井 均
------------------	----------

**教員履歴など**

現 職	教 授
生年月	1953 年 12 月
学歴・職歴	筑波大学心理学研究科博士課程単位取得満期退学(1984 年) 国立大学法人茨城大学教育学部 教授(2005 年 10 月～) 国立大学法人福井大学教育地域科学部 助教授(2004 年 04 月～2004 年 12 月) 弘前学院大学一般教育部 講師(1984 年 04 月～1987 年 03 月) 弘前学院大学一般教育部 助教授(1987 年 04 月～1988 年 03 月) 福井大学教育学部 助教授(1988 年 04 月～1999 年 03 月) 福井大学教育地域科学部 助教授(1999 年 04 月～2004 年 03 月) 国立大学法人福井大学教育地域科学部 教授(2005 年 01 月～2005 年 09 月) 茨城大学教育学部附属教育実践総合センター長(2010 年 04 月～2012 年 03 月) 茨城大学教育学部附属小学校長(2012 年 04 月～2015 年 03 月)
学位	教育学修士[筑波大学]
受賞歴	福井大学 IT 優秀アイデア賞(2002 年), 福井大学 IT 優秀アイデア賞(2001 年)
所属学会	日本教育メディア学会, 日本教育工学会, 日本発達心理学会, 日本教育心理学会, 日本心理学会
専門分野	発達心理学 教育心理学 教育工学 社会心理学
教育研究概要	子どものテレビ理解 (ストーリー理解、映像文法の理解、放送技術の理解) 児童・生徒による映像制作 子どもの作った映像作品を学校と協力して放送する試みと学校への信頼感 (キーワード)メディア・リテラシー テレビ 映像制作 学校と地域の連携 放送
担当科目	(専門科目)発達心理学, 発達の理解 II/発達の理解B, 発達心理学特講, 幼児理解の理論と方法, 幼児心理学, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)発達心理学特論, 発達心理学演習, 特別課題研究

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

<p>村野井均「高齢者のテレビ理解に関する試論」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), , 64, 237-245, 2015.</p> <p>芝田成輝・村野井均「高校生を対象としたケータイ小説における読み手の検証」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), , 64, 247-257, 2015.</p> <p>村野井均「子どものテレビ視聴能力の発達—画面の3次元変換と教育—」, 茨城大学教育学部紀要</p>
---

(教育総合), , 増刊号, 379 ? 388, 2014.

伊藤いちこ・村野井均・芝田成輝「SNS 上に存在する愚痴のメガデータ分析」, 茨城大学教育学部紀要(教育総合), , 増刊号, 389-406, 2014.

村野井均・李鐘彬, 諸外国のICT教育の現状－韓国からの報告－「CT教育の理論と実践」, 第 6 章, 青簡舎, 96-117, 2015.

## 社会的活動、地域貢献など

日本教育メディア学会 研究委員会委員(2003 年 10 月～)

日本教育メディア学会 常任理事(2006 年 10 月～)

日本教育メディア学会 編集委員会委員(2006 年 10 月～)

[出前授業]テレビ理解の心理学, 福島県立磐城桜が丘高等学校(2014 年度実施)

旧水戸城大手門等復元整備促進実行委員会(2014 年度)

茨城県教育研究連盟(2014 年度)

弘道館・水戸城周辺地区の歴史まちづくりに向けた関係機関連絡会議(2014 年度)

平成 26 年度茨城県教科用図書選定審議会(2014 年度)

茨城県教育研究会(2014 年度)

一般財団法人 茨城県教育センター評議員会(2014 年度)

茨城県教育会(2014 年度)

「テレビと幼児のかかわり 家庭視聴と集団視聴(幼稚園・保育所)」(受託研究): NHK 番組 制作局 財団法人日本放送教育協会(2004 年～2005 年 03 月)

「幼児教育番組とメディアリテラシー」(受託研究): 2003 年度 NHK 番組制作局からの受託研究 (財) 日本放送教育協会(2003 年～2004 年 04 月)

[兼業]NHK 放送文化研究所[「放送研究と調査」Reviewer](2010 年 04 月～2015 年 03 月)

[出前授業]茨城県立 伊奈高等学校[講師](2009 年 11 月)

[非常勤講師]福島県立 白河高等学校[講師](2009 年 10 月)

[非常勤講師]茨城県立 石岡高等学校[講師](2009 年 10 月)

[出前授業]学校法人尚志学園 尚志高等学校(福島県郡山市)[講師](2009 年 10 月)

[出前授業]青森県青森東高等学校[講師](2007 年 11 月)

[その他]水戸市教育委員会[講師](2007 年 03 月)

ディベート審査委員[茨城県立清松高等学校](2010 年 03 月)

## 海外出張・海外研修・内地研修など

韓国 ソウル・高麗大学校、漢陽大学校[学会参加、視察](2014 年 8 月:4 日間)

### 科学研究費補助金などの受領

「教員養成教育における電子黒板・デジタル教科書を活用した教育方法に関する実践的研究」[科研費]萌芽研究(分担)(2012年04月01日～2015年03月31日)

学校教育教員養成課程(学校教育)

氏名 望月 厚志

## 教員履歴など

現職	教授
生年月	1953 年 12 月
学歴・職歴	立教大学文学研究科博士課程単位取得満期退学(1987 年) 茨城大学教育学部教授(2005 年 04 月～) 川村学園女子大学教育学部社会教育学科教授(2001 年 10 月～2003 年 03 月) 川村学園女子大学教育学部社会教育学科専任講師(1991 年 04 月～1995 年 03 月) 川村学園女子大学教育学部社会教育学科助教授(1995 年 04 月～2001 年 09 月) 常葉学園大学教育学部生涯学習学科教授(2003 年 04 月～2005 年 03 月)
学位	文学修士[立教大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本生涯教育学会, 日本教師教育学会, 日本教育社会学会, 日本教育制度学会, 日本教育学会, 関東教育学会, 日本キャリアデザイン学会, 日本キャリア教育学会
専門分野	生涯学習, 社会教育, 教師教育 教育学
教育研究概要	<p>・教育活動</p> <p>1. 授業関係</p> <p>学部:教育実践と教師, 社会教育演習, 社会教育実習, 生涯学習論, 社会教育, 総合演習, 主題別ゼミナール, 卒業研究(卒業論文)指導, 教育実習指導, 総合科目(人間と社会), 担当。</p> <p>大学院:生涯教育論特論, 生涯教育論演習, 学校教育総合研究, 特別課題研究(修士論文)指導, 担当。</p> <p>2. 学生指導</p> <p>2005 年度入学生学年担任, 委託生指導, 全学就職センター相談員。</p> <p>3. 学外関係</p> <p>社会教育主事講習(文部科学省), 栄養教諭認定講習(茨城県教育委員会), 10 年経験者研修講座(茨城県教育研修センター), 社会教育基礎講習(茨城県教育委員会・茨城大学), 茨城県教育研究連盟研究集会(茨城県教育研究連盟), 高校での大学模擬授業, 担当。</p>

	<p>・ 研究活動</p> <p>「教師の生涯学習に関する調査研究」(研究業績一覧を参照)。</p> <p>「教師のキャリア・デザイン」及び「キャリア教育」の研究。</p> <p>「学校評議員」制度の機能確立のための地域・学校連携システムの開発(科学研究費補助金研究)の研究。</p>
	(キーワード)
担当科目	<p>(教養科目)人間・文化系科目[現代社会の職業と教育], 主題別ゼミナール[教育学入門]</p> <p>(専門科目)教育実践と教師(教職共通)/教育実践と教師[人環用教職], 教育実践と教師(教職共通), 教師のキャリア・デザイン, 社会教育演習, 生涯学習概論, 生涯学習概論《学芸員:要件外》, 生涯学習論(教職共通)/生涯学習論(情報・人間), 社会教育実習, 生涯学習論(情報・人間), 卒業研究(教育:4単位)</p> <p>(大学院科目)生涯教育論特論, 実践的キャリアデザイン論, 生涯教育論演習</p>

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 小川 哲哉
------------------	----------

**教員履歴など**

現職	教授
生年月	1958年2月
学歴・職歴	広島大学大学院 教育学研究科博士後期課程修了(2005年03月) 茨城大学教育学部 教授(2010年04月～) 九州産業大学 講師(1988年10月～1992年03月) 広島大学教育学部助手(1987年04月～1988年03月) 九州産業大学 助教授(1992年04月～2001年03月) 九州産業大学 教授(2001年04月～2004年03月) 九州産業大学大学院 教授(2004年04月～2010年03月)
学位	博士(教育学)[広島大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本ペスタロッチャー・フレーベル学会, 教育哲学会, 日本教育学会, 日本道德教育学会, 日本道德教育方法学会
専門分野	教育学、教育哲学、道德教育学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)人間・文化系科目[現代教育の諸問題] (専門科目)教育の本質と理念(教職共通)/教育の本質と理念[人環用教職], 教育哲学特講, 教育史演習 I, 教育の本質と理念(教職共通), 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)教育原論特論, 教育原論演習, 特別課題研究

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

<p>石井純一, 小川哲哉「討論活動を通じた道德教育の可能性」, 茨城大学教育実践研究, 33, 147-157, 2014.</p> <p>小川哲哉, 渡邊英一, 渡邊哲郎「公共性を考える道德授業実践—高校道德の事例から—」, 茨城大学教育実践研究, 33, 135-145, 2014.</p> <p>『『ICT教育の理論と実践』』, 青簡舎, 3-11, 57-92, 2015.</p> <p>『『主体的な&lt;学び&gt;の理論と実践—「自律」と「自律」を目指す教育—』』, 青簡舎, 1-197, 2014.</p>
---

**研究業績(2)学会発表など**

小川哲哉、石井純一、「公共性を考える道德教育実践」(日本道德教育方法学会第 20 回大会・2014 年 06 月)

〈パネリスト〉 茨城大学社会連携センター発足記念シンポジウム(事例報告者とパネリスト)(2014 年 05 月)

**社会的活動、地域貢献など**

日本道德教育方法学会 理事(2013 年 09 月～)

日本ペスタロッチー・フレーベル学会 理事(2012 年～2015 年)

**科学研究費補助金などの受領**

「教員養成教育における電子黒板・デジタル教科書を活用した教育方法に関する実践的研究」[科研費]萌芽研究(代表)(2012 年 04 月 01 日～2015 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 生越 達
------------------	---------

### 教員履歴など

現職	教授
生年月	1960年1月
学歴・職歴	東京大学教育学研究科博士課程(1992年) 茨城大学教育学部教授(2004年04月～)
学位	教育学修士
受賞歴	なし
所属学会	日本生活指導学会, 社会臨床学会, 日本人間性心理学会, 日本教育方法学会, 日本教育学会
専門分野	
教育研究概要	(キーワード)教育方法、生活指導、教育相談、子ども論、現象学的研究、人間性心理学、授業研究、不登校、子どもの「問題行動」
担当科目	(専門科目)教育臨床の視点から実践をみる, 生活指導の方法, 教育的関係論特講, 生活指導の方法, 教育的関係論演習, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)教育方法学特論, 教育方法学演習, 特別課題研究

### 社会的活動、地域貢献など

[出前授業]水海道第一高等学校(2007年11月～)
[出前授業]中央高等学校(2007年10月～)
[出前授業]牛久栄進高等学校(2007年10月～)
[出前授業]日立第一高等学校(2007年10月～)
[出前授業]福島県立磐城桜ヶ丘高等学校(2007年07月～)
[非常勤講師]看護協会 教育原理(2007年07月～)
[出前授業]鉾田第一高等学校(2007年07月～)
[公開講座]実践心理教育相談講座(初級)(2007年05月～)
[出前授業]茨城県土浦湖北高等学校(2006年11月～)
[出前授業]茨城県下館第一高等学校(2006年10月～)
[出前授業]茨城県土浦第二高等学校(2006年08月～)
[出前授業]福島県立磐城桜ヶ丘高等学校(2006年07月～)
[出前授業]茨城県総和高等学校(2006年07月～)
[公開講座]実践心理教育相談講座(2006年05月～)

[兼業]NPO 法人すだち理事(2006 年 04 月～)

[公開講座]実践心理教育相談講座(2005 年 09 月～)

[その他]水戸市立第五中学校学校評議員(2004 年 04 月～)

[その他]茨城県カウンセリングアドバイザー(2002 年 04 月～)

[兼業]茨城県スクールカウンセラー(1996 年 04 月～)

[NPO 法人すだち](年度不詳), [茨城県カウンセリングアドバイザー](年度不詳), [茨城県青少年  
アドバイザー](年度不詳), [いわき市](年度不詳), [東海村](年度不詳), [大子町](年度不詳)

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 佐藤 環
------------------	---------

**教員履歴など**

現 職	教 授
生年月	1960 年 4 月
学歴・職歴	広島大学教育学研究科博士後期課程単位取得満期退学(1995 年 03 月) 岡山女子短期大学(現岡山短期大学)幼児教育学科・専任講師(1995 年～1998 年) 岡山女子短期大学(現岡山短期大学)幼児教育学科・助教授(1998 年～2001 年) 常磐大学人間科学部・助教授 准教授(2001 年～2010 年) 常磐大学人間科学部・教授(2010 年～2012 年) 茨城大学教育学部・教授(2012 年～)
学位	修士(教育学)[広島大学]
受賞歴	なし
所属学会	中等教育史学会, 日本教育史研究会, 日本教育史学会, 全国地方教育史学会, 日本教育学会, 教育史学会
専門分野	教育学 日本教育史
教育研究概要	(キーワード)藩校教育史, 武芸, 弓術, 試験制度, 近代中等教育史
担当科目	(教養科目)人間・文化系科目[学校での教育を考える] (専門科目)学校教育課程論, 教育史特講, 幼児教育課程論, 学校と教育の歴史, 教育史演習 II, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)学校教育総合研究, 近代学校教育史特論, 近代学校教育史演習

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

<p>佐藤環「学制改革までの茨城県女子中等学校の展開」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), , 64, 279-293, 2015.</p> <p>佐藤環「戦前期における高等女学校教育への弓道導入 ―東京府立第八高等女学校を事例として―」, 茨城大学教育学部紀要(教育総合)(増刊号), , 407-416, 2014.</p> <p>佐藤環「水戸地域の文化財を用いた学校外学習の実践」, 茨城大学大学教育センター紀要, , 4, 59-68, 2014.</p> <p>佐藤環「書評 神辺靖光著『明治前期中学校形成史 府県別 環瀬戸内海』」, 地方教育史研究, , 35, 17-20, 2014.</p>
---

## 社会的活動、地域貢献など

全国地方教育史学会・事務局長(2012年06月～)  
全国地方教育史学会・常任幹事(2011年05月～)  
中等教育史研究会・(2006年05月～)  
日本教育史研究会・(1996年04月～)  
日本教育史学会・(1994年04月～)  
全国地方教育史学会・会員(1994年02月～)  
日本教育学会・(1992年12月～)  
教育史学会・(1990年04月～)  
茨城キリスト教大学 非常勤講師(2014年04月)  
[非常勤講師]茨城キリスト教大学[非常勤講師](2014年04月～)  
[非常勤講師]常磐大学[非常勤講師](2012年04月～2015年03月)  
[茨城県弓道連盟代議員 堀原支部](2009年04月～2015年03月)

## 科学研究費補助金などの受領

「中等学校教育課程における武術導入に関する研究 一戦前期の弓道を中心として」[科研費]基盤研究(C)一般(代表)(2013年04月01日～2017年03月31日)

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 三輪 壽二
------------------	----------

**教員履歴など**

現職	教授
生年月	1961年10月
学歴・職歴	千葉大学教育学研究科修士課程修了(1991年)
学位	修士(教育学)[千葉大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本学校健康相談学会, 日本カウンセリング学会, 日本教育心理学会, 日本社会臨床学会
専門分野	教育相談、臨床心理学、社会臨床論
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)人間と心[心理学から見る人間理解] (専門科目)学校教育相談, 心理臨床援助法実習 I, 心理臨床検査法演習, 学校教育相談, 心理臨床援助法実習 II, 人格心理学, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)教育臨床心理特論, 臨床家族心理学特論

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

三輪壽二・小林英二・渡部玲二郎「小・中学校におけるいじめ対策に関する研究の現状と展望～発達の視点から～」, 茨城大学教育学部紀要, , 63, 341-353, 2014.

**研究業績(2)学会発表など**

学会総会シンポジスト「「終末期医療」「尊厳死」「介護保険制度」に対するこれまでの社臨の論点を踏まえて考える」, 日本社会臨床学会第23回総会シンポジウムⅡ「超高齢社会」の福祉と医療を考える、2015.5.24

**社会的活動、地域貢献など**

[茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]教員免許更新講習(2015年度実施)  
[その他]不登校の早期発見のポイントと対応, ひたちなか市教育委員会(2014年度実施)  
[出前授業]心の科学の源流, 茨城大学・茨城県教育委員会(2014年度実施)  
[その他]教育相談事例研修会, 茨城県教育研修センター(2015年度実施)  
[その他]いろいろな不登校のタイプとその対応, 日立市金沢小学校(2014年度実施)  
[自治体での社会教育]わが子と歩む親の会, 水戸市教育委員会(2015年度実施)  
[その他]水戸市教育相談事例研修会, 水戸市教育委員会(2011年度～)

日本教職員組合養護教員部研修会(2013 年度～)[兼業]放送大学茨城学習センター[客員教員]  
(2011 年 04 月～)  
[兼業]茨城県教育委員会[スクールカウンセラー](2003 年 04 月～)  
[社団法人いはらき思春期保健協会副理事長](2012 年 04 月～), 協会副理事長[社団法人いはら  
き思春期保健協会幹事](2010 年 04 月～), 協会幹事、協会主催講座の講師など[社団法人いはら  
き思春期保健協会](2006 年 04 月～)

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 打越 正貴
------------------	----------

**教員履歴など**

現職	准教授
生年月	1960年9月
学歴・職歴	茨城大学大学院教育学研究科修了
学位	修士(教育学)
学位	
受賞歴	なし
所属学会	日本教育方法学会 教育実践学会 社会科教育開発学会
専門分野	教育方法学
教育研究概要	教育実践に関する研究
	教育実践 授業研究 思考指導 教師教育
担当科目	教育課程演習 教育的関係論演習 教育の方法と技術

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

<p>著書</p> <p>2000年3月(分・単)第2章「総合単元的な道徳学習『3 中学校の実践事例』」41-48,茨城県教育委員会『道徳教育ヒント集』.</p> <p>2003年7月(分・単)6ピオトープ「学校ピオトープで『自然とふれあう環境学習』」208-213,日本児童教育振興財団編,小学館,『環境教育実践マニュアル』.</p> <p>論文</p> <p>2002年7月(単)「自分を大事にすることが相手を大事にすることだよ(小学校)」『道徳教育』2002年7月号,明治図書,73-76.</p> <p>2012年3月(共)打越正貴,神宮司剛,「生徒の地理的認識を育成するための実践的な研究—地理的な見方や考え方を中核とした動態地誌的な学習を通して—」『教育実践学研究』(教育実践学会)第16号,81-87.</p> <p>2013年3月(共)打越正貴,成井紀英,生越達「歴史学習における思考指導についての一考察」『茨城大学教育学部紀要(教育科学)』第62号,433-446.</p> <p>2014年3月(共)打越正貴,窪谷理,生越達「生徒の思考力を促進するための実践的な研究—中学校理科学習におけるICT機器の効果的な活用方法を通して—」『茨城大学教育学部紀要(教育科学)』第63号,313-322.</p>
--

## 研究業績(2)学会発表など

1997 年 10 月 (単)「社会科の授業における単元導入段階に『色と形』の表現活動を生かした学習指導の研究—安土桃山時代を通して—」, 第 32 回茨城県教育研究会主催教育論文, 優良賞.

(概要)茨城県教育研究会『研究紀要』第 35 集、1998 年 3 月, 90.

1998 年 7 月 教育実践学会第 6 回学会大会 パネルディスカッション「これからの学校と授業—自ら学び自ら考える力を育てる授業について」パネリスト(於:茨城大学)

1999 年 10 月 (単)「思考力を育成するための実践的研究」, 第 34 回茨城県教育研究会主催教育論文, 佳作.

1999 年 12 月 (単)「生徒の思考指導に関する実践的研究」(社)茨城県教育会『茨城教育』第 801 号, 44-47.

2000 年 11 月 (共)潮来市立延方小学校「自然と触れ合う環境学習—地域の教育資源の効果的な活用を通して—」, 第 3 回(財)げんでん科学技術振興会応募論文, げんでん大賞.

2001 年 11 月 社会科教育開発学会第 8 回研究集会 実践発表「問題解決能力を育成するための実践的研究」(於:ホテルレイクビュー水戸)

2001 年 6 月 第 39 回教育研究会全国大会「地域や学校の特色に応じた総合的な学習の時間」に関する実践研究発表(於:つくば市立吾妻中学校)

(概要)打越正貴「自ら考え追究する力を育てる実践的な研究」(財)ソニー教育財団・ソニー理科教育振興資金受賞校連盟『平成 13 年度理科教育研究集録 豊かな人間性の育成』vol.39, 2001 年 12 月, 24.

2001 年 12 月(共)潮来市立延方小学校「自然とふれあう環境学習」, 第 10 回全国小中学校環境教育賞応募論文, 小学館, 優秀賞.

(概要)潮来市・延方小学校「自然とふれあう環境学習」『環境教育ガイド』(『総合教育技術』8 月号増刊)2002 年 8 月, 小学館, 24-25.

2001 年 10 月 (共)潮来市立延方小学校「自己の生き方にかかわる『問題解決能力』を育成する総合的な学習の時間の在り方」, 第 36 回茨城県教育研究会主催教育論文, 優良賞.

2002 年 2 月 第 2 回全国学校ビオトープコンクール発表会 実践発表(優秀賞).

(概要)「潮来市立延方小学校」(財)日本生態系協会『第 2 回全国学校ビオトープコンクール報告書』2002 年 3 月, 46-49.

2002 年 9 月 (単)「生き物の『ヒミツ』発見 五感を通して自然と触れ合う授業」『たのしい学校』2002 年 2 学期号, 大日本図書, 22-23.

2003 年 4 月 (単)「イメージを『色と形』で具象化する方略」『道徳教育』2003 年 4 月号, 明治図書, 21-22.

2003 年 10 月(共)「潮来市立延方小学校「自ら考え, 自ら追究する力を育てる実践的な研究—地域の資源を活用し, 共に学び合うことで問題解決能力の育成を目指した総合的な学習の時間の授業改善を通して—」, 第 27 回「教育に関する研究」茨城県教育弘済会応募論文, 最優秀賞.

(概要)潮来市立延方小学校 代表打越正貴 他全職員「自ら考え,自ら追究する力を育てる実践的な研究」茨城県教育委員会・(財)茨城県教育弘済会『第 27 回研究論文集』2004 年 4 月, 1-11.  
2004 年 4 月 (単)「自立した子どもを目指して」『道徳教育』2004 年 4 月号, 明治図書, 22-23.

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 加藤 崇英
------------------	----------

**教員履歴など**

現 職	准教授
生年月	1970 年 11 月
学歴・職歴	山形大学教育学部講師(2002 年～2005 年) 山形大学地域教育文化学部助教授(2005 年～2006 年) 国立教育政策研究所 研究員(2006 年～2007 年) 国立教育政策研究所 主任研究官(2007 年～2009 年) 茨城大学教育学部准教授(2009 年～)
学位	修士(教育学)
受賞歴	なし
所属学会	日本教育事務学会, 日本スクールコンプライアンス学会, 日本教育行政学会, 日本教育経営学会
専門分野	教育学 学校経営 教育行政
教育研究概要	学校組織に関する理論的・実証的研究 学校評価に関する研究 学校規模に応じた学校マネジメントに関する研究 学校経営における業務改善に関する研究 上記、研究課題に関する学校現場・教職員への支援 (キーワード)
担当科目	(教養科目)人間・文化系科目[「開かれた学校」と教育改革] (専門科目)教育の制度と経営, 教育行政特講, 教育の制度と経営, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)学校経営論特論, 学校経営論演習

**社会的活動、地域貢献など**

日本教育経営学会 国際交流推進委員(2012 年～)
日本教育経営学会 研究推進委員(2012 年～)
2009 年から毎年、担当している。(2014 年現在)[JICA 筑波 中南米からの教員研修による本学訪問時における講義](2009 年～)

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 杉本 憲子
------------------	----------

**教員履歴など**

現職	准教授
生年月	1973年7月
学歴・職歴	名古屋大学教育発達科学研究科博士課程単位取得満期退学(2001年)
学位	修士(教育学)[名古屋大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本教育方法学会, 日本生活科・総合的学習教育学会, 中部教育学会, 日本教育学会
専門分野	教育方法学
教育研究概要	(キーワード)教育方法、授業研究
担当科目	(専門科目)生活科内容研究, 教育臨床の視点から実践をみる, 学習指導特講, 学習指導演習, 教育の方法と技術, 生活科教育法研究, 学習指導の方法, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)教授学演習

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

「話し合いの授業にみる子どもの思考の深化に関する一考察：問題とその発展に着目して」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), , 64, 295-307, 2015.

**研究業績(2)学会発表など**

杉本憲子, 「話し合いの授業にみる子どもの思考の深化に関する一考察-問題とその発展に着目して-」(日本教育方法学会第50回大会・2014年10月)

**研究業績(3)芸術・体育系の活動****社会的活動、地域貢献など**

[出前授業]子どもの学びを考える, 茨城キリスト教学園高校(2014年度実施)  
[茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]特別活動の今日的課題と実践, 茨城大学(2014年度実施)  
[茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]教育政策の動向についての理解, 茨城大学(2014年度実施)

### 科学研究費補助金などの受領

「集団思考の深化を図る授業過程の構築に関する理論的・実証的研究」[科研費]若手研究(B)(代表) (2012 年 04 月～)

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 青柳 路子
------------------	----------

### 教員履歴など

現職	准教授
生年月	1975 年 9 月
学歴・職歴	東京大学教育学研究科博士後期課程単位取得満期退学(2004 年 03 月)
学位	修士[東京大学]
受賞歴	なし
所属学会	教育思想史学会, 教育哲学会, 美術教育研究会, 日本教育学会, 日本人間性心理学会, 美術解剖学会, 日本道德教育学会, 道德教育方法学会
専門分野	教育学
教育研究概要	(キーワード) 道德教育、教育哲学、教育人間学
担当科目	(専門科目) 道德と価値の教育、教育哲学、教育思想

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<ul style="list-style-type: none"> <li>・「絵を描くこと いのちを描くこと —『発達』をめぐる—」 東京藝術大学美術教育研究室(編)『美術と教育のあいだ』(東京藝術大学出版会) 269-279 頁. 2011 年</li> <li>・「E.キューブラー＝ロスの思想と死にゆく子どもの問題 —unfinished business を手掛かりにして—」 『東京大学大学院教育学研究科紀要』(東京大学大学院教育学研究科) 第 41 巻, 67-75 頁. 2002 年</li> <li>・「森田正馬における『我が子』の死 —『大正生命主義』を通して—」『研究室紀要』(東京大学大学院教育学研究科 教育学研究室) 第 30 号, 41-49 頁. 2004 年</li> <li>・「E.キューブラー＝ロスの思想とその批判 —シャバンによる批判を手がかりに—(上)」死生学研究編集委員会(編)『死生学研究』(東京大学 21 世紀 COE プログラム「生命の文化・価値をめぐる死生学の構築」・東京大学大学院人文社会系研究科) 2005 年秋号, 277(116)-259(134)頁. 2005 年</li> <li>・「E.キューブラー＝ロスの思想とその批判 —シャバンによる批判を手がかりに—(下)」死生学研究編集委員会(編)『死生学研究』(東京大学 21 世紀 COE プログラム「生命の文化・価値をめぐる死生学の構築」・東京大学大学院人文社会系研究科) 2006 年春号, 399(168) - 371(196)頁. 2006 年</li> <li>・「D.シスルウッド(上野浩道・西村拓生・池亀直子訳)『ハーバート・リードの美学:形なきものと形』 『美術教育研究』(美術教育研究会) 第 12 号, 59-62 頁. 2007 年</li> </ul>
---

- ・〔共著〕「Christoph Wulf 教授講演『芸術の授業—もう一つの教えと学び(Art Instruction: The Other Way of Teaching and learning)』報告書」『東京藝術大学美術学部紀要』(東京藝術大学美術学部)第 47 号, 41-58 頁. 2010 年
- ・「死と修養—闘病記を手がかりに」公益財団法人 野間教育研究所紀要第 51 集『人間形成と修養に関する総合的研究』(公益財団法人 野間教育研究所), 579-635 頁. 2012 年
- ・「障害とアート—美術・福祉・教育を結ぶ—」美術教育研究会『美術教育研究』20 号、19-31 頁,2015 年.

### 研究業績(2)学会発表など

- ・「ユング派の『個性化』概念展開にみるライフサイクルと『死』」,日本教育学会大会(於・東北大学),2006 年.

### 社会的活動、地域貢献など

- 美術教育研究会 委員(2008 年～)
- 美術教育研究会 編集委員(2011 年～)
- 公益財団法人野間教育研究所 「青年の自立と教育文化」研究会・兼任研究員(2013 年 06 月～)

### 科学研究費補助金などの受領

- 「「いのちの教育」における「身体」の位置づけ—歴史的展開からの再考—」[科研費]若手研究(B)(代表)(2014 年 04 月 01 日～2017 年 03 月 31 日)

情報文化課程	氏名 本田 敏明
--------	----------

### 教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1951 年 4 月
学歴・職歴	広島大学教育学研究科博士課程(1981 年)
学位	教育学修士
受賞歴	なし
所属学会	教育システム情報学会, 日本教育工学会, 日本教育方法学会, 情報科教育学会
専門分野	教育工学 情報教育 教育方法学
教育研究概要	(キーワード)教育工学 情報教育 教育方法 教授学 GTA による教師教育
担当科目	(専門科目)情報科教育法Ⅰ・Ⅱ, マルチメディア・コンテンツ制作, 情報リテラシーと情報モラル, 情報教育指導法 (大学院科目)教授学特論

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

本田敏明, 赤間文香, 宇井みずき, 海野詩央里, 佐々木雅実, 會澤瑞季, 「教師の ICT 指導力について - 指導力転移の可能性について -」日本情報科教育学会第 8 回全国大会講演論文集, pp.11-12, 2015.

本田敏明, 赤間文香, 宇井みずき, 海野詩央里, 佐々木雅実, 會澤瑞季, 「教師の ICT 指導力について - 指導力転移の可能性について -」日本情報科教育学会誌, 第 8 号,印刷中 2015.

本田敏明,小野なつみ, 小林朋可 「教員のデジタルデバインドについて-GTA による ICT 指導力向上の試み-」日本情報科教育学会第 7 回全国大会講演論文集, pp.13-14, 2014.

本田敏明「授業における ICT 活用と教育方法学研究-グラウンデッド・セオリー・アプローチを中心に-」日本教育方法学会第 4 9 回全国大会課題研究 1 「教材・教具デジタル化の功罪」 pp.27-28,2014.

本田敏明,小野なつみ, 小林朋可 「教員の ICT スキルに関する質的研究-グラウンデッド・セオリー・アプローチから-」教育システム情報学会第 39 回全国大会講演論文集, pp.23-24, 2014.

本田敏明, 小野なつみ, 小林朋可「教員の ICT スキルの向上」, 茨城大学教育学部紀要増刊号 4 総合, pp.425-426, 2014.

## 研究業績(2)学会発表など

本田敏明, 赤間文香, 宇井みずき, 海野詩央里, 佐々木雅実, 會澤瑞季, 「教師の ICT 指導力について - 指導力転移の可能性について -」(教育システム情報学会第40回全国大会・2015年09月)

本田敏明, 小野なつみ, 小林朋可, 二田隆寛, 前田健人, 「教員の ICT スキルに関する質的研究ーグラウンデッド・セオリー・アプローチからー」(教育システム情報学会第39回全国大会・2014年09月)

## 社会的活動、地域貢献など

日本情報科教育学会 研究委員会・研究委員会委員長、監査(2012年04月～)

教育システム情報学会 情報教育委員会・理事、人材育成委員会委員長(2010年04月～)

## 海外出張・海外研修・内地研修など

韓国 テグ、チェジュ・テグハーニー大学、ロッテチェジュホテル[調査、情報交換](2014年8月～9月:8日間)

ドイツ ルートヴィヒスブルク・ルートヴィヒスブルク教育大学[教師教育における e-ラーニング利用に関する調査、情報収集](2015年2月～3月:23日間)

情報文化課程	氏名 小泉 晋弥
--------	----------

### 教員履歴など

現職	教授
生年月	1953年6月
学歴・職歴	<p>東京芸術大学大学院美術研究科修士課程(1978年)</p> <p>茨城大学教育学部附属中学校長(2011年04月～)</p> <p>愛知県立芸術大学非常勤講師(現在に至る)(2003年04月～)</p> <p>茨城大学教授(現在に至る)(2000年04月～)</p> <p>東京芸術大学美術学部非常勤講師(現在に至る)(1999年04月～)</p> <p>若関酒造株式会社企画部長(1989年10月～1990年03月)</p> <p>若関酒造株式会社(1979年04月～1984年03月)</p> <p>いわき市立美術館学芸員(1984年04月～1989年09月)</p> <p>郡山市教育委員会美術館建設準備室主査兼学芸員(1990年04月～1991年03月)</p> <p>郡山市教育委員会美術館建設準備室主任学芸員(1991年04月～1993年06月)</p> <p>郡山市立美術館主任学芸員(1993年07月～1996年03月)</p> <p>茨城大学教育学部助教授(1996年04月～2000年03月)</p> <p>東北大学文学部非常勤講師(平成14年3月まで)(1997年04月～2002年03月)</p>
学位	修士(芸術学)
受賞歴	なし
所属学会	美術評論家連盟, 文化資源学会, 大学美術教育学会, 美術史学会
専門分野	日本近代美術史 博物館学 美術批評
教育研究概要	<p>五浦時代の岡倉天心および近代彫刻史の研究を行っている。また美術館での鑑賞教育についての実践的, 理論的研究を行うとともに, 現代美術家の作品に対する研究・評論活動を行っている。</p> <p>(キーワード)</p>
担当科目	<p>(教養科目) 主題別ゼミナール[美術教育実践演習]</p> <p>(専門科目) 日本美術史特別演習 I, 表象文化論, 博物館学 III(資料論)/博物館学 III, 日本美術史 I, メディア批評プロジェクト I, 地域活動プロジェクト I, 美術館教育, 日本美術史特別演習 II, 美術批評論, 現代文化批評, 保育内容の研究(表</p>

現), 日本美術史 II, メディア批評プロジェクト II, 地域活動プロジェクト II, 視聴覚教育メディア論, マルチメディア表現の理論及び演習, 動画像処理(初級)a, 動画像処理(初級)b, 視聴覚教育メディア論(表現), 卒業研究(教育:4 単位), 博物館実習 II, 博物館実習 I(校内実習) (大学院科目)日本美術史研究, 日本美術史演習
---

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

「織田廣喜 絵画の力」『パリからのメッセージ』大田澄江(2014 年4月)

### 研究業績(2)学会発表など

<基調講演>「五浦の岡倉天心と『茶の本』の世界 グローバリズムの時代にとっての意味」(講師)(5月14日、茨城県教育会)

### 社会的活動、地域貢献など

[兼業]

北茨城まなびすと[講師](5月11日)

放送大学[講師](6月7、14日)

県北ジオパーク[講師](7月12日)

こども大学常陸[講師](9月27日)

いわき市立美術館[講師](11月23日)

宇都宮市美術館作品等選定委員会[委員]

栃木県立美術館美術品収集委員会[委員]

日立市立郷土博物館美術品等

情報文化課程	氏名 乾 康代
--------	---------

**教員履歴など**

現 職	教 授
生年月	1953 年 10 月
学歴・職歴	大阪市立大学生生活科学研究科博士課程単位取得満期退学(2000 年)
学位	学術博士[大阪市立大学]
受賞歴	なし
所属学会	都市住宅学会, 日本都市計画学会, 日本家政学会, 日本建築学会
専門分野	住居管理 居住地計画
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)生活・福祉系科目[戦後昭和の住まいと暮らし] (専門科目)初等家庭科内容研究, 住居デザイン II, 住環境計画学(教科又は教職)/住環境計画学(生活デザイン), 保育内容の研究(環境), 住居計画学/住居計画学(情報文化課程), 初等家庭科内容研究, 住居環境学/住居環境学(情報文化), 居住地計画演習, 住居デザイン I/設計製図 I(情報文化) (大学院科目)住居学特論, 生活科学総合研究, 住居学演習

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

--

**研究業績(2)学会発表など**

森田 芳郎, 「茨城県の区分所有マンションにおける居住と管理の現状」(日本建築学会大会(近畿)・2014 年 09 月) , 「東日本大震災と原発事故による避難者の類型別にみた避難状況と支援課題」(日本建築学会大会(近畿)・2014 年 09 月)
---

**研究業績(3)芸術・体育系の活動**

--

**社会的活動、地域貢献など**

日本建築学会 関東支部茨城支所常任幹事(2002 年 04 月～) 日本建築学会 住宅の地方性小委員会委員・(2004 年 04 月～) 日本建築学会 関東支部茨城支所・常任理事(2002 年 04 月～) [その他]住まいと住環境, 放送大学(2014 年度実施)
--

[公開講座]住環境計画学, 茨城大学(2014 年度実施)

[公開講座]住居計画学, 茨城大学(2014 年度実施)

[自治体での社会教育]住居環境学入門(2014 年度実施)

[自治体での社会教育]住居から何を学ぶか 何を教えるか, 茨城県高等学校教育研究会家庭部講演(2014 年度実施)

「都市近郊農村の景観に関する研究」(共同研究): (不明年～)

「住宅地における建築協定に関する研究」(共同研究): (不明年～)

### 科学研究費補助金などの受領

「東海村臨海事故を踏まえた福島原発事故後の環境対策とまちづくりに関する総合研究」[科研費]  
基盤研究(B)一般(分担)(2013 年 04 月～2017 年 03 月)

情報文化課程	氏名 島田 裕之
--------	----------

**教員履歴など**

現職	教授
生年月	1957年4月
学歴・職歴	東京芸術大学美術研究科修士課程修了(1988年) 茨城大学教授 教育学部 (現在に至る)(2004年10月～) 茨城県取手市立第二中学校教諭(1980年04月～1984年03月) 茨城県取手市立戸頭中学校教諭(1984年04月～1986年03月) 東京学館総合技術高等学校工芸科非常勤講師(1988年04月～1990年03月) 桐生短期大学生生活デザイン科専任講師(1990年04月～1993年03月) 茨城大学講師 教育学部(1993年04月～1995年03月) 茨城大学助教授 教育学部(1995年04月～2004年09月)
学位	芸術学修士
受賞歴	かながわ地球環境保全ポスターコンクール優秀賞(1999年), 第7回 NAAC 展 TGC 部門 TGC 賞(1989年), 第66回二科展商業美術部特選賞(1981年), 第64回二科展商業美術部特選賞(1979年)
所属学会	日本デザイン学会, 大学美術教育学会
専門分野	視覚デザイン
教育研究概要	イラストレーションによる視覚伝達デザインの研究と制作 (キーワード)平面デザイン(イラストレーション、コンピュータ・グラフィック、広告、ポスター)、映像(映画、アニメーション)
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール[美術教育実践演習], 人間と文学・芸術[美術の表現] (専門科目)デザインI/デザイン史演習, デザイン表現演習I, 図画工作科内容研究, 情報文化広報プロジェクトI, 映像工房プロジェクトI, 子ども文化プロジェクトI, 卒業研究(教育:4単位), Illustrator で DTP(初級), 絵本制作演習, デザイン表現演習II, 情報文化広報プロジェクトII, 映像工房プロジェクトII, 子ども文化プロジェクトII, 静止画像処理(中級), 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)特別課題研究

**研究業績(3)芸術・体育系の活動**

< 芸術系の活動・建築作品等 > 第4回茨城大学美術科教員展(2014年12月)  
< 審査員 > 茨城県芸術祭美術展(2014年10月)

< 審査員 > 茨城県芸術祭映像コンクール(2014 年 10 月)  
< 審査員 > 第 38 回全国高等学校総合文化祭放送部門(2014 年 07 月)  
< 芸術系の活動・建築作品等 > 個展:Boundary 展(2014 年 05 月～2014 年 06 月)

### 社会的活動、地域貢献など

[出前授業] 視覚表現入門, 茨城県立牛久栄進高等学校(2014 年度実施)  
茨城県美術館協議会委員(2014 年度)  
茨城県芸術祭映像コンクール審査員(2014 年度)  
茨城県芸術祭美術展覧会審査員(2014 年度)  
茨城デザイン振興協議会顧問(2014 年度)

情報文化課程	氏名 佐々木 忠之
--------	-----------

**教員履歴など**

現職	教授
生年月	1958年1月
学歴・職歴	北海道大学工学研究科修士課程(1984年) 茨城大学教授 教育学部情報文化教室(2004年10月～) 国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所 福祉機器開発部福祉機器開発室 研究員(1984年10月～1990年03月) 茨城大学助教授 教育学部情報教育講座(1990年04月～2004年09月)
学位	工学修士
受賞歴	なし
所属学会	日本視覚学会, 人間工学会, 日本特殊教育学会, 計測自動制御学会, 日本機械学会, バイオメカニズム学会, 電子情報通信学会, 日本ロボット学会, 日本音響学会, 日本 ME 学会
専門分野	感覚情報工学 福祉工学
教育研究概要	福祉工学、感覚情報工学 (キーワード)
担当科目	(専あ教養科目)生活・福祉系科目[福祉機器・福祉空間入門], コミュニケーション論[情報文化基礎演習] 情報処理の基礎技術 I, 感覚の科学, 地域活動プロジェクト I, 静止画像処理プログラミング入門, 地域活動プロジェクト II, 卒業研究(教育:4単位) 静止画像処理(初級)a、静止画像処理(初級)b、生活デザイン演習 I、生活デザイン演習 II、情報処理の基礎技術 I、情報技術演習 I、感覚の科学、情報処理の応用技術、マイクロコンピュータ・プログラミング演習、福祉機器・福祉空間入門(大学院科目)電気工学特論 II, 技術と生活総合研究, 技術科授業設計

**研究業績(2)学会発表など**

ニーズに沿った教材を求めて:「ハートネット茨城」(茨城県特別支援教育連盟)、第3号、p4

情報文化課程	氏名 岩佐 淳一
--------	----------

**教員履歴など**

現職	教授
生年月	1960年1月
学歴・職歴	中央大学大学院文学研究科博士課程単位取得満期退学(1990年)
学位	文学修士[中央大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本社会情報学会, 日本社会学会, 日本マス・コミュニケーション学会, 日本タイ学会, 情報通信学会
専門分野	社会情報論、メディア論・マス・コミュニケーション論
教育研究概要	地域情報化、地域メディアに関する研究およびタイ東北部の地域情報に関する研究 (キーワード)
担当科目	(教養科目) 主題別ゼミナール[学習と研究の基礎演習], 社会と人間[社会学の初歩], コミュニケーション論[情報文化基礎演習] (専門科目) 社会文化情報演習 II, マス・コミュニケーション論(中教科: 社会)/マス・コミュニケーション論(情報文化), フィールドワークの科学, 情報文化広報プロジェクト I, 音×環境プロジェクト 1, 文化の社会学, 社会学特講/情報社会論, メディア・リテラシー II, 情報文化広報プロジェクト II, 音×環境プロジェクト 2, 課題図書講読 I, 課題図書講読 II, 課題図書講読 III, 卒業研究(教育: 4 単位), インターンシップ (大学院科目) 社会学特論, 社会学演習

**社会的活動、地域貢献など**

社団法人茨城県経営者協会地域関係委員会特別委員(2015年度)  
東海村情報公開・個人情報保護審査会委員(2015年度)

**海外出張・海外研修・内地研修など**

タイ王国チュラロンコーン大学政治学部社会学・人類学科、客員教授(2015年5月～9月)

情報文化課程	氏名 野崎 英明
--------	----------

**教員履歴など**

現職	教授
生年月	1960年7月
学歴・職歴	東北大学工学研究科修士課程修了(1985年)
学位	博士(工学)[茨城大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本鉄鋼協会, 日本産業技術教育学会, 日本金属学会, 日本機械学会
専門分野	教科教育学 機械材料・材料力学
教育研究概要	(1) 不均質材料のマイクロメカニクス 複合材料のフィラーや金属中の析出物等の不均質物の形状が周辺の応力分布, および材料の全体特性に及ぼす影響について理論的・数値的に解析する。 (2) 中学校技術科「材料と加工に関する技術」の教育に関する研究 (キーワード)
担当科目	(教養科目) 情報処理概論[情報リテラシー], 主題別ゼミナール[技術教育概論] (専門科目) 建築材料学基礎, 金属加工演習, 金属加工学, 保育内容の研究(環境), 技術科指導法(金属加工実習)/金属加工の基礎技術, シミュレーション技法, 基礎金属加工, 製図 II, 金属加工の応用技術, 教職実践演習(教諭), 現代教育の実践的課題, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目) 金属工学特論, 技術と生活総合研究, 技術科授業設計, 特別課題研究

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

出野洋嗣, 野崎英明, 工藤雄司, 竹野英敏「中学校技術科「材料と加工に関する技術」における安全指導の充実を図る授業モデルの提案」, 茨城大学教育学部紀要. 教育科学, 64, 103-116, 2015.  
川裕典, 小祝達朗, 野崎英明「中学校技術科金属加工学習のためのスチール缶矯正装置の開発」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), , 63, 113-122, 2014.  
松本亮, 佐久間博志, 野崎英明「中学生に「丈夫な構造」を理解させるための光弾性教材の開発」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), , 63, 103-111, 2014.

**研究業績(2)学会発表など**

「中学校技術科における飲料用缶を用いた金属加工学習の提案」(日本産業技術教育学会第26回関東支部大会・2014年12月)

**社会的活動、地域貢献など**

日本鉄鋼協会 計算工学による組織と特性予測技術研究会・委員(2006年05月～)

独立行政法人国立病院機構水戸医療センター附属桜の郷看護学校 非常勤講師(2014年04月～2015年03月)

東京書籍株式会社 教科書編集委員(2014年04月～2015年03月)

[非常勤講師]独立行政法人国立病院機構水戸医療センター附属桜の郷看護学校[非常勤講師]  
(2014年04月～2015年03月)

[兼業]東京書籍株式会社[教科書編集委員](2014年04月～2015年03月)

情報文化課程	氏名 甲斐 教行
--------	----------

### 教員履歴など

現職	教授
生年月	1960年12月
学歴・職歴	<p>東京芸術大学大学院美術研究科博士課程単位取得満期退学(1997年)          茨城大学教育学部教授(2011年04月～)          放送大学教養学部非常勤講師(2010年10月～2011年03月)          千葉大学非常勤講師(1999年10月～2002年03月)          順天堂大学スポーツ健康科学部非常勤講師(1997年10月～1998年03月)          都留文科大学文学部非常勤講師(1997年04月～2000年03月)          大妻女子大学非常勤講師(1997年04月～2000年03月)          東京芸術大学美術学部非常勤講師(1997年04月～2000年03月)          青山学院大学文学部非常勤講師(1998年04月～2000年03月)          茨城大学教育学部助教授(2007年4月より職名変更—准教授)(2000年04月～2011年03月)          青山学院大学文学部非常勤講師(2001年04月～2009年03月)          実践女子大学文学部非常勤講師(2007年04月～2008年03月)</p>
学位	博士(文学)[千葉大学]
受賞歴	ピーコ・デッラ・ミランドラ賞、第9回(2000年)(イタリア文化会館)(2000年)
所属学会	中世哲学会, 地中海学会, 美学会, 美術史学会
専門分野	美学・美術史
教育研究概要	<p>近世イタリアの宗教画研究／ファシズム期具象彫刻研究          イタリア美術史、とくに図像解釈学的研究を主要研究領域とする。これまで16世紀後半に活躍した画家フェデリコ・バルッチ、サンティ・ディ・ティート、19世紀後半に活躍した画家アレッサンドロ・フランキの作品研究を行ってきた。現在、20世紀前半に活躍したフィレンツェの彫刻家コッラード・ヴィーニの作品研究に取り組んでいる。</p> <p>(キーワード)イタリア、ルネサンス、図像解釈学、バルッチ、サンティ・ディ・ティート、対抗宗教改革、アレッサンドロ・フランキ、プリズモ、コッラード・ヴィーニ、ファシズム、</p>
担当科目	<p>(教養科目) 主題別ゼミナール[美術教育実践演習], 人間と文学・芸術[マニエリスムとマニエラ——16世紀イタリア美術とその思想]</p> <p>(専門科目) 西洋美術史特別演習 I, 表象文化論, 図画工作科内容研究, 西洋美</p>

<p>術史 I, メディア批評プロジェクト I, 美術史学方法論 III/図像学入門, 保育内容の研究(表現), 西洋美術史特別演習 II, 美術作品論 III/西洋美術史 II/西洋美術史 II, メディア批評プロジェクト II, 卒業研究(教育:4 単位)</p> <p>(大学院科目)西洋美術史研究, 造形芸術学</p>
---

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

Noriyuki Kai, "Alessandro Franchi, e la Cappella Antinori a Soffiano", *Artista -Critica dell'arte in Toscana*, , 24, 2013, 50-61, 2015.

甲斐教行「展覧会評:バッチョ・バンディネッリ展／ポントルモとロッソ・フィオレンティーノ展」, 五浦論叢(茨城大学五浦美術文化研究所紀要), , 21, (23)-(33), 2014.

甲斐教行「書評:Artista -Critica dell'arte in Toscana, 2012」, 五浦論叢(茨城大学五浦美術文化研究所紀要), , 21, (1)-(22), 2014.

甲斐教行、金子一夫「美術鑑賞教育における美術作品の記述の問題」, 茨城大学教育学部紀要(教育総合), , 増刊, 85-95, 2014.

甲斐教行「カルロ・デル・ブラーヴォ「レオナルドの人間性」翻訳と解題」, 五浦論叢(茨城大学五浦美術文化研究所紀要), , 21, 83-124, 2014.

「カルロ・デル・ブラーヴォ「レオナルドとレオナルド派における岩窟モチーフの意味」翻訳と解題」, 五浦論叢(茨城大学五浦美術文化研究所紀要), , 21, 125-157, 2014.

ジョルジョ・ヴァザーリ(訳)「ジョルジョ・ヴァザーリ『美術家列伝』第三巻」, 中央公論美術出版, 59-82, 337-376, 421-430, 449-468, 2015.

### 研究業績(2)学会発表など

〈基調講演〉茨城県近代美術館・美術館アカデミー(現代のミケランジェローフィレンツェの彫刻家フィリッポ・ドブリッラ)(2015年02月)

〈招待講演〉宵のサロン第六回 番外編「愛をめぐる3つの話」(優美なる神話ーコレッジの芸術をめぐるー)(2014年09月)

茨城県弘道館アカデミー 天章堂講座(ポントルモ)(2014年09月)

〈基調講演〉茨城県弘道館アカデミー 天章堂講座(コレッジとパルミジャーノ)(2014年07月)

〈基調講演〉茨城県弘道館アカデミー 天章堂講座(ミケランジェロ・ブオナローティ)(2014年06月)

〈基調講演〉茨城県弘道館アカデミー 天章堂講座(レオナルド・ダ・ヴィンチ)(2014年06月)

〈基調講演〉茨城県弘道館アカデミー 天章堂講座(ブルネレスキとイタリア・ルネサンスの巨匠たち)(2014年06月)

〈招待講演〉(国外)ARTISTA 2013 プレゼンテーション(フィレンツェの美術史専門誌 ARTISTA、2013年号のプレゼンテーション)(2014年04月)

**社会的活動、地域貢献など**

委員[茨城県美術館協議会](2013年07月～2015年06月), 監事[水戸市芸術文化活性化事業実行委員会](2011年04月～), 東京藝術大学美術学部西洋美術史研究室紀要編集委員[東京藝術大学美術学部西洋美術史研究室](2011年04月～)

**海外出張・海外研修・内地研修など**

イタリア フィレンツェ・美術史研究所、ピッティ宮殿フィレンツェ近代美術館[資料収集、プレゼンテーション](2014年3月～4月:28日間)

イタリア、オーストリア フィレンツェ、ザルツブルグ・ルジエロ国立美術館、美術史研究所、祝祭大劇場[見学、資料収集](2014年7月:15日間)

イタリア フィレンツェ・美術史研究所[資料収集](2015年3月～4月:22日間)

イタリア フィレンツェ・美術史研究所[資料収集](2015年4月～5月:14日間)

イタリア フィレンツェ・美術史研究所[資料収集](2015年7月～9月:52日間)

**科学研究費補助金などの受領**

「コッラード・ヴィーニの公共彫刻－政治史的・文化史的解説とカタログ・レゾネ作成」[科研費]基盤研究(C)一般(代表)(2014年04月01日～2017年03月31日)

情報文化課程	氏名 齋藤 芳徳
--------	----------

**教員履歴など**

現職	教授
生年月	1962年2月
学歴・職歴	<p>京都大学大学院工学研究科博士後期課程修了</p> <p>茨城大学教育学部・教授(2011年04月～)</p> <p>茨城大学教育学部・准教授(2007年04月～2011年03月)</p> <p>茨城大学教育学部・助教授(2006年10月～2007年03月)</p> <p>川崎医療福祉大学医療福祉マネジメント学部・助教授(2004年04月～2006年09月)</p> <p>川崎医療福祉大学医療福祉学部・専任講師(2000年04月～2004年03月)</p>
学位	博士(工学)[京都大学]
受賞歴	<p>平成 26 年度キッチン空間アイデアコンテスト/奨励賞(公益社団法人インテリア産業協会)(2015年01月),</p> <p>第 11 回インテリアデザインコンペ 2014/奨励賞(社団法人日本インテリアファブリックス協会)(2014年11月),</p> <p>第 11 回インテリアデザインコンペ 2014/入選(社団法人日本インテリアファブリックス協会)(2014年11月),</p> <p>以上, H24 年度</p> <p>第 10 回インテリアデザインコンペ 2013/入選(社団法人日本インテリアファブリックス協会)(2013年10月),</p> <p>第 10 回インテリアデザインコンペ 2013/奨励賞(社団法人日本インテリアファブリックス協会)(2013年10月),</p> <p>第 9 回インテリアデザインコンペ 2012/入選(社団法人日本インテリアファブリックス協会)(2012年11月),</p> <p>第 8 回インテリアデザインコンペ 2011/奨励賞(1)(社団法人日本インテリアファブリックス協会)(2011年11月),</p> <p>第 8 回インテリアデザインコンペ 2011/奨励賞(2)(社団法人日本インテリアファブリックス協会)(2011年11月),</p> <p>第 7 回インテリアデザインコンペ 2010/優秀賞(社団法人日本インテリアファブリックス協会)(2010年11月),</p> <p>かわさき産業デザインコンペ 2005/入賞(川崎市)(2005年11月),</p>

	<p>かわさき産業デザインコンペ 2005/佳作(川崎市)(2005年11月),          第1回札幌国際デザイン賞/佳作(札幌市)(1992年02月),          住まいのインテリアコーディネートコンテスト'88/インテリア産業協会賞〔一般の部〕(社団法人インテリア産業協会)(1988年10月),          第1回アダルファニチャーデザインコンペ/アダル奨励賞(株式会社アダル)(1988年03月)</p>
所属学会	日本建築学会, 日本リハビリテーション工学協会, 日本福祉のまちづくり学会
専門分野	リハビリテーション科学・福祉工学 都市計画・建築計画
教育研究概要	<p>生活環境のユニバーサルデザインの研究</p> <p>①プロダクト(生活支援工学, プロダクトデザイン, リハビリテーション工学)</p> <p>②建築・インテリア(建築計画学, 建築デザイン, インテリアデザイン)</p>
	(キーワード)高齢者, 介護施設, 車いす, 入浴介護, 福祉用具, バリアフリー, ユニバーサルデザイン, インテリアデザイン
担当科目	<p>(教養科目)生活・福祉系科目[福祉機器・福祉空間入門]</p> <p>(専門科目)図法及び製図/図学演習(情報文化), 建築一般構造, 設計製図Ⅱ, 地域活動プロジェクトⅠ, 建築施工, 設計製図Ⅲ, デザイン理論, 地域活動プロジェクトⅡ, 卒業研究(大学院科目)デザイン研究Ⅱ, デザイン演習Ⅱ, 美術文化総合研究, 美術教育授業設計</p>

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

〈論文〉齋藤芳徳「アジアにおけるリタイアメントビザ取得者の生活実態その1:フィリピン編」, 茨城大学教育学部紀要(教育総合), 増刊, 459-468, 2014.

〈著書〉「実務者研修テキスト【第2版】生活支援の技術と環境整備」, 日本医療企画, 233-276, 2014.

### 研究業績(2)学会発表など

〈招待講演〉小規模多機能施設「杜のつどい土合」開設記念講演会(講演「高齢者の生きようとする意欲を支える住環境」)(2015年03月)

〈招待講演〉東京都社会福祉協議会(講演「高齢期の住まい方と援助者の関係づくり」)(2014年08月)

〈招待講演, 企画・運営〉2014年SIG 姿勢保持講習会(企画・運営・講演「明日から現場で役立つ姿勢保持-高齢者介護施設編」)(2014年06月)

〈パネリスト〉第20回バリアフリー2014(ワークショップ講師「浴槽からケアが変わる」)(2014年04月)

### 研究業績(3)芸術・体育系の活動

平成 26 年度キッチン空間アイデアコンテスト (2015 年 01 月) \*学生との共作 2 点  
第 11 回インテリアデザインコンペ 2014 (2014 年 07 月) \*学生との共作 2 点  
コクヨデザインアワード 2014 (2014 年 07 月) \*学生との共作 2 点  
OHANA Art & Design Contest 2014 (2014 年 05 月) \*学生との共作 1 点  
第 19 回文具アイデアコンテスト (2014 年 05 月) \*学生との共作 1 点

### 社会的活動、地域貢献など

日本建築学会 建築人間工学小委員会委員(2004 年 08 月～)  
日本リハビリテーション工学協会 SIG 姿勢保持世話人(2001 年 08 月～)  
日本建築学会 建築計画委員会建築人間工学小委員会・委員(2004 年 08 月～)  
日本リハビリテーション工学協会 SIG 姿勢保持・世話人(2001 年 08 月～)

[非常勤講師]茨城キリスト教大学[非常勤講師](2008 年 04 月～)  
[非常勤講師]独立行政法人国立病院機構水戸医療センター附属桜の郷看護学校[非常勤講師]  
(2008 年 04 月～)

情報文化課程	氏名 齋木 久美
--------	----------

**教員履歴など**

現職	教授
生年月	1963年2月
学歴・職歴	千葉大学教育学研究科国語教育修士課程修了 茨城大学教育学部(2003年04月～)
学位	教育学修士[千葉大学]
受賞歴	茨城大学大学教育センター推奨授業表彰(茨城大学大学教育センター)(2007年03月27日)
所属学会	全国大学国語教育学会 全国大学書道学会 書学書道史学会, 全国大学書写書道教育学会, 計量国語学会, 全日本書写書道教育研究会
専門分野	教科教育学
教育研究概要	小中学校国語科書写における授業研究の方法や効果的な学習指導法に関する研究を実践的に行っている。 (キーワード)
担当科目	(教養科目)人間と文学・芸術[仮名の書に親しむ] (専門科目)初等国語科教育法研究, 書道史, 表象文化論, 初等書写内容研究, 書道 I, 書道 III, 子ども文化プロジェクト I, 書道科教育法研究 I, 初等国語科教育法研究, 初等書写内容研究, 書道 II, 子ども文化プロジェクト II, 鑑賞, かな書法研究/筆による表現, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)言語文化総合研究, 書写書道教育研究, 書写書道教育演習

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

「小学校一年生の平仮名書字学習に関する一考察」, 茨城の国語教育, , 第14号, 50-57, 2015.  
「小学校入門期のひらがな書字指導に関する一考察」, 茨城大学教育学部紀要, , 64, 325-334, 2015.

**研究業績(3)芸術・体育系の活動**

<芸術系の活動・建築作品等>平成26年度年度全国大学書道学会会員書作展出品(2014年10月)  
<芸術系の活動・建築作品等>第13回中韓日文化人書藝展 出品(2014年08月)  
<芸術系の活動・建築作品等>第30回王朝継ぎ紙合同作品展(2014年04月)

**社会的活動、地域貢献など**

全国大学書写書道教育学会 理事(企画・広報局) (2012 年 04 月～)  
全国大学書写書道教育学会 理事(企画広報局)(2012 年 04 月～)  
全日本書写書道教育研究会 本部役員 研究局 大学部長(2005 年 10 月～)

### 科学研究費補助金などの受領

「書字学習における幼小連携を円滑にする教材の開発」[科研費]基盤研究(C)一般(代表) (2012 年 04 月 10 日～2015 年 02 月 28 日)

情報文化課程	氏名 林 延哉
--------	---------

**教員履歴など**

現 職	准教授
生年月	1961 年 11 月
学歴・職歴	早稲田大学文学研究科修士課程修了(1987 年)
学位	修士(文学)
受賞歴	なし
所属学会	日本リハビリテーション工学協会, 日本教育心理学会, 日本社会臨床学会, 日本発達心理学会, 日本理科教育学会
専門分野	各国文学・文学論 社会臨床論
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)情報処理概論[情報リテラシー], 主題別ゼミナール[学習と研究の基礎演習], コミュニケーション論[情報文化基礎演習] (専門科目)情報文化広報プロジェクト I, 映像工房プロジェクト I, 子ども文化プロジェクト I, 音×環境プロジェクト 1, 特別演習 I, 統計の初歩, ウェブ制作(初級)a, ウェブ制作(初級)b, 情報文化広報プロジェクト II, 映像工房プロジェクト II, 子ども文化プロジェクト II, 音×環境プロジェクト 2, 社会臨床演習, 社会臨床演習, 特別演習 II, 課題図書講読 I, 課題図書講読 II, 課題図書講読 III, 卒業研究(教育:4 単位)

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

林延哉「MV「桜の木になろう」の内容分析:同一素材から作られた2つの作品内容の比較」, 茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学、芸術), , 64, 2015.

林延哉「悲しみの中に見出す平和こそ:『原爆の子』『ひろしま』『ゴジラ』『父と暮らせば』『夕風の街桜の国』を観ながら考えたこと」, 社会臨床雑誌, 22, 3, 63-69, 2015.

林延哉・高田明典『ヒーローたちの戦うキモチ』, サイゾー, 2015.

**社会的活動、地域貢献など**

日本社会臨床学会 事務局長(1994 年～2010 年)

千葉県立中央博物館作成の野草カードのウェブ化への協力。[千葉県立中央博物館](年度不詳)

情報文化課程	氏名 小林 祐紀
--------	----------

**教員履歴など**

現 職	准教授
生年月	1980 年 8 月
学歴・職歴	金沢大学教育学研究科修士課程修了(2004 年 03 月) 金沢大学非常勤講師共通教育科目「教師入門」(2009 年～2014 年) 石川県金沢市内公立小学校・教諭(2008 年 04 月～2015 年 03 月)
学位	修士[金沢大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本教育メディア学会, 日本教育工学会
専門分野	教育学・教育工学
教育研究概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業における ICT 活用や情報モラル教育について、研究会を主宰したり、指導・助言を行ったりしています。</li> <li>・急速に学校現場に普及するタブレット端末の活用について研究活動を行っています。</li> <li>・教師のストラテジーに着目した授業研究やコミュニケーション力を育む授業について研究活動を行っています。</li> </ul> <p>(キーワード) 授業における ICT 活用、情報教育、メディア教育、授業研究</p>
担当科目	

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

<p>小林祐紀「第 6 学年国語科における児童の実態に応じた授業設計と評価-「名画の良さを伝える解説文を書こう」の実践から-」, 石川県教育工学研究会研究紀要, 39, 29-32, 2015.</p> <p>Nakagawa,H.,Suzuki,H.,Morishita,J.,Sato,Y.,Murai,M.,Kobayashi,Y., "The Development of a Creation Tool of Report for the Visualization of Thought for Children", World Conference on Educational Multimedia, Hypermedia and Telecommunications (EDMEDIA2014), , 2223-2227, 2014.</p> <p>Murai,M.,Nakagawa,H.,Sato,Y.,Kobayashi,Y., "A Study on the Introduction and Use of Tablet PCs in the Elementary School of Japan", World Conference on Educational Multimedia, Hypermedia and Telecommunications (EDMEDIA2014), , 2586-2590, 2014.</p> <p>D-project 編集委員会「つなぐ・かかわる授業づくり タブレット端末を活かす実践 52 事例」, Gakken, 56-57,80-81,84-85, 2014.</p> <p>中川一史、寺嶋浩介、佐藤幸江(編著)「タブレット端末で実現する協働的な学び xSync シンクロする思考」, フォーラム・A, 32-33,44-45, 2014.</p>
---

**研究業績(2)学会発表など**

Nakagawa,H.,Suzuki,H.,Morishita,J.,Sato,Y.,Murai,M.,Kobayashi,Y., "The Development of a Creation Tool of Report for the Visualization of Thought for Children", World Conference on Educational Multimedia, Hypermedia and Telecommunications (EDMEDIA2014), , 2223-2227, 2014.  
Murai,M.,Nakagawa,H.,Sato,Y.,Kobayashi,Y., "A Study on the Introduction and Use of Tablet PCs in the Elementary School of Japan", World Conference on Educational Multimedia, Hypermedia and Telecommunications (EDMEDIA2014), , 2586-2590, 2014.

<基調講演> 富山大学人間発達科学部附属人間発達科学研究実践センター学習環境部門研究会(講師)(2014年06月)

人間環境教育課程	氏名 松坂 晃
----------	---------

**教員履歴など**

現職	教授
生年月	1953年4月
学歴・職歴	筑波大学体育研究科修士課程修了(1979年) 筑波大学体育科学系文部技官(1979年04月～1984年03月) 茨城大学教養部講師(1986年04月～1987年03月) 茨城大学教養部助教授(1987年04月～1996年03月) 茨城大学教育学部助教授(1996年04月～2000年03月) 茨城大学教育学部教授(2000年04月～) 茨城大学教育学部附属特別支援学校長(2009年04月～2012年03月) 茨城大学学生就職支援センター長(2013年04月～)
学位	体育学修士[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本体力医学会, 日本体育学会, 日本肥満学会, 日本栄養改善学会, 日本特殊教育学会
専門分野	応用健康科学
教育研究概要	子どもの身体活動, 体力運動能力, および肥満に関する研究 (キーワード)
担当科目	(教養科目)就業力育成・ステップアップ系科目[仕事と社会], 身体活動[里山ハイキング(M)], 身体活動[レクリエーションスポーツ(M)], 人間・文化系科目[ものづくりと社会] (専門科目)運動生理学, 体育科教育法研究, 運動処方論, 現代人の健康(教科又は教職)/現代人の健康(人間環境), 小児健康運動学, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)健康生理学特論, 養護学総合研究

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

Akira Matsuzaka, Masashi Watanabe, "Daily Physical Activity and the Association with Cardiorespiratory Fitness and Adiposity in Children", 茨城大学教育学部紀要(教育総合), 増刊号, 469-476, 2014.

松坂晃, 廣原紀恵, 上地勝「日本人小児の肥満および痩身傾向児出現率の年次推移」, 茨城大学教育学部紀要(教育総合), 増刊号, 481-486, 2014.

松坂 晃「知的障害児の運動スキル評価の試み」, 茨城大学教育実践研究, 33, 159-170, 2014.  
松坂晃, 長谷川照晃「茨城大学学生の就業力に関する現状と課題」, 茨城大学大学教育センター紀要, 4, 29-37, 2014.  
松坂晃, 井澤耕一, 長谷川照晃「茨城大学の海外インターンシップの取り組みと課題」, 茨城大学大学教育センター紀要, 4, 69-78, 2014.

### 研究業績(2)学会発表など

松坂晃, 「知的障害特別支援学校児童生徒の運動スキルー担任教員による判定とビデオ判定の比較ー」(第 52 回日本特殊教育学会・2014 年 09 月)

### 海外出張・海外研修・内地研修など

韓国 ソウル・(株)KNT KOREA[インターンシップ受入学生の指導、監督ほか](2014 年 9 月:1 日間)

### 科学研究費補助金などの受領

「知的障害児童生徒の動きの学習熟度からみた体育学習内容の検討」[科研費]基盤研究(C)一般(代表)(2014 年 04 月 01 日~2018 年 03 月 31 日)

人間環境教育課程	氏名 木村 競
----------	---------

### 教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1956 年 4 月
学歴・職歴	東京大学人文科学研究科博士課程単位取得満期退学(1988 年) 茨城大学 教育学部 教授(2003 年 04 月～) 茨城大学 教育学部 助教授(1992 年 04 月～2003 年 03 月)
学位	文学修士[東京大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本倫理学会, 日本哲学会, 哲学会, 日本カント協会, 現代風俗研究会, 日本公民教育学会, ハイデガー・フォーラム
専門分野	哲学・倫理学
教育研究概要	<p>教育活動&gt;</p> <p>大学院:教育学研究科・教科教育専攻・社会科教育専修(倫理学) 授業:倫理学特論、倫理学演習 特別課題研究指導 大学院共通科目等</p> <p>学部:教育学部・人間環境教育課程・課程共通科目およびコース専門科目 授業:社会と思想、プロジェクト・マネジメント等 卒業研究指導 学校教育教員養成課程・社会選修 授業:倫理学演習、ナショナリズムと社会等 卒業研究指導 教養科目・総合科目 授業:「つながり」の力等</p> <p>&lt;研究活動&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行為および文化の定型化と変化に関する理論</li> <li>・教員養成における倫理学の役割について</li> <li>・「学級力」を基盤とした学力向上モデルの構築</li> <li>・サステナビリティ学についての学内研究者との共同研究</li> <li>・近代ヨーロッパを中心とする哲学・倫理思想史研究</li> </ul> <p>(キーワード)</p>
担当科目	(教養科目)人間・文化系科目[つながりの力] (専門科目)社会と思想(社会選修)/社会と思想(人間共通)免×, 倫理学特別演習I, プロジェクト・マネジメントA, 倫理学概論, 現代のナショナリズム, 倫理学特別演習II, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)倫理学演習, 特別課題研究

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

木村競「新しい安全・安心な社会と共生の知 その2」, 茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学、芸術), 64, 67-76, 2015.

木村競「学級力」の基盤形成としての哲学リテラシー育成プログラム その3」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 64, 335-339, 2015.

**研究業績(2)学会発表など**

木村競, 「当事者性、相互性、コンテクスト」(哲学会第 53 回研究発表大会・2014 年 11 月)

**社会的活動、地域貢献など**

大学評価・学位授与機構 大学機関別認証評価委員会専門委員(2014 年 04 月～2015 年 03 月)

[その他]大学評価・学位授与機構[大学機関別認証評価委員会専門委員](2014 年 04 月～2015 年 03 月)

[兼業]茨城県教育庁[茨城県生涯学習審議会委員および茨城県社会教育委員](2008 年 08 月～)

[非常勤講師]水戸市医師会看護専門学院[非常勤講師](2001 年 04 月～)

[非常勤講師]鯉渕学園農業栄養専門学校[非常勤講師](2000 年 10 月～)

**科学研究費補助金などの受領**

「いじめを予防する学級づくりに関する実践研究」[科研費]基盤研究(C)一般(代表)(2014 年 04 月～2017 年 03 月)

人間環境教育課程	氏名 富樫 泰一
----------	----------

**教員履歴など**

現 職	教 授
生年月	1957 年 4 月
学歴・職歴	筑波大学体育研究科修士課程修了(1983 年) 茨城大学教育学部教授(2003 年 01 月～) 茨城大学教育学部助教授(1996 年 04 月～2002 年 12 月) 学校法人清真学園高等学校非常勤講師(1983 年 04 月～1984 年 03 月) 筑波大学研究協力部研究協力課(体育科学系担当)(1985 年 04 月～1988 年 03 月) 茨城大学教養部講師(1988 年 04 月～1989 年 03 月) 茨城大学教養部助教授(1989 年 04 月～1996 年 03 月)
学位	体育学修士[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本バイオメカニクス学会, 日本体育学会
専門分野	スポーツ科学 応用健康科学
教育研究概要	教育活動(スポーツ医学外科領域、バイオメカニクス、健康スポーツ科目、水泳、スキー、水辺野外運動) 研究活動(水泳・水中運動の流体力学的研究) (キーワード)
担当科目	(教養科目)身体活動[バドミントン(C)], 身体活動[ソフトボール(C)], 身体活動[卓球(C)] (専門科目)保育内容の研究(健康), 体育科教育法研究, 水泳指導法, 水泳, 野外運動, 野外運動指導法, アクアフィットネス, 現代人の健康(教科又は教職)/現代人の健康(人間環境), スキー, スキー指導法, 救急処置法/運動障害救急法, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)保健体育授業設計, バイオメカニクス特論, 体育科学総合研究, バイオメカニクス演習

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

富樫泰一「学校体育実技指導資料 第 4 集 水泳指導の手引き(三訂版)」, 株式会社アイフィス, 7-10, 2014.

**研究業績(2)学会発表など**

富樫泰一, 「前後 2 分割型ひずみゲージ式新型競泳スタート台の試作」(第 23 回日本バイオメカニクス学会大会・2014 年 09 月)

**研究業績(3)芸術・体育系の活動**

<審判員>公益財団法人全日本スキー連盟第 30 回スキーパトロール技術競技大会(群馬県・草津国際スキー場)(2015 年 03 月)

<その他>公益財団法人全日本スキー連盟スキーパトロール技術員研修会主任講師(2014 年 11 月)

**社会的活動、地域貢献など**

[出前授業]茨城県立太田第一高等学校模擬授業「スポーツ医学(膝の構造・機能とケガの予防)」, 茨城県立太田第一高等学校(2014 年度実施)

[非常勤講師]駿河台大学スポーツ教育センター[非常勤講師(健康スポーツ科目)](2005 年 04 月～2015 年 03 月)

[非常勤講師]筑波大学体育専門学郡[非常勤講師(専門基礎科目・水泳実習(臨海))](1988 年 04 月～2014 年 07 月)

救急法救急員養成講習[日本赤十字社茨城県支部](2015 年 03 月)

救急法基礎講習講師[リリー保育福祉専門学校](2015 年 02 月)

救急法短期講習[水戸市保健センター](2015 年 02 月)

救急法救急員養成講習講師[リリー保育福祉専門学校](2015 年 01 月)

日本赤十字社救急法短期講習[日新警備保障](2014 年 12 月)

救急法短期講習[日赤水戸地区渡里住民の会](2014 年 11 月)

赤十字救急法短期講習[水戸第三高等学校](2014 年 11 月)

赤十字救急法基礎講習・救急員養成講習[茨城県スキー連盟安全対策部](2014 年 10 月)

日本赤十字社救急法基礎講習+救急員養成講習[水戸看護福祉専門学校](2014 年 09 月)

救急法短期講習[茨城県教育研修センター](2014 年 07 月)

救急法短期講習[茨城県教育研修センター](2014 年 07 月)

救急法基礎講習+救急員養成講習[日本赤十字社茨城県支部](2014 年 07 月)

赤十字救急法短期講習[茨城県立水戸飯富特別支援学校](2014 年 05 月)

日赤短期講習[笠間市社会福祉協議会(参り坂公民館)](2014 年 05 月)

人間環境教育課程	氏名 勝本 真
----------	---------

### 教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1958 年 9 月
学歴・職歴	筑波大学体育研究科修士課程修了(1984 年) 茨城大学教授教育学部(2006 年 04 月～) サントリー株式会社嘱託(1982 年 04 月～1984 年 03 月) 活水女子短期大学特別講師(1984 年 04 月～1985 年 03 月) 活水女子短期大学専任講師(1985 年 04 月～1990 年 03 月) 活水女子短期大学助教授(1990 年 04 月～1991 年 03 月) 茨城大学助教授教育学部(1991 年 04 月～2006 年 03 月) 大学教育センター・副センター長(教育点検支援部)(2008 年 04 月～2013 年 03 月) 茨城大学教育学部附属小学校校長(2015 年 04 月～2018 年 03 月)
学位	体育学修士[筑波大学]
受賞歴	平成 13 年度大学教育研究開発センター前学期推奨授業受賞(2002 年 05 月)
所属学会	日本体育学会, 日本コーチング学会, 日本バレーボール学会, 日本教育工学会, 日本バイオメカニクス学会
専門分野	体育方法学 バレーボール 教育工学 バイオメカニクス
教育研究概要	バレーボールの指導法に関する研究 研究は, 1)バレーボールの技術指導に関する研究, 2)バレーボールのゲーム分析に関する研究, 3)小中学校におけるバレーボール教材としての教科教育的研究の三つに大別することができる。 1)は, 画像分析を用いてオーバーハンドパスやスパイク動作の分析し, バレーボールの基本技術を解明してきた。その情報をもとにして斬新な連続的イラストを用いた指導書を作成している。指導書は, 様々なレベルに合わせて作成しており, 中学校授業向けの本では技術レベルに合わせた練習課題を紹介している。 2)は, DLT法画像分析によりフォーメーションの分析を行い, 競技レベルによる違いを明らかにした。チームの得点力を構成する要因を解明し, ゲーム分析項目の決定に貴重な資料を提供し, その要因をもとにしてゲーム分析ソフトを開発している。 3)は, 小中学校バレーボール技術指導のための学校体育実技指導者講習会の講師を務め, その経験をもとに, 中学校のバレーボールにワンバウンドでの 3 人制ルールを導入した授業研究や 3 人制から正規ルールへの移行をスムーズに行うため

	の教材研究を行っている。近年、小学校にソフトバレーボールが導入され、バレーボール教材の再検討が求められており、中学年の「基本の運動」にバレーボールの動きを入れた教材を開発して実践している。
	(キーワード)バレーボール指導法 体育科教育 コーチング ゲーム分析
担当科目	(教養科目)身体活動[バドミントン(C)], 身体活動[ソフトボール(C)], 身体活動[屋内ボールゲーム (C)] (専門科目)バレーボール指導法/バレーボール/バレーボール/バレーボール指導法/バレーボール, ボールゲーム方法論 II, ソフトボール・バドミントン指導法, コーチング論 II, 体育科教育法研究[後期], スポーツ実習 II, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)スポーツ指導論特講, スポーツ指導論演習, 保健体育授業設計, 体育科学総合研究

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

「オーバーハンドスローの動作習得における両側性転移の可能性に関する研究」, 茨城大学教育学部紀要. 教育科学, , 64, 341 -351, 2014.

「中学校体育におけるバレーボールのドリル教材に関する研究 : 男子のアンダーハンドパスに着目して」, 茨城大学教育学部紀要(教育総合)増刊号, , 495 -503, 2014.

### 研究業績(2)学会発表など

「中学校体育授業におけるバレーボールドリル教材に関する研究—アンダーハンドパスの落下地点への移動について—」第 19 回日本バレーボール学会, 2014 年 02 月

### 社会的活動、地域貢献など

日本バレーボール学会 理事(2009 年 04 月～2013 年 03 月)

日本バレーボール学会・(2008 年 04 月～)

[兼業]第 74 回国民体育大会茨城県競技力向上対策本部[強化普及委員](2012 年 04 月～)

茨城県バレーボール協会常任理事(2013 年 04 月～)

[非常勤講師][保健体育]・独立行政法人国立病院機構水戸医療センター附属桜の郷看護学校[講師](2011 年 04 月～)

実技指導、ボランティア育成活動[NPO 法人 スマイルクラブ](2000 年 04 月～)

人間環境教育課程	氏名 加藤 敏弘
----------	----------

### 教員履歴など

現 職	教授
生年月	1961 年 6 月
学歴・職歴	筑波大学体育研究科修士課程修了(1986 年) 国立高岡短期大学助手(1986 年 04 月～1990 年 03 月) 茨城大学講師教育学部(保健体育講座)(1990 年 04 月～1994 年 03 月) 茨城大学助教授教育学部(保健体育講座)(1994 年 04 月～1996 年 03 月) 茨城大学助教授教育学部(知識経営講座)(1996 年 04 月～2004 年 03 月) 国立大学法人茨城大学助教授教育学部(2004 年 04 月～2007 年 03 月) 国立大学法人茨城大学准教授教育学部(2007 年 04 月～2015 年 03 月) 国立大学法人茨城大学教授教育学部(2015 年 04 月～)
学位	体育学修士[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本体育学会, 日本体育・スポーツ哲学会, 日本スポーツ教育学会, 日本養生学会, 人体科学会
専門分野	コーチ学(バスケットボール) 技能普及教育論 体育原理
教育研究概要	ナレッジマネジメントとしてのコーチング ナレッジマネジメント(知識経営)としてのコーチングについて、教育活動を通して研究中。特に個人が身につけている技術(=技能)を他者に伝えるためのノウハウを観察し、その体系化を試みている。そのために、まず人間の活動を正しく理解し、集団(チーム)における役割分担やコミュニケーション手段について実践研究中。技能を普及し伝達するという行為は、スポーツ場面に限らず、社会全般で求められる能力であり、暗黙知(身体知)の観点からアプローチしている。学校という枠組みにとらわれてきた教授法を越え、社会におけるさまざまな場面へのコーチングの可能性について考察しており、チームづくりと組織づくりの有機的連携についても研究中。フィールドとしてバスケットボールコーチング、体育授業を中心に据えているが、地域力の向上やFD(ファカルティ・ディベロップメント)、そしてビジネス場面への応用も試みている。  (キーワード)コーチング バスケットボール 知識経営 暗黙知 身体知 ボディワーク チームワーク 技能伝達 コミュニケーション 体育原理

担当科目	<p>(教養科目)身体活動[バスケットボール(C)], 身体活動[ボディーワーク(M)], 身体活動[屋内ボールゲーム(C)], 身体活動[屋内ボールゲーム(C)], コミュニケーション論[文章作成法1], 身体・行動系科目[アスリートの世界～鹿島アントラーズとの提携を通して～]</p> <p>(専門科目)技能伝達法(教職共通)/技能伝達法[人環用教職], バスケットボール/バスケットボール指導法/バスケットボール, ボールゲーム方法論 I, 体育科教育方法研究(B), 総合演習[人環用], 体育学概論, 総合演習[人環用], スポーツ特別演習 II, コミュニケーション演習【全教科】/コミュニケーション演習(人間・共通), チームワーク&amp;コーチング論, 技能伝達法, ボールゲーム方法論 I, 知識経営特別演習 I, スポーツ特別演習 I, スポーツ実習 I, 体育哲学演習, 体育哲学特論, 卒業研究(教育:4 単位)</p>
------	---

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

「バスケットボール指導教本改訂版」, 大修館書店, 2014.

「ステップアップ高校スポーツ」, 大修館書店, 2013.

「バスケットボール指導者の指導観の変容過程～茨城県バスケットボールスクールの指導を体験して～」教科開発学論集(愛知教育大学・静岡大学)第 2 号, 2014.

「バスケットボールスクールの新たな指導体験がコーチングに与える影響」教科開発学論集(愛知教育大学・静岡大学)第3号, 2015.

### 社会的活動、地域貢献など

公益財団法人日本バスケットボール協会テクニカル委員会委員(2012 年 06 月～2015 年 05 月)

日本体育学会体育哲学専門領域運営委員(2009 年 04 月～2015 年 03 月)

茨城県バスケットボール協会常任理事指導者育成委員長(203 年 04 月～)

関東大学女子バスケットボール連盟広報部副部長(2013 年 04 月～)

第 74 回国民体育大会茨城県準備委員会委員(2012 年 10 月～2013 年 03 月)

第 74 回茨城国体競技運営専門委員会委員(2013 年 04 月～)

全日本大学バスケットボール連盟 広報部・部長(2012 年 04 月～2015 年 03 月)

茨城県立中央高等学校評議員(2012 年 07 月～)

[非常勤講師]筑波大学・体育センター[非常勤講師](2006 年 04 月～)

[非常勤講師]茨城キリスト教大学・文学部[非常勤講師](2006 年 04 月～)

人間環境教育課程	氏名 賀来 健輔
----------	----------

**教員履歴など**

現職	教授
生年月	1964年7月
学歴・職歴	日本大学法学研究科博士後期課程単位取得満期退学(1995年03月) 茨城大学教育学部教授(2011年04月～) 岩手大学人文社会科学部講師、助教授(1995年04月～2000年03月) 茨城大学教育学部准教授(2000年04月～2011年03月)
学位	政治学修士[日本大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本政治学会, 日本行政学会, 日本地方自治学会, 日本地方自治研究学会, 日本公共政策学会, 日本オンブズマン学会
専門分野	行政学
教育研究概要	政治学、行政学、地方自治論など (キーワード)住民参加、政治参加、自治体広報・広聴活動、公共政策、内発的発展
担当科目	(専門科目)卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)人間システム基礎論II

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

<p>賀来 健輔「条例の制定又は改廃の直接請求に関する課題とその一考察—制度の積極的活用の観点から—」、『地方自治研究』, 第29, 第2, 1-12, 2014.</p> <p>賀来 健輔「近時の住民投票条例制定の直接請求に関する一考察」、『地方自治研究』, 第29, 第1, 13-25, 2014.</p>
--

**社会的活動、地域貢献など**

[非常勤講師]日本大学法学部[非常勤講師](2005年04月～)
----------------------------------

人間環境教育課程	氏名 伊藤 孝
----------	---------

**教員履歴など**

現職	教授
生年月	1964年10月
学歴・職歴	筑波大学地球科学研究科博士課程修了(1993年)
学位	博士(理学)
受賞歴	なし
所属学会	日本地学教育学会, 資源地質学会, 日本地球化学会, 日本地質学会, 日本堆積学会
専門分野	地質学 鉱床学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)身近な地球科学[地球表層の環境とその変遷] (専門科目)基礎地学, 環境地球科学, 地学実験指導法, 地学実験指導法/地学実験A/地学実験A, 地学野外実習, 初等理科内容研究, 岩石学, 地球科学演習, 気象学/気象学(環境コース), 地学演習, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)自然科学総合研究, 地学特論, 地学特別実験

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

<p>吉丸 慧・清川昌一・伊藤 孝・堤 之恭「南西ガーナ Birimian 帯 Kumasi 層群における砂岩層碎屑シルコン U-Pb 年代」, 茨城大学教育学部紀要(自然科学), 64, 51-60, 2015.</p> <p>蓑和雄人・清川昌一・伊藤 孝「薩摩硫黄島長浜湾における海水の連続観測:2013年6月16日?29日の温度・濁度・pH・電気伝導度・溶存酸素量の深度別変化」, 茨城大学教育学部紀要(自然科学), 63, 75-91, 2014.</p> <p>伊藤 孝・清川昌一「地球科学情報の市民への広報に関する事例研究?3:台湾における地球科学情報の広報」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 63, 401-413, 2014.</p> <p>荻野京也・上栗伸一・伊藤 孝「伊豆半島を対象とした平成 25 年度「地学野外実習」の授業報告」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 63, 11-22, 2014.</p> <p>Kiyokawa, S., Koge, S., Ito, T., Ikehara, M., "An ocean floor carbonaceous sedimentary sequence in the 3.2-Ga Dixon Island Formation, coastal Pilbara terrane, Western Australia", Precambrian Research, 255, 1, 124-143, 2014.</p> <p>蓑和雄人・清川昌一・伊藤 孝「薩摩硫黄島長浜湾における海水の連続観測?2:2013年8月26日?9月7日の温度・濁度・pH・電気伝導度・溶存酸素量の深度別変化」, 茨城大学教育学部紀要</p>
--

(教育総合) , 増刊, 521-536, 2014.

伊藤 孝・大辻 永「北バンクーバーCheakamus Centre におけるサケ学習について:サケ学習の実際と今後の展開についての一提案」, 茨城大学教育学部紀要(教育総合) , 増刊, 503-519, 2014.

臼井 朗・高橋 嘉夫・伊藤 孝・丸山 明彦・鈴木 勝彦「海底マンガン鉱床の地球科学」, 東京大学出版会, 192-198, 201-222, 2015.

## 研究業績(2)学会発表など

伊藤 孝, 清川昌一, 池原 実, 尾上哲治, 首藤英児, 「『地球全史スーパー年表』はどこがスーパーなのか?:児童・生徒に地質学的な時間の概念を把握させる試み」(平成 26 年度全国地学教育研究大会・日本地学教育学会第 68 回全国大会北海道大会・2014 年 08 月)

## 社会的活動、地域貢献など

日本地学教育学会 編集委員会委員長(2014 年 07 月～2016 年 06 月)

[兼業]独立行政法人海洋研究開発機構横須賀本部・海底資源研究開発センター資源成因研究グループ[招聘上席研究員](2014 年 06 月～2015 年 03 月)

## 海外出張・海外研修・内地研修など

フィリピン タクロバン、ナバル、タクロバン・タクロバン市内各所ほか各市内各所[被害調査、聞き取り調査](2014 年 10 月:5 日間)

ガーナ アクラ、タルクワ、ケープスリーポイント・ガーナ大学地質学部、タクワ周辺金鉱山、各地周辺[研究打合せ、地質調査、試料の梱包・発送作業](2014 年 11 月～12 月:11 日間)

韓国 釜山、大田、浦、山、巨濟、固城・釜山周辺、Daejeon Government Office Guest House ほか各地の stop 地[地形調査、マンガ地球史・Re-Os 同位体に関する研究打合せ、Project A in Korea Science Sessions への出席・発表および巡検参加](2015 年 3 月:5 日間)

## 科学研究費補助金などの受領

基盤研究(B)一般(24300266)「東アジア等との関連性を踏まえた日本の防災・減災教育の展開と課題」(平成 25～26 年度)研究分担者

基盤研究(A)(海外学術調査)(26257211)「地球史海洋底断面復元プロジェクト:太古代から原生代への環境大変動解明」(平成 26～29 年度)研究分担者

挑戦的萌芽研究(26560086)「日本の学校教育における防災教育の体系化・スタンダードの構築」(平成 26～27 年度)研究分担者

基盤研究(C)一般(26381251)「富士山をフィールドとした多面的実践学習プログラムの開発とそれによる教科間相互作用」(平成 26～28 年度)研究代表者

人間環境教育課程	氏名 渡部 玲二郎
----------	-----------

**教員履歴など**

現職	教授
生年月	1965年3月
学歴・職歴	筑波大学心理学研究科博士課程単位取得満期退学（1994年） 茨城大学教育学部教授（2011年10月～） 茨城大学教育学部准教授（2007年04月～2011年09月） 茨城大学教育学部助教授（1999年10月～2007年03月） 茨城大学教育学部講師（1995年01月～1999年09月）
学位	博士(心理学)[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本教育心理学会, 日本カウンセリング学会, 日本発達心理学会
専門分野	教育・社会系心理学
教育研究概要	(キーワード) 子どもの対人関係、教師と子どもの対人関係、社会的適応、自己受容
担当科目	(教養科目) 人間と心 [心理学から見る人間理解] (専門科目) 心理学研究法 I, 心理学文献講読 I, 発達の理解 I/発達の理解 A, 心理学統計法, 発達臨床心理学, 卒業研究 (教育: 4 単位) (大学院科目) 人間関係特論/学校教育心理学特論, 特別課題研究

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

渡部玲二郎・小林千夏「進路決断に至るプロセスの検討ー「自分に合う」仕事探しからどう抜け出すのかー」, 茨城大学教育学部紀要 (教育科学), , 63, 415-435, 2014. 三輪壽二・小林英二・渡部玲二郎「小・中学校におけるいじめ対策に関する研究の現状と展望: 発達の観点から」, 茨城大学教育学部紀要 (教育科学), 63, 341-353, 2014 安齋佳菜恵・岸良範・渡部玲二郎「日本における「許し」研究のこれまでと展望」, 茨城大学大学院 心理臨床研究, 6, 38-45, 2013
---

**社会的活動、地域貢献など**

日本カウンセリング学会 日本カウンセリング学会常任編集委員 (2008年04月～2017年03月) 日本カウンセリング学会 日本カウンセリング学会常任編集委員・常任編集委員 (2011年04月～2017年03月)
---

社団法人茨城県看護協会「茨城県専任教員養成講習会」講師（2014 年度）

社団法人茨城県看護協会「実習指導者講習会」講師（2014 年度）

「教師による小・中学生のコミュニケーション能力向上プロジェクト」（共同研究）：一般財  
団法人田中教育研究所・田研出版（2007 年 12 月～2016 年 03 月）

[非常勤講師] 筑波大学人間学群（1998 年 04 月～）

[非常勤講師] 茨城北西看護専門学校（2010 年 04 月～）

[非常勤講師] 茨城県立医療大学（2013 年 04 月～2015 年 09 月）

[非常勤講師] 富山大学 人間発達科学部（2014 年 08 月～2015 年 09 月）

人間環境教育課程	氏名 阿部 信一郎
----------	-----------

### 教員履歴など

現職	教授
生年月	1966年9月
学歴・職歴	東京水産大学大学院 資源育成研究科 博士課程 単位取得満期退学 (1995年3月)
学位	博士 (水産学) (東京水産大学)
学位	
受賞歴	日本水産学会論文賞 (2012年3月) Tsuruta, T., Yamaguchi, M., Abe, S. & Iguchi, K. (2011). Effect of fish in rice-field culture on the rice yield. <i>Fisheries Science</i> 77; 95-106.
所属学会	日本藻類学会、日本珪藻学会、水産増殖学会
専門分野	生態学、藻類学、環境学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(専門科目)地球環境論, 環境科学実験, 保全生物学, 水環境論

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>K. Iguchi, T. Shinagawa, T. Tsuruta, T. Natsumeda, K. Konishi &amp; S. Abe (2015) Differing wariness for approaching humans among cormorant migrants advancing into rural or urban habitats. <i>Journal of Agricultural Science</i> 7: 180-188.</p> <p>坂西芳彦・阿部信一郎・小松輝久 (2015) 佐渡島両津湾における海草群落の分布下限水深. <i>藻類</i> 63: 85-89</p> <p>J. Tsuboi, S. Abe, K. Fujimoto, H. Kaeriyama, D. Ambe, K. Matsuda, M. Enomoto, A. Tomiya, T. Morita, T. Ono, S. Yamamoto &amp; K. Iguchi (2015) Exposure of a herbivorous fish to 134Cs and 137Cs from the riverbed following the Fukushima disaster. <i>Journal of Environmental Radioactivity</i> 141: 32-37</p> <p>Y. Takada, N. Kajihara, S. Abe, T. Iseki, Y. Yagi, H. Sawada, H. Saito, S. Mochizuki &amp; T. Murakami (2015) Distribution of <i>Donax semigranosus</i> and other bivalves in sandy shore swash zones along the Japan Sea coast of Honshu. <i>VENUS</i> 73: 51-64.</p>
---

**研究業績(2)学会発表など**

阿部信一郎・井口恵一朗 (2015 年 3 月) 河川一次生産力を基にした役勝川におけるリュウキュウアユの環境収容力の推定. 日本藻類学会第 39 回大会 (福岡県福岡市)

**科学研究費補助金などの受領**

挑戦的萌芽研究 分担 「希少魚リュウキュウアユの絶滅回避を実現する保全施策運用技術の開発 (H26～H28 代表:長崎大学 井口恵一朗)

人間環境教育課程	氏名 関友作
----------	--------

**教員履歴など**

現職	准教授
生年月	1964年12月
学歴・職歴	東京工業大学大学院総合理工学研究科博士課程(1996年) 日本鉱業株式会社(現・JX日鉱日石エネルギー(株))(1987年04月～1990年03月)
学位	博士(学術)[東京工業大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本教育工学会, テクニカル コミュニケーター協会, 教育システム情報学会, 日本科学教育学会, 日本認知科学会
専門分野	教育工学 科学教育 その他
教育研究概要	(キーワード)テクニカル・コミュニケーション¥n 理解しやすい説明の方法¥n 文書情報の理解(紙・電子文書)
担当科目	(教養科目)文明・技術系科目[システムとしてみる社会] (専門科目)情報の収集と活用, データ解析法, 情報処理の基礎技術 II, 心理学文献講読 III, 情報編集法/情報編集法(人間環境) (大学院科目)人間システム基礎論 II, 学校教育総合研究, 認知心理学演習

**研究業績(2)学会発表など**

菅谷克行, 「電子書籍の特性を活かした読書方略の検討」(日本教育工学会 第30回全国大会・2014年09月)
関友作, 「「ゲーム」と「ネットワーク」をテーマにした映画の大学教育への活用事例」(日本教育工学会 第30回全国大会・2014年09月)

**社会的活動、地域貢献など**

日本教育工学会 国際交流委員(2012年09月～)
日本教育工学会 日本教育工学会 国際交流委員会・委員(2012年09月～)
日本教育工学会 日本教育工学会 編集委員会・特任編集委員(2010年03月～)
[出前授業]大学模擬授業 「人間と技術をつなぐ」、茨城県立勝田高校1年生向け, 茨城県立勝田高等学校(2014年度実施)

### 科学研究費補助金などの受領

「電子書籍の表示・操作特性を活かした読解方略の検討」[科研費]基盤研究(C)一般(分担)(2014年04月01日～2016年03月31日)

人間環境教育課程	氏名 郡司 晴元
----------	----------

**教員履歴など**

現 職	准教授
生年月	1968 年 4 月
学歴・職歴	京都大学理学研究科博士後期課程単位取得満期退学(1998 年 07 月) 財団法人日本モンキーセンター リサーチフェロー(1998 年 08 月～2003 年 03 月) 茨城大学教育学部 助教授(2004 年 04 月～2007 年 03 月) 茨城大学教育学部 准教授(2007 年 04 月～)
学位	博士(理学)[京都大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本環境教育学会, 子どもと自然学会, 日本科学教育学会, 日本理科教育学会, 日本霊長類学会, 日本人類学会, 日本環境共生学会
専門分野	人類学 環境教育
教育研究概要	1. 自然体験学習を中心とした環境教育・ESD について実践も交えて教育・研究しています。 2. 動物園・博物館・科学館などとの連携による効果的な教育について実践も交えて教育・研究しています。 3. 霊長類の骨形態・骨塩量の加齢変化について研究しています。  (キーワード)学社連携 自然体験学習 ESD
担当科目	(専門科目)環境科学総論, 生活の中の環境問題, 教育における平和学, 環境教育論【全教科】/環境教育論, 総合演習, 環境特別演習 I (大学院科目)理科教育学演習, サステイナビリティ教育特論 II, 理科教育学特論, 理科授業設計

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

<p>郡司晴元・入江紗友美・根本卓哉「廃陶器リサイクルと食品廃棄物に関する環境意識調査ー茨城大学総合科目でのアンケート調査からー」, 茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学、芸術), 64, 77-85, 2015.</p> <p>郡司晴元・佐藤瑞穂「地域子ども教室から大塚池探検隊まで 学生による地域実践・10 年の記録」, 子どもと自然学会誌, 10, 1, 32-47, 2015.</p>
---

**研究業績(2)学会発表など**

「大学の役割ーコーディネートと学生教育ー」(日本科学教育学会第 38 回年会・2014 年 09 月)

### 社会的活動、地域貢献など

子どもと自然学会 理事(2012 年～)

[兼業]茨城県教育研修センター〔講師〕(2014 年 08 月)

人間環境教育課程	氏名 上地 勝
----------	---------

**教員履歴など**

現 職	准教授
生年月	1969 年 8 月
学歴・職歴	筑波大学大学院医学研究科博士課程修了(1999 年) 茨城大学准教授教育学部(2007 年 04 月～) 茨城大学助教授教育学部(2001 年 10 月～2007 年 03 月) 茨城県立中央看護専門学校非常勤講師(1996 年 04 月～1999 年 03 月) 茨城県立つくば看護専門学校非常勤講師(1997 年 04 月～2000 年 03 月) 筑波大学助手社会医学系(1999 年 04 月～2001 年 09 月) 茨城キリスト教大学非常勤講師(2002 年 04 月～2011 年 03 月)
学位	博士(医学)[筑波大学大学院]
受賞歴	なし
所属学会	日本公衆衛生学会, 日本疫学会, 日本民族衛生学会, 日本健康教育学会, 日本学校保健学会, 日本体力医学会, 日本教育保健学会
専門分野	応用健康科学 公衆衛生学・健康科学 学校保健学 健康教育 疫学
教育研究概要	(キーワード)学校保健、健康教育、保健科教育、疫学、公衆衛生学、健康科学、老年学、介護予防
担当科目	(教養科目)身体活動[フィジカルフィットネス(M)], 身体活動[フィジカルフィットネスI(T)], 身体活動[ボディーワークI(M)]/ (専門科目)保育内容の研究(健康), 健康特別演習 I, 健康特別演習 II, 総合演習[人環用], 体育科教育法研究, 健康調査解析法, 陸上競技方法論, 陸上競技指導法/陸上競技/陸上競技/陸上競技指導法/陸上競技, 現代人の健康(教科又は教職)/現代人の健康(人間環境), 健康施設実習, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)人間システム基礎論 II, 学校保健特論 I, 保健体育授業設計, 学校保健管理演習/学校保健概論(中教科:保体選修), 体育科学総合研究

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

<p>加藤敏弘, 上地 勝, 新保 淳「バスケットボールスクールの新たな指導体験がコーチングに与える影響:状況判断能力の育成に着目して」, 教科開発学論集, , 3, 113-123, 2015.</p> <p>朱 敏鴻, 荒井信成, 上地勝, 早川家正, 井口傑, 田神一美「日本人新体操ジュニア選手の足の成長と変形について」, 筑波大学体育系紀要, 38, 23-31, 2015.</p>
---

松坂 晃, 廣原紀恵, 上地 勝「日本人小児の肥満および痩身傾向児出現率の年次推移」, 茨城大学教育学部紀要(教育総合), , 増刊, 481-486, 2014.

上地 勝, 高倉 実「高校生の健康リスク行動」, 高校保健ニュース, , 第 523 号付録, 8-9, 2015.

上地 勝「学校保健ハンドブック<第 6 次改訂>」, ぎょうせい, 218-221, 2014.

「平成 26 年度版現代高等保健体育授業用パワーポイントスライド集」, 大修館書店, 2014.

上地 勝「幼児期の運動遊びの必要性とそのポイント」, 茨城の幼稚園教育, 40, 16-19, 2015.

## 研究業績(2)学会発表など

上地 勝, 荒井信成, 「地域在宅中高齢者における健康づくり教室への参加継続率について」(第 79 回日本民族衛生学会・2014 年 11 月)

高倉 実, 宮城政也, 上地 勝, 栗原 淳, 小林 稔, 中尾言里, 石橋江里那, 「高校生のソーシャル・キャピタルと健康に関する地域比較」(第 61 回日本学校保健学会・2014 年 11 月)

上地 勝, 高倉 実, 宮城政也, 栗原 淳, 荒井信成, 「高校生における多重健康リスク行動の特徴」(第 61 回日本学校保健学会・2014 年 11 月)

荒井信成, 上地 勝, 「大学敷地内におけるタバコのポイ捨て実態調査」(第 73 回日本公衆衛生学会総会・2014 年 10 月)

## 社会的活動、地域貢献など

日本民族衛生学会 評議員(2003 年 01 月～)

平成26年度 健康教育指導者養成研修 健康コース講師(2014 年度)

学習指導要領実施状況調査(小学校 保健領域)問題作成委員会委員(2014 年度)

平成26年度 埼玉県薬物乱用防止教室研修会講師(2014 年度)

平成26年度 茨城県幼稚園教育指導資料作成委員会副委員長(2014 年度)

平成26年度 茨城県体育授業・運動プログラムアドバイザー(2014 年度)

平成26年度 ひたちなか市生涯スポーツ指導者講習会講師(2014 年度)

## 科学研究費補助金などの受領

科学研究費, 基盤研究(B), 分担, 課題番号 23300246, 「青少年におけるソーシャル・キャピタルと健康に関する社会疫学的研究」, 代表 高倉実(琉球大学)

共同研究(小野浩二(ヒューマンサポートテクノロジー), 榎 守(茨城大学)), 「視覚障害者用運動支援システム開発におけるゲーム性を持たせた運動プログラムの技術支援」.

人間環境教育課程	氏名 丸山 広人
----------	----------

**教員履歴など**

現 職	准教授
生年月	1972 年 4 月
学歴・職歴	東京大学教育学研究科博士課程単位取得満期退学(2003 年) 茨城大学教育学部准教授(2007 年 04 月～) 東京大学大学院教育学研究科助手(2003 年 04 月～2005 年 06 月) 茨城大学教育学部助教授(2005 年 07 月～2007 年 03 月)
学位	博士(教育学)[東京大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本教育心理学会, 日本学生相談学会, 日本心理臨床学会, 日本コミュニティ心理学会
専門分野	教育心理学 臨床心理学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)人間と心[心理学から見る人間理解] (専門科目)学校心理学, 総合演習[人環用]/心理特別演習 II, 人間教育の心理学(教職共通), 心理学史, 不適応問題と学校, 心理特別演習 I, 人間教育の心理学(教職共通)/人間教育の心理学[人環用教職], 心理学実験, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)教育心理学特論, 教育情報処理特論/学校心理学研究法特論

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

打越由美子・丸山広人「特別なニーズを持つ児童への通常学級における支援:特別支援教育支援員としての立場から」, 茨城大学教育実践研究, 33, 171-184, 2014.

**社会的活動、地域貢献など**

[茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]教員免許状更新講習講師, 茨城大学教員免許状更新講習専門委員会(2014 年度実施)  
[自治体での社会教育]茨城県教育研究会学校健康教育研究部郡市部長研修会講師(2014 年度実施)  
[自治体での社会教育]第 59 回茨城県教育研究連盟研究集会助言者(2014 年度実施)  
[自治体での社会教育]那珂市教育支援センター研修会(年5回), 那珂市教育委員会(2014 年度実

施)

[自治体での社会教育]石岡市適応指導教室研修会(年5回),石岡市教育委員会(2014年度実施)

[自治体での社会教育]大子町教育支援センター研修会,大子町教育支援センター(2014年度実

施)

[自治体での社会教育]第2回鹿嶋市不登校等対策連絡協議会,鹿嶋市教育委員会(2014年度実

施)

[自治体での社会教育]茨城いのちの電話研修会(2014年度実施)

[自治体での社会教育]第5回水戸市総合教育研究所内事例検討会,水戸市総合教育研究所(2014

年度実施)

[自治体での社会教育]第3回水戸市総合教育研究所内事例検討会,水戸市総合教育研究所(2014

年度実施)

[自治体での社会教育]茨城県教育研修センター 教育相談(中級)研修講座講師,茨城県教育研修センター(2014年度実施)

[自治体での社会教育]石岡市学校サポートチーム講演,石岡市教育委員会(2014年度実施)

[自治体での社会教育]茨城いのちの電話研修講師,茨城いのちの電話(2014年度実施)

[兼業]茨城県教育委員会[スクールカウンセラー](2013年05月~2016年03月)

[兼業]茨城北西看護専門学校[カウンセラー](2011年12月~2016年03月)

[兼業]茨城県教育研究連盟[助言者](2007年10月~)

[兼業]茨城いのちの電話[講師](2006年04月~)

附属教育実践総合センター	氏名 昌子 佳広
--------------	----------

**教員履歴など**

現職	教授
生年月	1965 年 10 月
学歴・職歴	島根大学大学院教育学研究科修士課程修了(1998 年 03 月) 茨城大学教育学部助教授(2004 年 10 月～) 茨城大学教育学部講師(2001 年 04 月～) 島根県公立小学校教諭(1988 年 04 月～1991 年 03 月) 島根大学教育学部附属小学校教諭(1991 年 04 月～2001 年 03 月)
学位	教育学修士[島根大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本文学協会, 表現学会, 日本読書学会, 日本国語教育学会, 全国大学国語教育学会
専門分野	地方における国語教育実践史の研究
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(専門科目)初等国語科教育法研究, 国語科教育法特講 II, 教職のためのパブリックスピーキング, 初等国語科教育法研究, 国語科教育法演習 I, 読書と豊かな人間性, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)国語科教育特論 II, 国語科教育演習 II, 国語教育授業設計, 特別課題研究

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

- ・文学作品と国語教科書—「泣いた赤おに」の教材化をめぐる一, 単著, 『茨城の国語教育』(茨城国語教育学会)第 14 号, 18—28 頁, 2015.3

**社会的活動、地域貢献など**

- ・日本国語教育学会茨城支部研究会講師, つくばカピオ(つくば市), 2014.8
- ・東海村立東海中学校校内研修講師, 2014.10
- ・全労済茨城県本部小学生作品コンクール作文の部審査員, 2015.2
- ・日本国語教育学会茨城支部研究会講師, 茨城大学(水戸市), 2015.2

附属教育実践総合センター	氏名 五島 浩一
--------------	----------

**教員履歴など**

現職	准教授
生年月	1961年1月
学歴・職歴	北浦村立北浦中学校(1984年04月～1990年03月) 水戸市立新荘小学校(1990年04月～1994年03月) 茨城大学教育学部附属小学校(1994年04月～2009年03月) 牛久市立下根中学校(2009年04月～2011年03月) 水戸市立第一中学校(2011年04月～2013年03月)
学位	
学位	
受賞歴	なし
所属学会	
専門分野	教科教育学
教育研究概要	(キーワード)教科教育、理科教育、教育方法、教師教育
担当科目	(専門科目)教師の資質と教職設計A, 教師の資質と教職設計B

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

「模擬授業室の活用とその効果についての研究」, 平成 25 年度大学教育センター紀要(第 4 号), 13-19, 2014.
「学校現場の視点からとらえた養護実習の在り方」, 日本養護教諭教育学会誌(第19巻第1号), 9-12, 2015.

**社会的活動、地域貢献など**

茨城県水戸教育事務所主催「平成26年度中学校研究主任研修会」講師
茨城県常陸太田市教育委員会主催「平成26年度教職員研修事業サイエンス講座」講師
茨城県那珂市教育委員会主催「研究主任研修会」講師

学校臨床心理専攻	氏名 岸 良範
----------	---------

**教員履歴など**

現 職	教 授
生年月	1951 年 8 月
学歴・職歴	
学位	文学修士[早稲田大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本学生相談学会, 日本児童心理・青年精神医学学会, 日本精神分析学会, 日本箱庭療法学会, 日本心理臨床学会
専門分野	
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)人間と心[カウンセリングと心の世界] (大学院科目)臨床心理行政特論, 臨床心理実習 I, 臨床心理学特論 II, 臨床心理査定演習 II, 特別課題研究

**社会的活動、地域貢献など**

日本箱庭療法学会 理事・編集委員・研修委員 (2005 年～)
---------------------------------

学校臨床心理専攻	氏名 守屋 英子
----------	----------

**教員履歴など**

現職	教授
生年月	1952年10月
学歴・職歴	<p>京都大学教育学研究科博士後期課程単位取得満期退学(1988年)</p> <p>茨城大学大学院教育学研究科学校臨床心理学専攻(2006年04月～)</p> <p>福田カウンセリングルーム・福田クリニック(つくば市・福田恒也院長)(1998年01月～)</p> <p>茨城県スクールカウンセラー(非常勤)(1997年04月～)</p> <p>いずみ病院(沖縄県・高江洲義英院長)(1994年12月～1997年03月)</p> <p>沖縄リハビリテーション福祉学園非常勤講師(1994年10月～1997年03月)</p> <p>京都府八幡市母子通所訓練教室(1976年04月～1980年03月)</p> <p>奈良子鹿園相談部(1977年04月～1980年03月)</p> <p>江戸川区教育研究所教育相談室(1981年02月～1993年03月)</p> <p>琉球大学教育学部非常勤講師(1994年04月～1996年09月)</p> <p>金町慈友クリニック(葛飾区・待鳥浩司院長)(2005年02月～2006年03月)</p>
学位	教育学修士[京都大学大学院]
受賞歴	なし
所属学会	日本質的心理学会, 日本描画テスト・描画療法学会, 日本遊戯療法学会, 日本箱庭療法学会, 日本心理臨床学会, 日本芸術療法学会
専門分野	臨床心理学
教育研究概要	<p>臨床心理学(芸術療法、遊戯療法、子どもの問題行動に関連しての親・教師への援助、思春期から成人までの心理療法)</p> <p>(キーワード)</p>
担当科目	<p>(教養科目)人間と心[カウンセリングと心の世界]</p> <p>(大学院科目)臨床心理査定演習 I, 臨床心理学特論 I, 臨床心理基礎実習 I・II, 心理療法特論, 箱庭療法特論, 特別課題研究</p>

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

(共)枝井栄利子・守屋英子

「思春期における自立の支えとなるものーマンガ・アニメ・ゲーム等にハマるといふ観点からー」

茨城大学教育実践研究 第33号 185-199

(単)守屋英子

「フレックススクールにおけるキャンパスエイド活動の検討 ―平成 25 年度戦略的地域連携プロジェクト結果から―」 心理臨床研究 第 7 号 3-20

### 研究業績(2)学会発表など

(共) 杉村仁美・守屋英子

「自殺予防のポストベンションに関する研究 ―大学生の自死死別による悲哀・喪の作業の過程―」  
日本心理臨床学会 第33回秋季大会

(共) 綿貫由依・守屋英子

「交互ぐるぐる描き物語統合法(MSSM 法)の体験についての考察 I ―思春期のクライアントとの会い方を考える― 第46回日本芸術療法学会

### 社会的活動、地域貢献など

日本芸術療法学会 評議員

日本心理臨床学会 日本心理臨床学会代議員会・代議員

茨城県臨床心理士会教育領域委員会委員長

茨城県自殺対策委員会 委員

茨城県いじめ問題対策連絡協議会 委員

茨城県カウンセリングアドバイザー

茨城県警 少年サポートセンター サポートアドバイザー

学校臨床心理専攻	氏名 正保 春彦
----------	----------

**教員履歴など**

現職	教授
生年月	1958年11月
学歴・職歴	茨城大学大学院教育学研究科教授(2011年4月～) 茨城大学教育学部附属教育実践総合センター教授(2009年10月～) 茨城大学教育学部附属教育実践総合センター助教授(2000年10月～2009年09月) 筑波大学心理学系助手(1988年06月～1990年03月) 明海大学外国語学部専任講師(1990年04月～1995年03月) 明海大学外国語学部助教授(1995年04月～2000年09月) 筑波大学心理学研究科博士課程(1988年)
学位	教育学修士[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本カウンセリング学会, 日本人間性心理学会, 日本心理臨床学会
専門分野	臨床心理学
教育研究概要	集団心理療法(構成的グループエンカウンター、ロールプレイング、インプロヴィゼーション)、カウンセリング 集団心理療法(構成的グループエンカウンター、ロールプレイング、インプロヴィゼーション)、カウンセリング (キーワード)臨床心理学、グループアプローチ、構成的グループ・エンカウンター、ロールプレイング、サイコドラマ、インプロ(インプロヴィゼーション)
担当科目	(教養科目)人間と心[カウンセリングと心の世界] (専門科目)グループアプローチ特講, ころを育てるグループワーク, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)グループアプローチ特論, 特別課題研究

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

<p>矢田部-ギルフォード性格検査からみたワルテック描画テストの反応内容に関する基礎的研究 正保春彦 2000(平成12) 臨床描画研究 第14巻 167頁-182頁.</p> <p>小学校における構成的グループエンカウンターによる自尊感情育成の研究 2003(平成15) 星野治子、正保春彦 茨城大学教育実践研究 第22号 63頁-77頁.</p> <p>大学と地域の連携による心理教育相談の展開 2003(平成15) 中野明德、小野昌彦、</p>
---

- 木谷秀勝、飯島 勇、正保春彦 茨城大学教育実践研究 第 22 号 1 頁-17 頁 中学校におけるグループワークの実施 -SGE と GWT を併せて実施して- 正保春彦 2004 (平成 16) 茨城大学教育学部紀要 (教育科学) 第 53 号 389 頁-398 頁.
- 中学校における構成的グループ・エンカウンターによる共感性育成の研究 正保春彦、湯原深雪 2004 (平成 16) 茨城大学教育実践研究 第 23 号 1 頁-11 頁.
- 児童の自尊感情を高めるためのサイコエデュケーションの試み --保護者へのプログラム-- 黒澤千江、正保春彦 2005 (平成 17) .10 茨城大学教育実践研究 第 43 号 31 頁-46 頁.
- 構成的グループ・エンカウンターにおけるシェアリングの効果 2005 (平成 17) 正保春彦、中嶋健治 茨城大学教育学部紀要 (教育科学) 第 54 号 347 頁-360 頁.
- 構成的グループ・エンカウンターにおけるシェアリングの効果 (2) 2006 (平成 18) 正保春彦、中嶋健治 茨城大学教育学部紀要 (教育科学) 第 55 号 1 頁-7 頁.
- 開発的・予防的カウンセリング (グループアプローチ) 正保春彦 教師教育用学習素材コンテンツ 教師の力量アップをめざして 2005 独立行政法人メディア教育開発センター
- 学校教育とところの問題 子ども・親・教員の苦悩と教育相談 2006. 看護学全書 教育学 173 頁-214 頁 メヂカルフレンド社
- 開発的・予防的カウンセリング 新しい実践を創造する学校カウンセリング入門 国立大学教育実践研究関連センター協議会 教育臨床部会編 62-67 頁, 200 東洋館出版社
- 異学年交流における変形 GWT 法による実践例 2007 (平成 19) 正保春彦 茨城大学教育学部紀要 (教育科学) 第 56 号 471 頁-481 頁. 児童自立支援施設におけるグループワークの試み 2008 (平成 20) 正保春彦、後藤麻紀 茨城大学教育学部紀要 (教育科学) 第 57 号 235 頁-246 頁. 中学生の学習集団における「学びあい」のあり方に関する一考察 堀江玲子・正保春彦、2008 (平成 20) 茨城大学教育実践研究、第 27 号、33 頁-47 頁.
- 学級経営に生かすグループエンカウンター DVD で見る教育相談の実際 中野明德編 東洋館出版社. 2009.
- 励ましの言葉の受け取り方に関する一考察 : 発話群・発話期待群の比較から 中野友貴・正保春彦 2011 (平成 23) 茨城大学教育実践研究、第 30 号、13~25 頁.
- 心理臨床教育における二つの不作為と「今、ここ」について 正保春彦、2011 (平成 23) 心理臨床研究 第 4 号、8 頁-12 頁.
- あいづちからみた自己一致に関する一考察 - 初心者カウンセラーとベテランカウンセラーの比較から - 鈴木大輝・正保春彦 2012 (平成 24) 茨城大学教育実践研究第 31 号、293-305 頁.
- グループワークの心理的効果についての一考察 - 構成的グループ・エンカウンターとインプロヴィゼーションの比較から - 正保春彦 2012 (平成 24) 茨城大学教育実践紀

要 31、279 頁-291 頁. いじめ問題と「こころでっかち」 正保春彦 2012 (平成 24) 心理臨床研究 第 5 号、1 頁.

茨城大学心理教育相談室の歴史 正保春彦 2013 (平成 25) 心理臨床研究 第 6 号、57 頁-64 頁.

基本的コミュニケーション能力測定尺度 ikxy 作成の試み 正保春彦・葉山大地 2014 (平成 26) 茨城大学教育学部紀要 63、257 頁-536 頁. 高校生の登校回避感情からの回復の過程—— 複線径路等至性モデルによる分析 —— 伊籐寿美・正保春彦 2014 (平成 26 年) 茨城大学教育実践研究 33、201 頁-215 頁. 家庭裁判所親子合宿でのボランティア活動を通して 佐藤たまゆ、松原育子、正保春彦 2014 (平成 26 年) 心理臨床研究 グループアプローチ・エクササイズの下位分類に関する一考察 —— 構成的グループ・エンカウンター、グループワーク・トレーニング、インプロを比較して —— 正保春彦 2015 (平成 27 年) 茨城大学教育実践紀要 34、225 頁-237 頁. ワークショップにおける開かれた心に関する一考察 正保春彦 2015 (平成 27) 茨城大学教育学部紀要 64

### 社会的活動、地域貢献など

学校で使えるグループアプローチ研究会・代表(2005 年 04 月～)

[非常勤講師]筑波大学[非常勤講師](2005 年 04 月～)

患者会実施協力[筑波大学附属病院](年度不詳), 研修委員[茨城いのちの電話](年度不詳), 研修会講師[社会福祉法人同仁会](2007 年 02 月～), 相談員研修会講師[水戸市教育委員会](2006 年～), 調査官研修会講師[水戸家庭裁判所](2006 年～), 研修会講師[日立市教育委員会](2006 年 08 月～), 水戸教育事務所明るい学校作り指導者研修会実施協力[茨城県教育委員会](2006 年 05 月～), 親子合宿実施支援協力[水戸家庭裁判所](2006 年 04 月～)

茨城県立結城第二高校心理学Ⅱ講師(2010 年～2013 年)

水戸教育事務所不登校生と支援事業ほっとステーション活動(2014 年 4 月～2015 年 3 月)

市立水戸第二中学校道徳講師(2014 年 10 月～2015 年 3 月)、茨城県立鹿島灘高校道徳講師(2014 年 4 月～2015 年 2 月)

学校臨床心理専攻	氏名 金丸 隆太
----------	----------

**教員履歴など**

現 職	准教授
生年月	1973 年 2 月
学歴・職歴	早稲田大学文学研究科修士課程修了(1999 年) 茨城大学大学院教育学研究科 准教授(2012 年 10 月～) 茨城県スクールカウンセラー(2004 年 04 月～) 東京都東久留米市教育センター滝山相談室 相談員(1997 年 04 月～2003 年 03 月) 財団法人博慈会高等看護学院 非常勤講師(1998 年 04 月～2003 年 03 月) 学校法人山野学苑山野美容専門学校 非常勤講師(1999 年 04 月～2002 年 03 月) 学校法人日本医科大学千葉看護専門学校 非常勤講師(1999 年 04 月～2003 年 03 月) 茨城大学大学院教育学研究科 専任講師(2003 年 02 月～2012 年 09 月)
学位	修士(心理学)
受賞歴	なし
所属学会	日本交流分析学会, The International Transactional Analysis Association, 日本心理臨床学会, 日本心理学会, 日本遊戯療法学会, 日本質的心理学会
専門分野	臨床心理学
教育研究概要	子どもと親の臨床心理学的問題 教育相談における様々な臨床心理学理論の実践(主として Transactional Analysis (交流分析)および投射描画法テストバッテリー) (キーワード)交流分析(TA), 親子の臨床心理学的問題, 投影描画法テストバッテリー, 児童虐待, 発達障害
担当科目	(教養科目)人間と心[カウンセリングと心の世界] (大学院科目)臨床心理査定演習 I, 臨床心理学講読演習, 臨床心理実習 I, 臨床心理査定演習 II, 臨床心理研究法演習, 臨床心理実習 II, 思春期臨床心理学特論

**社会的活動、地域貢献など**

[兼業]茨城県教育委員会[スクールカウンセラー](2004 年 04 月～)

2 平成 25 年度 教員免許状更新講習一覽

平成26年度 1 期

講習の名称	講習概要	主な 参加 対象者	時間数	講習日	受講料	定員	受講 者数	授業 形態	対談 形態	開始 時間 (1日目)	終了 時間 (1日目)	開始 時間 (2日目)	終了 時間 (2日目)	講義 時間 (2日目)	講義 場所	免許 更新期間	担当講師	申込 番号	科目 区分	登録 学部	備考	講習日	開講終了日	クラスID
1 教員の最新事情	「教員としての有形/無形の変化」についての最新情報 「教員としての有形/無形の変化」についての最新情報 「教員としての有形/無形の変化」についての最新情報	全教員	12時間	平成25年6月10日 平成25年6月10日	12,000円	50人	35人	講義 演習	対談 演習	9:00	16:15	9:00	17:25		水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成25年2月1日 平成25年4月30日	小山 賢雄 村野井 尚 志藤 浩二 佐藤 一 丸山 広人 杉本 遥子 望月 晋志 加藤 崇英	平25-1015-0241号	必修	教育学部		平成25年5月9日	平成25年6月10日	A-101
2 「学校臨床心理学」	本学教育実践中心の心理学の研究、教育に関わっている各 領域の専門家による、最新の心理学の知識を教育現場 に活かすための実践的知識を学ぶ。	全教員	6時間	平成25年6月31日	6,000円	50人	40人	講義 演習	対談 演習	9:00	16:40				水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成25年2月1日 平成25年4月30日	佐藤 遥子 志藤 浩二 丸山 広人	平25-1015-5306号	選択	教育学部		平成25年5月31日		B-101
3 「心算算術」	本学教育実践中心の算術の研究、教育に関わっている各 領域の専門家による、最新の算術の知識を教育現場 に活かすための実践的知識を学ぶ。	全教員	6時間	平成25年6月31日	6,000円	40人	38人	講義 演習	対談 演習	9:00	16:40				水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成25年2月1日 平成25年4月30日	正保 春彦	平25-1015-5307号	選択	教育学部		平成25年5月31日		B-102
4 「発達障害児の支援」	本学教育実践中心の発達障害児の支援に関する研究、教育に関わっている各 領域の専門家による、最新の発達障害児の支援に関する知識を教育現場 に活かすための実践的知識を学ぶ。	全教員	6時間	平成25年6月31日	6,000円	50人	48人	講義 演習	対談 演習	9:00	16:40				水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成25年2月1日 平成25年4月30日	藤二 博英 志藤 浩二	平25-1015-5308号	選択	教育学部		平成25年5月31日		B-103
5 「現代子ども」	本学教育実践中心の現代子どもに関する研究、教育に関わっている各 領域の専門家による、最新の現代子どもに関する知識を教育現場 に活かすための実践的知識を学ぶ。	全教員	6時間	平成25年6月31日	6,000円	50人	45人	講義 演習	対談 演習	9:00	16:40				水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成25年2月1日 平成25年4月30日	生藤 遼	平25-1015-5309号	選択	教育学部		平成25年5月31日		B-104
6 「情報教育の発展」	本学教育実践中心の情報教育の研究、教育に関わっている各 領域の専門家による、最新の情報教育の知識を教育現場 に活かすための実践的知識を学ぶ。	全教員	6時間	平成25年6月31日	6,000円	50人	29人	講義 演習	対談 演習	9:00	16:40				水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成25年2月1日 平成25年4月30日	本田 彰明	平25-1015-5307号	選択	教育学部		平成25年5月31日		B-105
7 「身体コミュニケーション」	本学教育実践中心の身体コミュニケーションの研究、教育に関わっている各 領域の専門家による、最新の身体コミュニケーションに関する知識を教育現場 に活かすための実践的知識を学ぶ。	全教員	6時間	平成25年6月31日	6,000円	50人	19人	講義 演習	対談 演習	9:00	16:40				水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成25年2月1日 平成25年4月30日	日下 敏弘 藤二 博英	平25-1015-5307号	選択	教育学部		平成25年5月31日		B-106
8 「身体コミュニケーション」	本学教育実践中心の身体コミュニケーションの研究、教育に関わっている各 領域の専門家による、最新の身体コミュニケーションに関する知識を教育現場 に活かすための実践的知識を学ぶ。	全教員	6時間	平成25年6月31日	6,000円	50人	40人	講義 演習	対談 演習	9:00	16:40				水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成25年2月1日 平成25年4月30日	加藤 敏弘	平25-1015-5307号	選択	教育学部		平成25年5月31日		B-106
9 「身体コミュニケーション」	本学教育実践中心の身体コミュニケーションの研究、教育に関わっている各 領域の専門家による、最新の身体コミュニケーションに関する知識を教育現場 に活かすための実践的知識を学ぶ。	全教員	6時間	平成25年6月14日	6,000円	60人	31人	講義	対談	9:00	16:40				水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成25年2月1日 平成25年4月30日	藤二 博英 志藤 浩二	平25-1015-5306号	選択	教育学部		平成25年6月14日		C-101

10	新課程講習 (国語・英語コース)	国語および英語(漢字を必要とする)の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、前半は「国語の読解力向上」後半は「書字に関する学習指導」について受講する。	小・中・高 高教諭 (国語・英語)	6時間	平成26年6月28日	4,000円	40人	22人	講義・演習	9:00	16:40				水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成26年6月21日 ～ 平成26年4月9日	鈴木 一史 鈴木 久美	選択	教育学部	平成26年6月28日	C-121
11	新課程講習 (社会・公民コース)	社会科の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、「地理学習」について受講する。午前中は、地下街について受講する。	小・中・高 高教諭 (社会・公民)	6時間	平成26年6月14日	4,000円	40人	11人	講義	9:00	16:40				水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成26年6月21日 ～ 平成26年4月9日	村山 暢子 蓮井 真一郎	選択	教育学部 人文学部	平成26年6月14日	C-102
12	新課程講習 (社会・公民コース)	社会科の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、「地理学習」について受講する。午前中は、地下街について受講する。	小・中・高 高教諭 (社会・公民)	6時間	平成26年6月28日	4,000円	40人	44人	講義・演習	9:00	16:40				水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成26年6月21日 ～ 平成26年4月9日	小野寺 淳 小室 雅彦	選択	教育学部 人文学部	平成26年6月28日	C-122
13	新課程講習 (英語コース)1	小学校外国語活動の指導、英語の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、前半は「小学校外国語活動」、後半は「発音」について受講する。	小・中・高 高教諭 (英語)	6時間	平成26年6月14日	4,000円	30人	21人	講義・演習	9:00	16:40				水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成26年6月21日 ～ 平成26年4月9日	藤原 龍一 トウコスジホセ	選択	教育学部	平成26年6月14日	C-103
14	新課程講習 (英語コース)2	英語の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、前半は「英検対策」について受講する。後半は「English Teaching Techniques」について受講する。	中・高教諭 (英語)	6時間	平成26年6月28日	4,000円	30人	5人	講義・演習	9:00	16:40				水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成26年6月21日 ～ 平成26年4月9日	藤原 美穂 トウコスジホセ	選択	教育学部	平成26年6月28日	C-123
15	新課程講習 (算数・数学コース)	算数・数学の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、「算数・数学」の話題から受講する。	小・中・高 高教諭 (算数・数学)	6時間	平成26年6月28日	4,000円	40人	24人	講義	9:00	16:40				水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成26年6月21日 ～ 平成26年4月9日	曾根 日出夫 藤原 博之	選択	教育学部	平成26年6月28日	C-124
16	新課程講習 (理科)	理科の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習では、「子どもと理科」を中心に受講する。	小学校 高教諭 (理科)	6時間	平成26年6月28日	4,000円	30人	11人	講義・演習	9:00	16:40				水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成26年6月21日 ～ 平成26年4月9日	本社 孝 学校 不二夫	選択	教育学部	平成26年6月28日	C-125
17	新課程講習 (音楽コース)	音楽科の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、前半は「音楽の授業づくり」後半は「クラシック音楽の魅力」について受講する。	小・中・高 高教諭 (音楽)	6時間	平成26年6月14日	4,000円	30人	22人	講義・演習	9:00	16:40				水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成26年6月21日 ～ 平成26年4月9日	田中 健次 神部 智	選択	教育学部	平成26年6月14日	C-108
18	新課程講習 (体育・保健コース)1	体育・保健の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、「体育・保健」について受講する。	小・中・高 高教諭 (体育・保健)	6時間	平成26年6月14日	4,000円	30人	20人	講義・実技	9:00	16:40				水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成26年6月21日 ～ 平成26年4月9日	沼野 聡 渡邊 勇司	選択	教育学部	平成26年6月14日	C-109
19	新課程講習 (体育・保健コース)2	体育・保健の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、「体育・保健」について受講する。	小・中・高 高教諭 (体育・保健)	6時間	平成26年6月28日	4,000円	30人	20人	講義・実技	9:00	16:40				水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成26年6月21日 ～ 平成26年4月9日	加藤 敏弘	選択	教育学部	平成26年6月28日	C-129
20	新課程講習 (特別支援教育コース)1	特別支援教育の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、正しく授業を行うための実践的学習について受講する。	特別支援 高教諭 (特別支援教育)	6時間	平成26年6月14日	4,000円	30人	20人	講義	9:00	16:40				水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成26年6月21日 ～ 平成26年4月9日	橋本 博義 前川 久男	選択	教育学部	平成26年6月14日	C-112
21	新課程講習 (特別支援教育コース)2	特別支援教育の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、正しく授業を行うための実践的学習について受講する。	特別支援 高教諭 (特別支援教育)	6時間	平成26年6月28日	4,000円	30人	20人	講義	9:00	16:40				水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成26年6月21日 ～ 平成26年4月9日	橋本 博義 前川 久男	選択	教育学部	平成26年6月28日	C-132





15	新産業関連講座 16 (英語コース)2	英語の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講座は、前半が英文を作る仕組みと単語を作る仕組み、後半は、アメリカの文化と英語を学ぶこととして異文化理解について受講する。	小・中・高 英語 英語 (英語)	08時 00分	平成26年8月21日 平成26年8月21日	6,000円	30人	29人	講義・演習	教諭	9:00	16:40	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成26年8月21日 平成26年8月9日	結本 孝典 藤本 真一	平26-10015-53088号	選択	教育学部	平成26年8月22日	C-223
16	新産業関連講座 17 (漢教・韓国コース)1	漢教・韓国の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講座は、前半が算数・数学の基礎的知識、指導方法、後半が韓国文化について受講する。	小・中・高 英語 英語 (漢教)	08時 00分	平成26年8月21日 平成26年8月21日	6,000円	60人	32人	講義	教諭	9:00	16:40	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成26年8月21日 平成26年8月9日	結本 孝典 藤本 真一	平26-10015-53104号	選択	教育学部	平成26年8月21日	C-204
17	新産業関連講座 18 (漢教・韓国コース)2	漢教・韓国の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講座は、前半が算数・数学の基礎的知識、指導方法、後半が韓国文化について受講する。	小・中・高 英語 英語 (漢教)	08時 00分	平成26年8月21日 平成26年8月21日	6,000円	60人	34人	講義	教諭	9:00	16:40	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成26年8月21日 平成26年8月9日	結本 孝典 藤本 真一	平26-10015-53105号	選択	教育学部	平成26年8月21日	C-224
18	新産業関連講座 19 (理科・農業コース)1	理科・農業の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講座は、「身近な化学」について受講する。	小・中・高 理科 理科 (農業)	08時 00分	平成26年8月21日 平成26年8月21日	6,000円	30人	34人	講義・演習	教諭	9:00	16:40	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成26年8月21日 平成26年8月9日	結本 孝典 藤本 真一	平26-10015-53134号	選択	教育学部	平成26年8月21日	C-205
19	新産業関連講座 20 (理科・農業コース)2	理科・農業の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講座は、「身近な化学」について受講する。	小・中・高 理科 理科 (農業)	08時 00分	平成26年8月21日 平成26年8月21日	6,000円	30人	30人	講義・演習	教諭	9:00	16:40	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成26年8月21日 平成26年8月9日	結本 孝典 藤本 真一	平26-10015-53135号	選択	教育学部	平成26年8月21日	C-226
20	新産業関連講座 21 (理工・美術・工業コース)1	理工・美術・工業の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講座は、「図面工作科・美術科・工業科教育の基礎」について、基礎的知識・指導方法等及び個別の実践的指導を中心として受講する。	小・中・高 理科 理科 (美術)	08時 00分	平成26年8月21日 平成26年8月21日	6,000円	30人	29人	講義・演習	教諭	9:00	16:40	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成26年8月21日 平成26年8月9日	結本 孝典 藤本 真一	平26-10015-53107号	選択	教育学部	平成26年8月21日	C-207
21	新産業関連講座 22 (理工・美術・工業コース)2	理工・美術・工業の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講座は、「図面工作科・美術科・工業科教育の基礎」について、基礎的知識・指導方法等及び個別の実践的指導を中心として受講する。	小・中・高 理科 理科 (美術)	08時 00分	平成26年8月21日 平成26年8月21日	6,000円	30人	17人	講義・演習	教諭	9:00	16:40	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成26年8月21日 平成26年8月9日	結本 孝典 藤本 真一	平26-10015-53108号	選択	教育学部	平成26年8月21日	C-227
22	新産業関連講座 23 (音楽コース)1	音楽の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講座は、前半が楽譜の読み方と歌唱指導、後半は「楽譜の読み方」について受講する。	小・中・高 音楽 音楽 (音楽)	08時 00分	平成26年8月21日 平成26年8月21日	6,000円	30人	27人	講義・演習	教諭	9:00	16:40	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成26年8月21日 平成26年8月9日	結本 孝典 藤本 真一	平26-10015-53099号	選択	教育学部	平成26年8月21日	C-208
23	新産業関連講座 24 (音楽コース)2	音楽の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講座は、前半が楽譜の読み方と歌唱指導、後半は「楽譜の読み方」について受講する。	小・中・高 音楽 音楽 (音楽)	08時 00分	平成26年8月21日 平成26年8月21日	6,000円	30人	27人	講義・演習	教諭	9:00	16:40	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成26年8月21日 平成26年8月9日	結本 孝典 藤本 真一	平26-10015-53099号	選択	教育学部	平成26年8月21日	C-228
24	新産業関連講座 25 (体育・保健コース)1	体育・保健の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講座は、前半が「保健体育指導」、後半は「健康づくり」について受講する。	小・中・高 体育 体育 (保健)	08時 00分	平成26年8月21日 平成26年8月21日	6,000円	30人	29人	講義・実技	教諭	9:00	16:40	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成26年8月21日 平成26年8月9日	結本 孝典 藤本 真一	平26-10015-53111号	選択	教育学部	平成26年8月21日	C-209
25	新産業関連講座 26 (体育・保健コース)2	体育・保健の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講座は、前半が「保健体育指導」、後半は「健康づくり」について受講する。	小・中・高 体育 体育 (保健)	08時 00分	平成26年8月21日 平成26年8月21日	6,000円	30人	29人	講義・実技	教諭	9:00	16:40	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成26年8月21日 平成26年8月9日	結本 孝典 藤本 真一	平26-10015-53112号	選択	教育学部	平成26年8月21日	C-229



